

白岡市
市民意識調査結果報告書

令和8年4月

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
II 回答結果	2
1. あなた御自身のことについて.....	2
2. 住みやすさと定住意向について.....	4
3. 医療・福祉について.....	16
4. 防災・防犯について.....	32
5. 子育て・教育について.....	36
6. 日常生活について.....	42
7. 白岡市について	59
8. 市民との協働のまちづくりについて.....	83
9. 市の取組に対する満足度・重要度について.....	93
10. 自由意見	95

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は市民の現在の生活環境や将来のまちづくりへの考えなどを伺い、「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画」を策定するための基礎資料として活用するために実施しました。

2. 調査の方法

- ①調査対象 市内在住の16歳以上の市民1,500人
(令和7年8月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出)
- ②調査方法 郵送による配布・回収及びインターネットによる回答を併用
- ③調査期間 令和7年9月14日～令和7年9月29日

3. 回収結果

- ①調査票配布数 1,500票
- ②有効回収数 677票(紙回答349票、Web回答328票)
- ③有効回収率 45.1%(紙回答23.3%、Web回答21.9%)

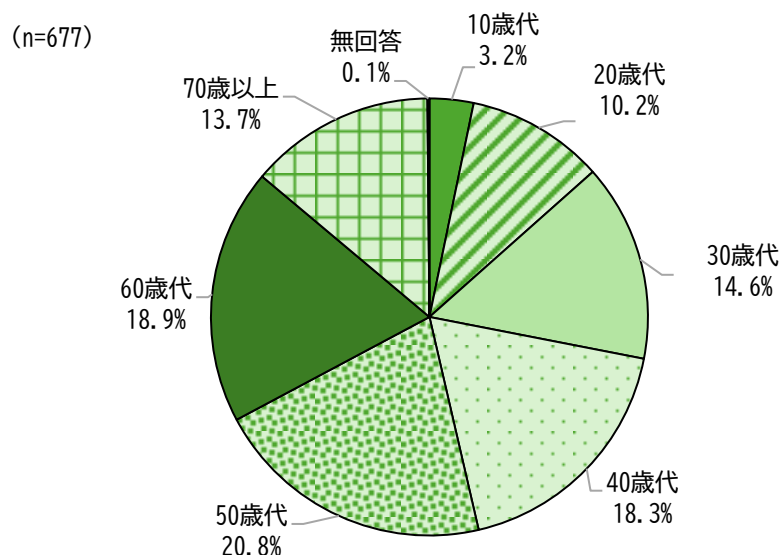
4. 報告書の見方

- ①図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を表します。
- ②集計比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出しているため、合計が100%を超えることがあります。

II 回答結果

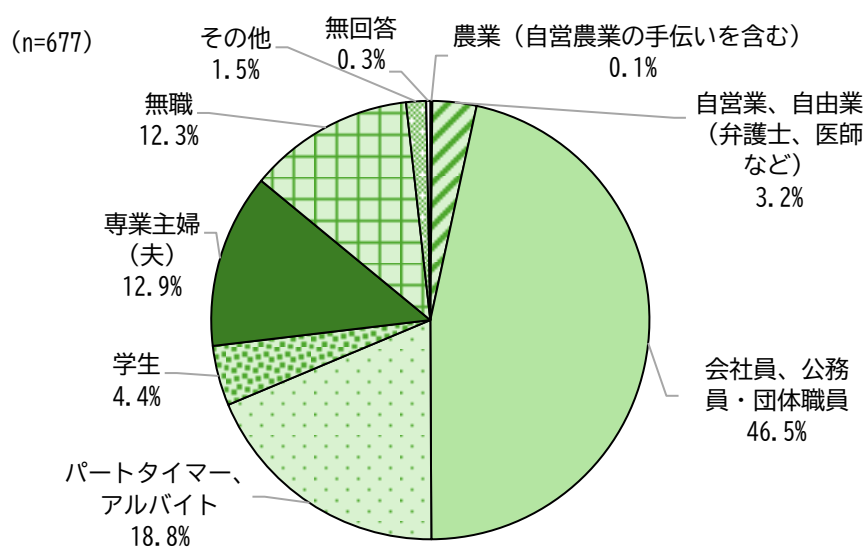
1. あなた御自身のことについて

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか（1つに○）。



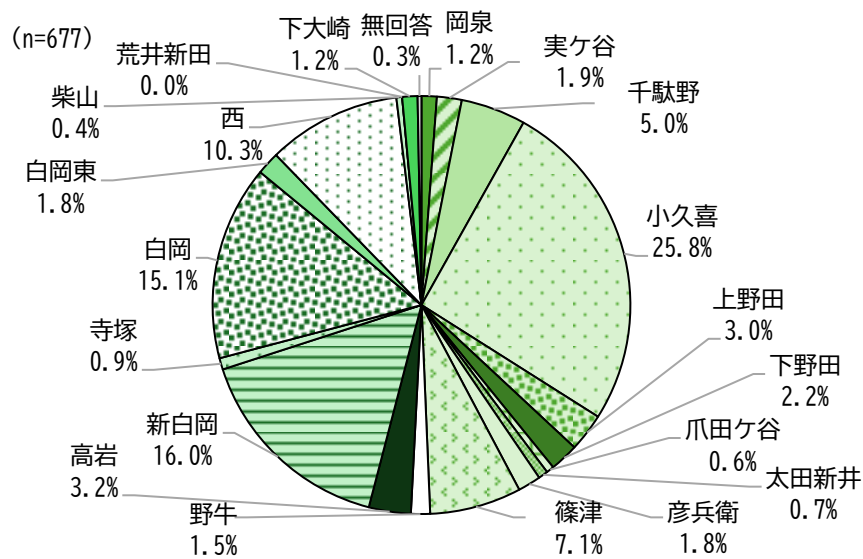
回答者の年齢は、「50歳代」以上（53.4%）が半数を超えており、「30歳代」と「40歳代」の合計が約3割、「10歳代」と「20歳代」の合計が約1割となっている。

問2 あなたの職業は次のうちどれですか【兼業の方は主な職業を選んでください】（1つに○）。



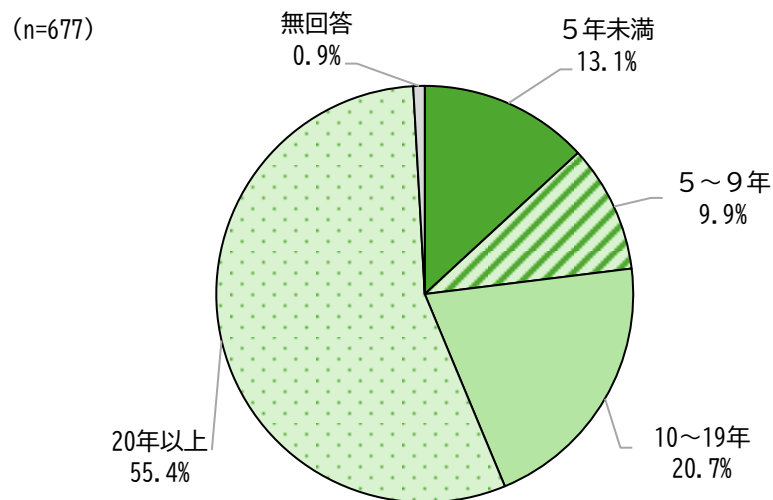
回答者の職業は、「会社員、公務員・団体職員」（46.5%）が半数近くを占めており、次いで、「パートタイマー、アルバイト」（18.8%）、「専業主婦（夫）」（12.9%）、「無職」（12.3%）が多くなっている。

問3 あなたのお住まいの地区はどこですか（1つに○）。



回答者の居住地区は、「小久喜」（25.8%）が最も多く、次いで、「新白岡」（16.0%）、「白岡」（15.1%）となっている。

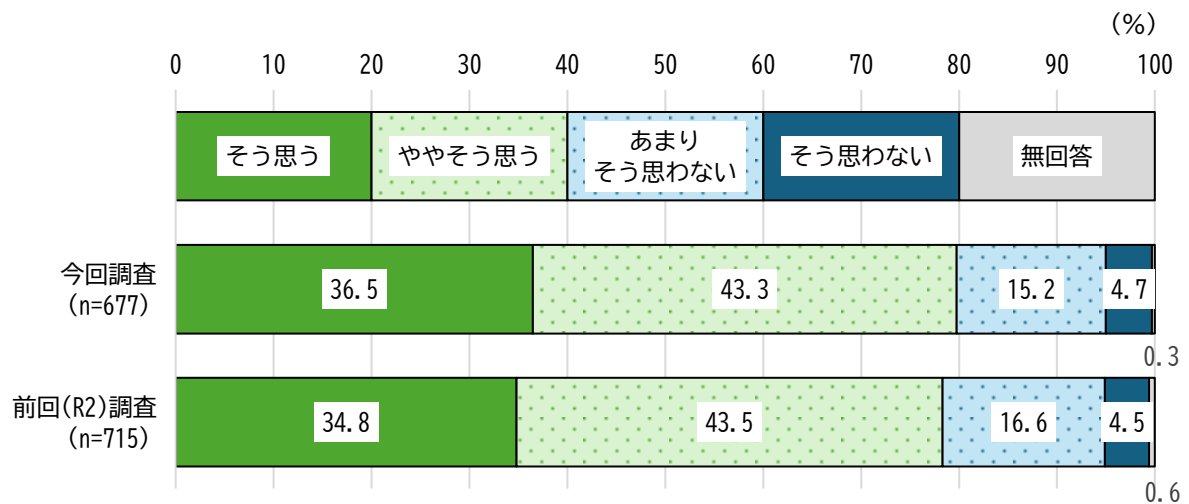
問4 あなたは、白岡市に住んで何年になりますか（1つに○）。



回答者の居住年数は、「20年以上」（55.4%）が最も多く、半数を超えており、「10～19年」（20.7%）、「5年未満」（13.1%）、「5～9年」（9.9%）の順となっている。

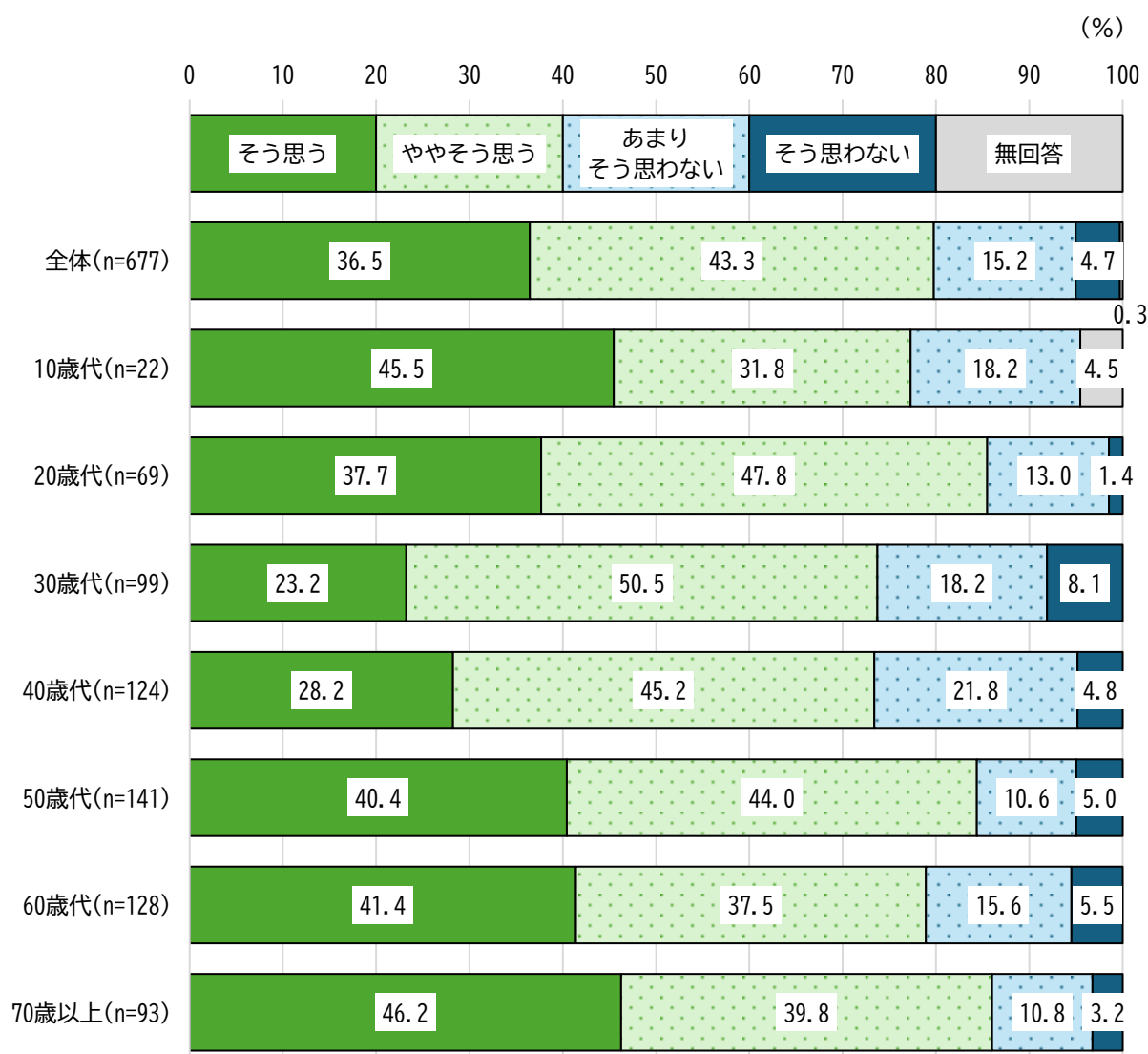
2. 住みやすさと定住意向について

問5 あなたは白岡市に対して「自分のまち」としての愛着を感じていますか（1つに○）。
《全体》



白岡市に対する愛着について、愛着を感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は79.8%で、前回調査（78.3%）と比べ、同程度となっている。

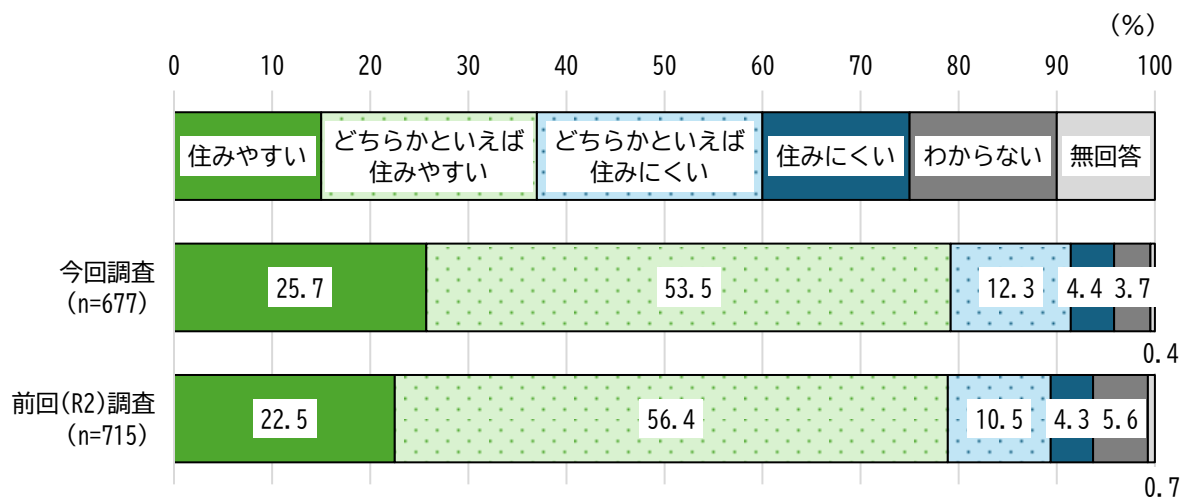
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

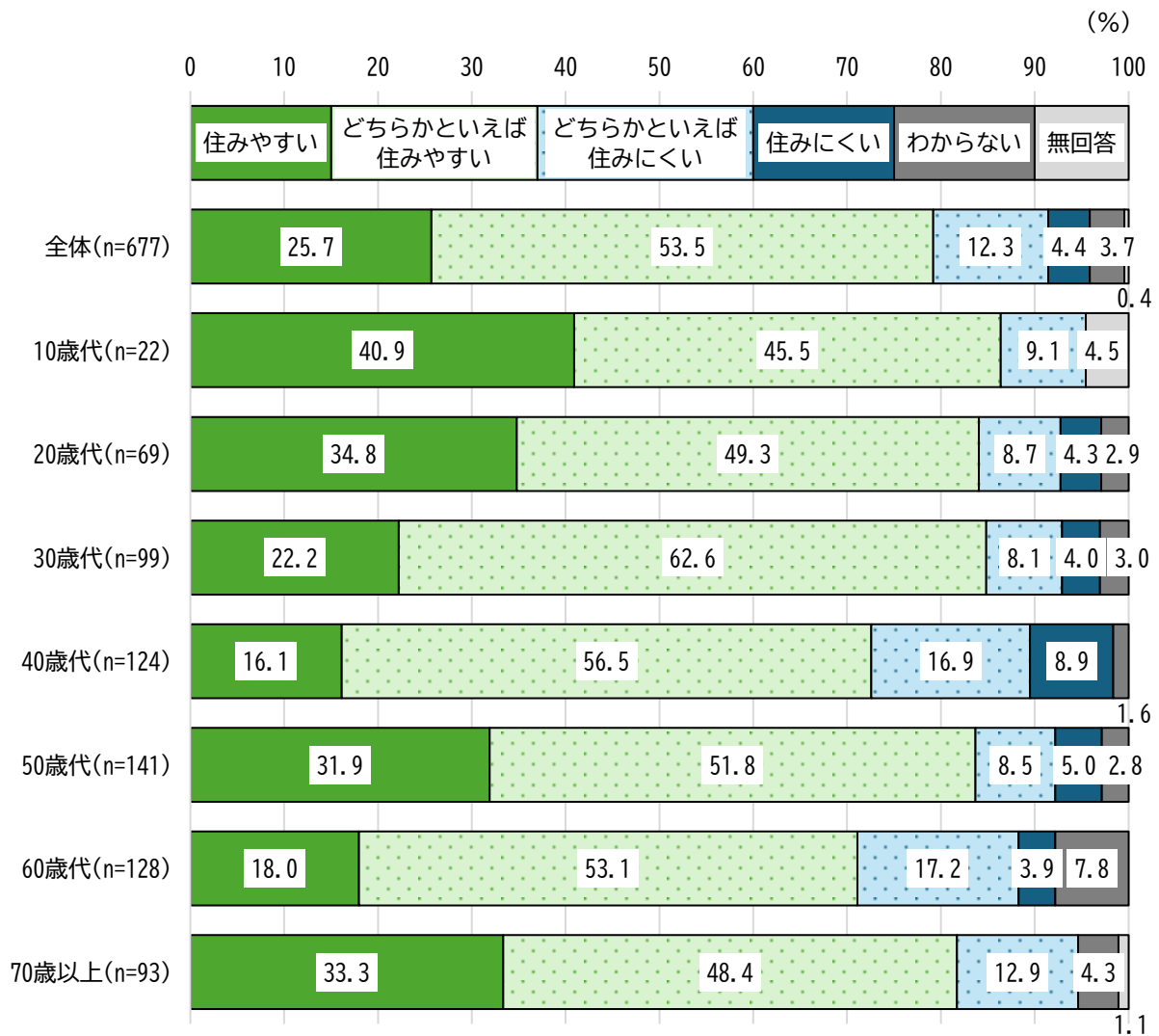
年代別にみると、全ての年代において愛着を感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は7割を超えている。特に、20歳代、50歳代、70歳以上では、愛着を感じている割合が8割を超え、他の年代と比べ多くなっている。

問6 あなたは、白岡市の住みやすさについて、どのようにお考えですか（1つに○）。
《全体》



白岡市の住みやすさについて、住みやすい（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した市民の割合は79.2%であり、前回調査（78.9%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

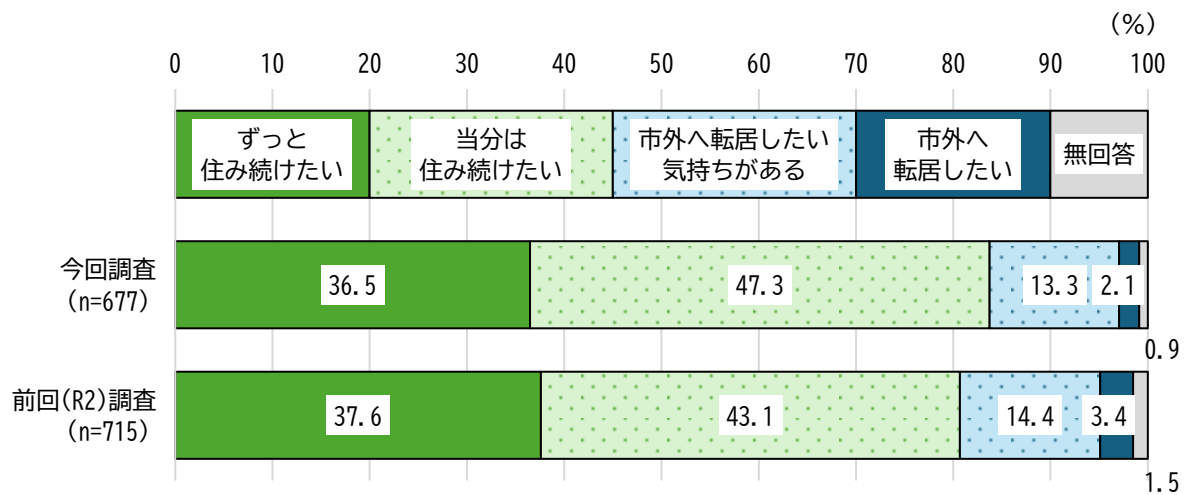


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、住みやすい（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代と60歳代を除いて8割を超えている。

問7 あなたは、今後も白岡市に住み続けたいですか（1つに○）。

《全体》

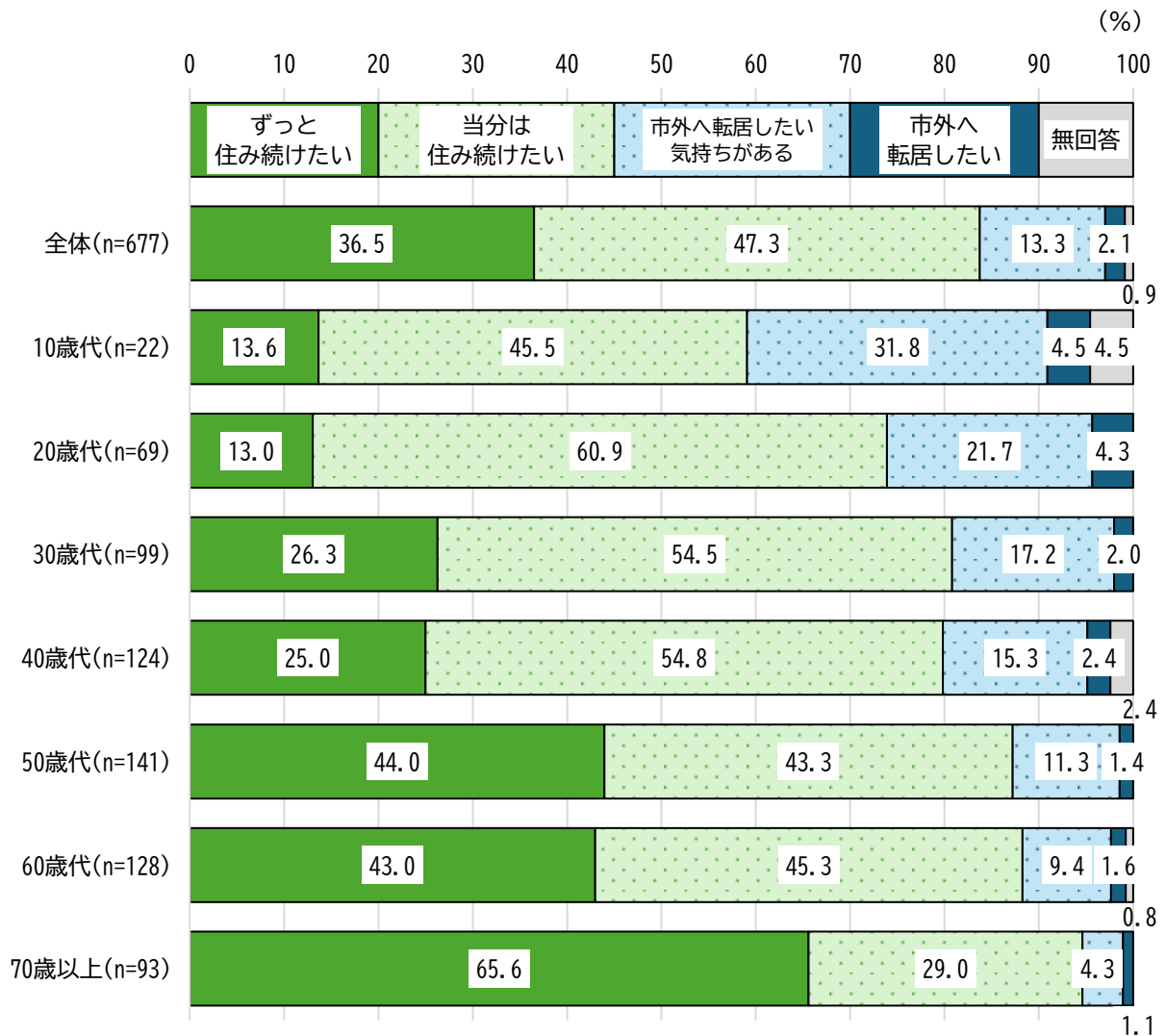


(注) 前回調査の選択肢は「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」、「移転したい気持ちがある」、「移転したい」のほか、「市内の他のところへ移りたい」があったが、最後の選択肢は「市外へ転居したい気持ちがある」に統合して表記している。

定住意向（「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計）のある市民の割合は83.8%となっている。一方、転居意向（「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計）のある市民の割合は15.4%となっている。

前回調査とは選択肢が異なるため、参考となるが、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

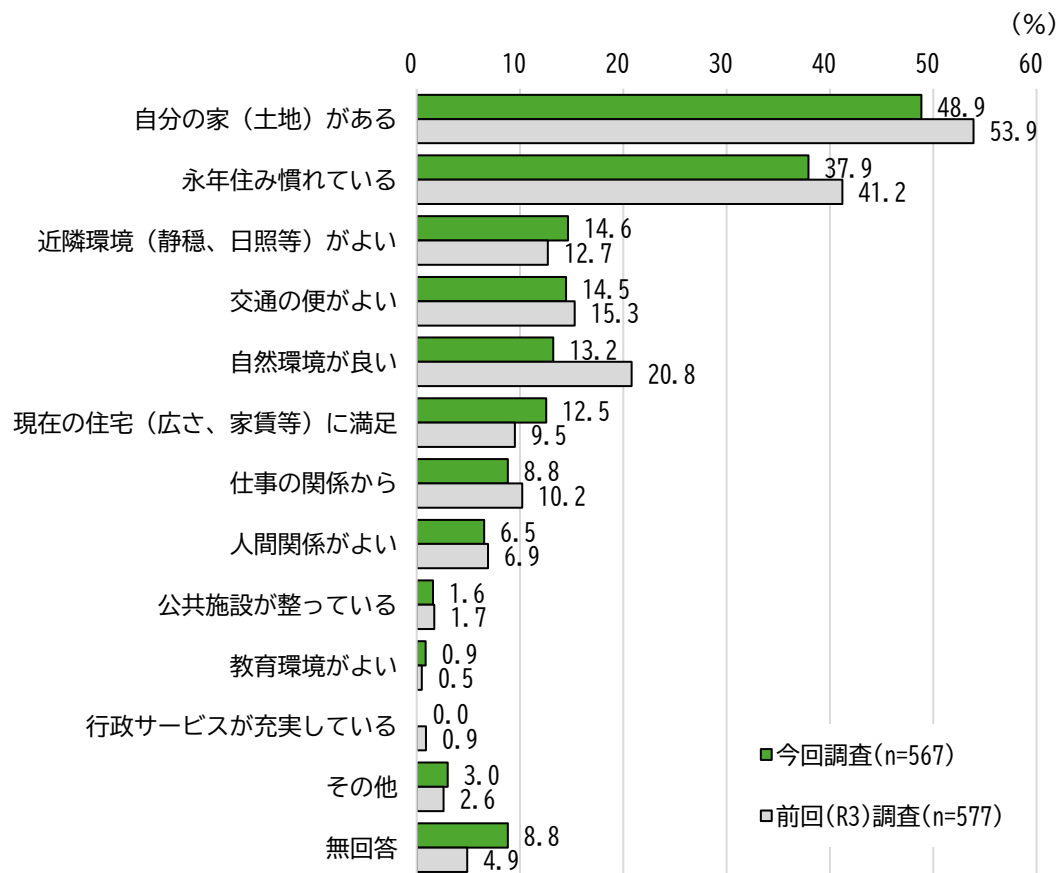


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、年代が上がるほど、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」の合計）のある市民が多くなる傾向がみられ、一方、概ね若い年代ほど、転居意向（「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計）のある市民が多い傾向がみられる。

問8-1 【問7で「1. ずっと住みたい」または「2. 当分は住みたい」を選択した方】その主な理由は、何ですか（2つまでに○）。

《全体》



問7で定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」の合計）があると回答した理由については、「自分の家（土地）がある」（48.9%）が最も多く、次いで「永年住み慣れている」（37.9%）となっている。このほか、近隣環境や交通利便性、自然環境、住宅の良さなどが上位に挙げられている。

前回調査と比べ、上位2項目をはじめとした上位項目の割合が減少する傾向がみられる。

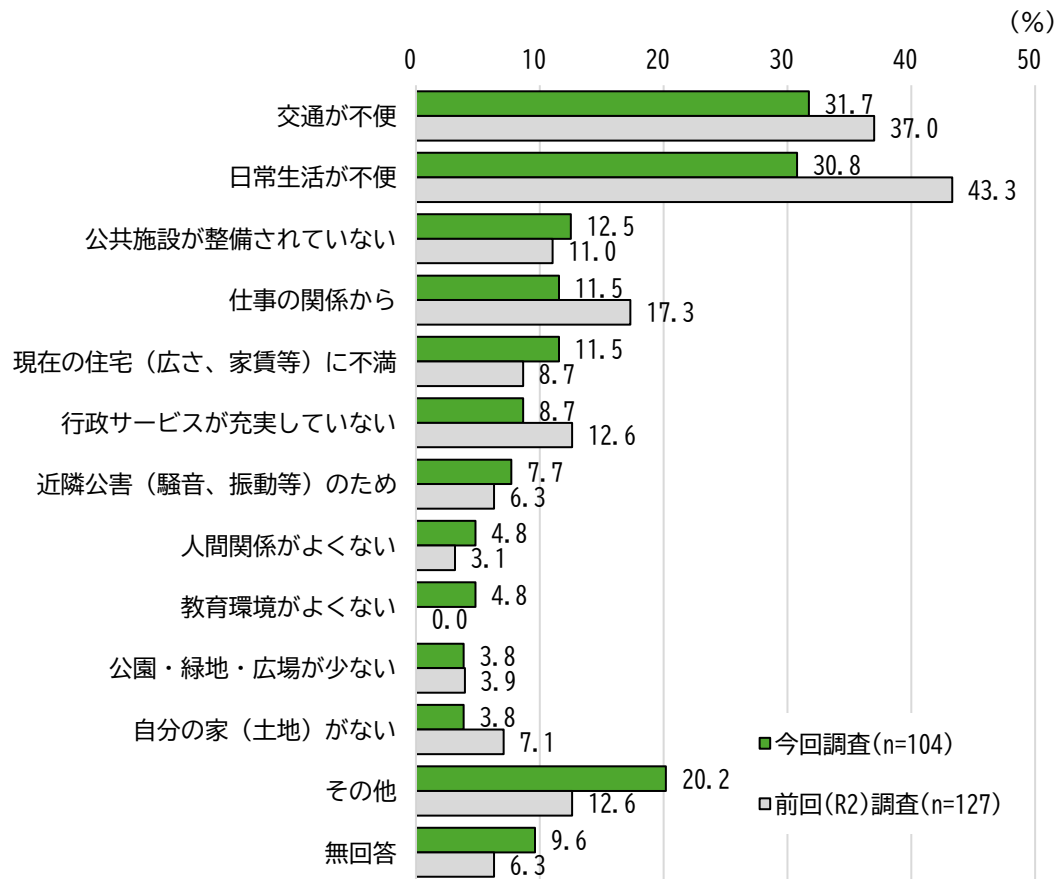
《年代別》

	自分の家（土地）がある	永年住み慣れている	近隣環境（静穏、日照等）がよい	交通の便がよい	自然環境が良い	現在の住宅（広さ、家賃等）に満足	仕事の関係から	人間関係がよい	公共施設が整っている	教育環境がよい	行政サービスが充実している	その他	無回答
全体(n=567)	48.9	37.9	14.6	14.5	13.2	12.5	8.8	6.5	1.6	0.9	0.0	3.0	8.8
10歳代(n=13)	23.1	30.8	15.4	38.5	15.4	23.1	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
20歳代(n=51)	15.7	39.2	19.6	19.6	15.7	11.8	11.8	9.8	2.0	2.0	0.0	3.9	9.8
30歳代(n=80)	42.5	23.8	21.3	17.5	7.5	17.5	11.3	3.8	3.8	2.5	0.0	2.5	13.8
40歳代(n=99)	50.5	26.3	9.1	12.1	8.1	14.1	11.1	6.1	0.0	1.0	0.0	2.0	18.2
50歳代(n=123)	46.3	40.7	17.1	14.6	14.6	8.9	12.2	6.5	2.4	0.8	0.0	4.1	7.3
60歳代(n=113)	62.8	46.9	11.5	11.5	13.3	11.5	5.3	6.2	1.8	0.0	0.0	2.7	1.8
70歳以上(n=88)	61.4	48.9	12.5	11.4	20.5	11.4	3.4	6.8	0.0	0.0	0.0	3.4	4.5

年代別にみると、定住意向があると回答した理由について、10歳代では「交通の便がよい」、20歳代では「永年住み慣れている」、30歳代以上は「自分の家（土地）がある」がそれぞれ最も多くなっている。

問8-2 【問7で「3. 市外へ転居したい気持ちがある」または「4. 市外へ転居したい」を選択した方】その主な理由は、何ですか（2つまでに○）。

《全体》



問7で転居意向（「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計）があると回答した理由については、「交通が不便」（31.7%）と「日常生活が不便」（30.8%）がそれぞれ3割を超えている。

前回調査と比べ、上位2項目をはじめとした上位項目の割合が減少する傾向がみられる。

《年代別》

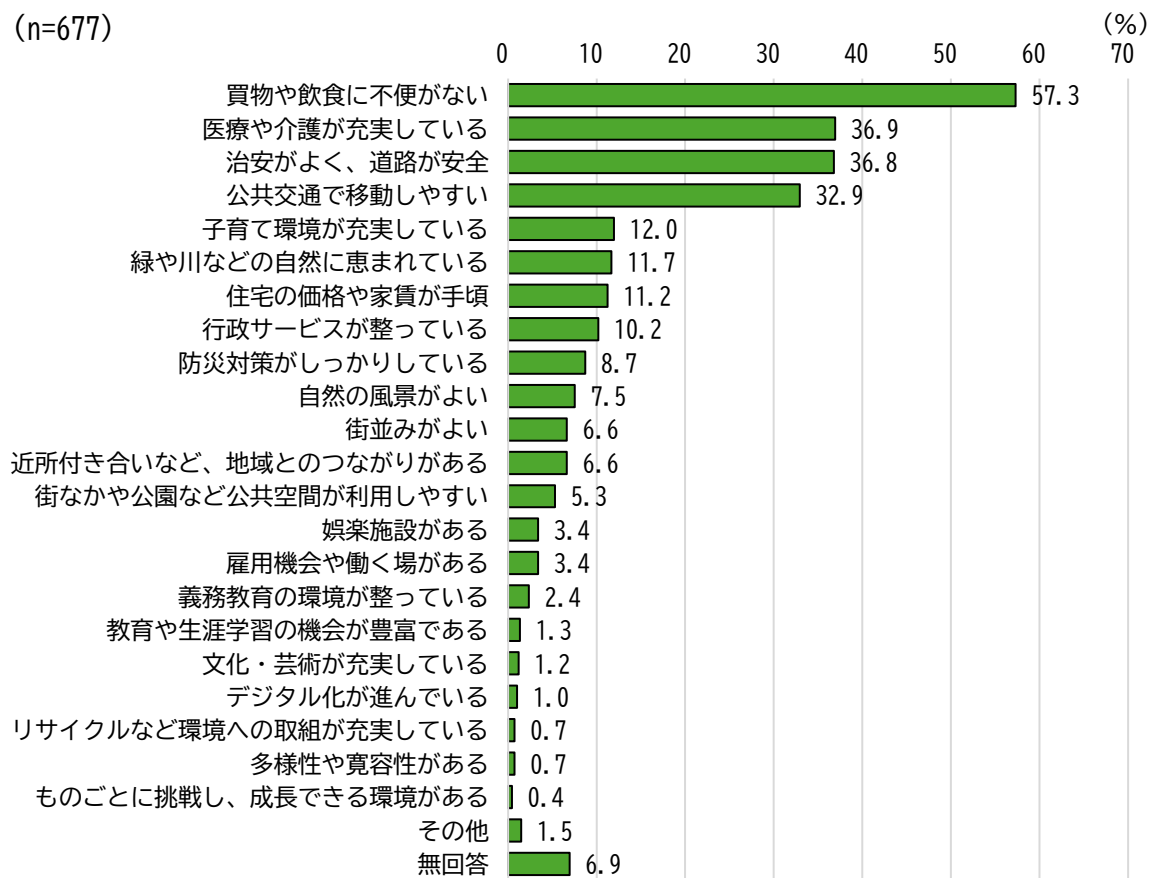
	交通が不便	日常生活が不便	公共施設が整備されていない	仕事の関係から	現在の住宅（広さ、家賃等）に不満	行政サービスが充実していない	近隣公害（騒音、振動等）のため	人間関係がよくない	教育環境がよくない	公園・緑地・広場が少ない	自分の家（土地）がない	その他	無回答
全体(n=104)	31.7	30.8	12.5	11.5	11.5	8.7	7.7	4.8	4.8	3.8	3.8	20.2	9.6
10歳代(n=8)	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	50.0	0.0
20歳代(n=18)	22.2	16.7	5.6	38.9	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	27.8
30歳代(n=19)	21.1	21.1	0.0	5.3	36.8	10.5	10.5	0.0	15.8	5.3	10.5	15.8	15.8
40歳代(n=22)	27.3	31.8	22.7	9.1	4.5	9.1	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0	18.2	4.5
50歳代(n=18)	50.0	44.4	11.1	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	27.8	5.6
60歳代(n=14)	28.6	42.9	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0
70歳以上(n=5)	60.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0

年代別にみると、転居意向があると回答した理由について、年代が上がるにつれて、「日常生活が不便」の回答が多くなる傾向がみられる。また、20歳代では「仕事の関係から」、30歳代では「現在の住宅（広さ、家賃等）に不満」がそれぞれ3割を超え、最も多くなっている。

問9 あなたにとって、住みたいまちの要件は何ですか（3つまでに○）。

《全体》

(n=677)



住みたいまちの要件について、「買物や飲食に不便がない」（57.3%）が半数を超えて最も多く、次いで、「医療や介護が充実している」（36.9%）、「治安がよく、道路が安全」（36.8%）、「公共交通で移動しやすい」（32.9%）がそれぞれ3割を超えている。

《年代別》

	買物や飲食に不便がない	医療や介護が充実している	治安がよく、道路が安全	公共交通で移動しやすい	子育て環境が充実している	緑や川などの自然に恵まれている	住宅の価格や家賃が手頃	行政サービスが整っている	防災対策がしっかりしている	自然の風景がよい	街並みがよい	近所付き合いなど、地域とのつながりがある
全体(n=677)	57.3	36.9	36.8	32.9	12.0	11.7	11.2	10.2	8.7	7.5	6.6	6.6
10歳代(n=22)	50.0	9.1	31.8	36.4	4.5	13.6	4.5	9.1	4.5	9.1	9.1	4.5
20歳代(n=69)	47.8	15.9	39.1	37.7	15.9	7.2	24.6	11.6	7.2	5.8	5.8	5.8
30歳代(n=99)	54.5	22.2	45.5	26.3	39.4	5.1	15.2	4.0	8.1	3.0	6.1	3.0
40歳代(n=124)	66.1	30.6	40.3	33.9	16.9	7.3	15.3	14.5	8.1	8.9	4.8	3.2
50歳代(n=141)	59.6	43.3	39.0	39.0	4.3	12.1	9.9	7.8	9.9	5.7	7.1	6.4
60歳代(n=128)	55.5	53.1	33.6	36.7	0.8	12.5	4.7	14.1	12.5	7.8	9.4	7.0
70歳以上(n=93)	57.0	51.6	23.7	20.4	2.2	25.8	4.3	8.6	5.4	14.0	5.4	16.1

	公共空間が公園などやす	街なかや利用しやすい	共楽施設がある	雇用機会や働く場がある	義務教育の環境が整っている	教育や生涯学習の機会が豊富である	文化・芸術が充実している	デジタル化が進んでいる	サイクルが充実している	多様性や寛容性がある	成長できる環境がある	その他	無回答
全体(n=677)	5.3	3.4	3.4	2.4	1.3	1.2	1.0	0.7	0.7	0.4	1.5	6.9	
10歳代(n=22)	4.5	40.9	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	
20歳代(n=69)	5.8	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	
30歳代(n=99)	4.0	4.0	2.0	8.1	2.0	0.0	3.0	0.0	1.0	0.0	3.0	9.1	
40歳代(n=124)	4.8	3.2	3.2	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	1.6	0.0	3.2	6.5	
50歳代(n=141)	3.5	1.4	5.0	0.7	1.4	1.4	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	5.7	
60歳代(n=128)	7.0	2.3	3.1	1.6	0.0	2.3	0.8	2.3	0.8	0.8	0.8	1.6	
70歳以上(n=93)	7.5	0.0	5.4	1.1	2.2	2.2	1.1	1.1	0.0	1.1	1.1	4.3	

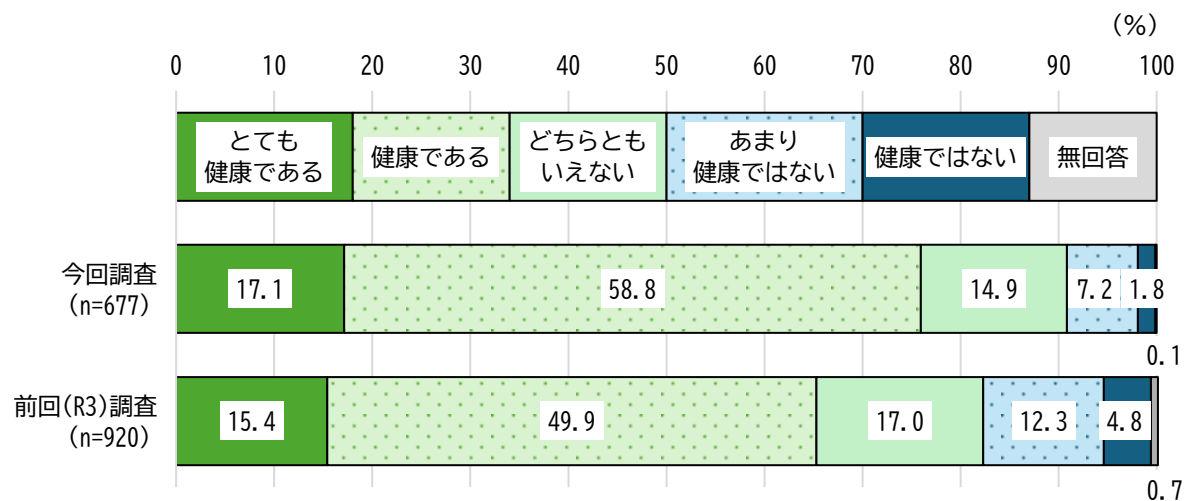
住み続けたいまちの要件について、全ての年代で「買物や飲食に不便がない」が最も多くなっている。また、年代が上がるにつれて、「医療や介護が充実している」が多くなる傾向がみられる。さらに、20歳代から50歳代では、「治安がよく、道路が安全」が約4割となっている。

このほか、10歳代では「娯楽施設がある」、20歳代では「住宅の価格や家賃が手頃」、30歳代では「子育て環境が充実している」、70歳以上では「緑や川などの自然に恵まれている」がそれぞれ他の年代と比べ多いという特徴がみられる。

3. 医療・福祉について

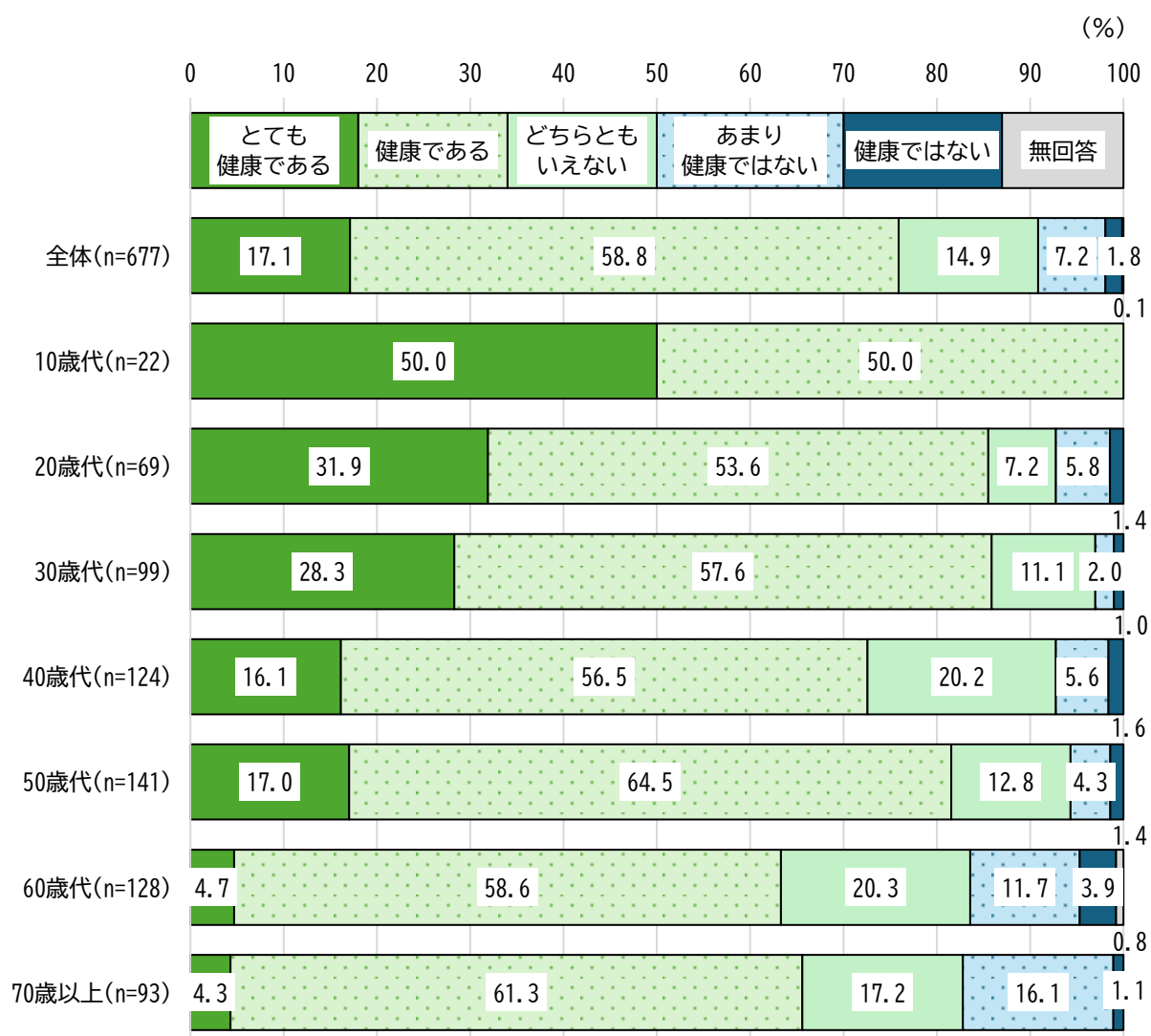
問10 あなたは、現在、心身ともに健康ですか（1つに○）。

《全体》



現在の心身の健康について、健康（「とても健康である」と「健康である」の合計）と回答した市民の割合は75.9%であり、前回調査（65.3%）と比べ10ポイント以上増加している。

《年代別》

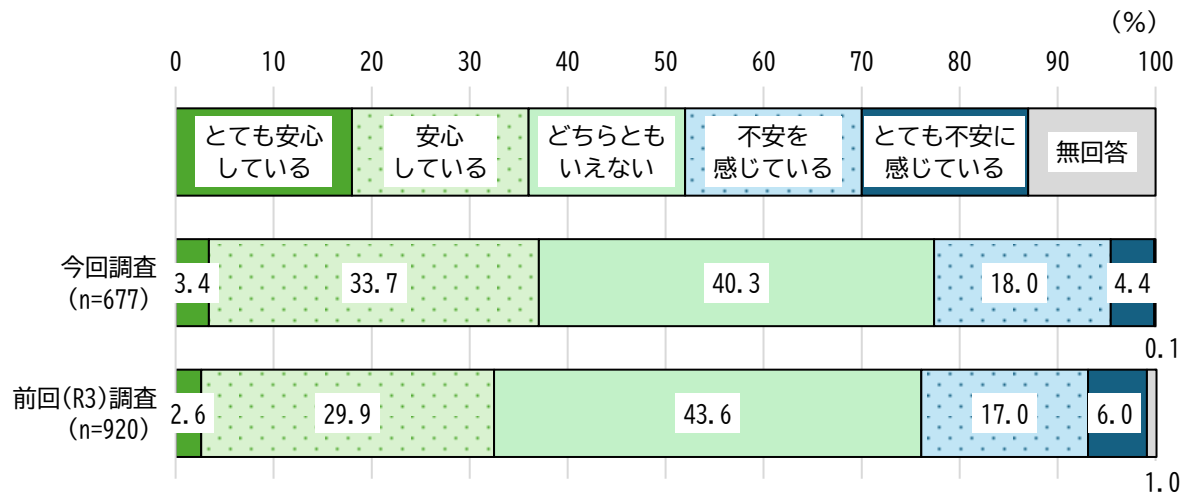


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、健康（「とても健康である」と「健康である」の合計）と回答した市民の割合は、年代が上がるにつれて減少する傾向がみられるものの、全ての年代において6割以上が健康と回答している。

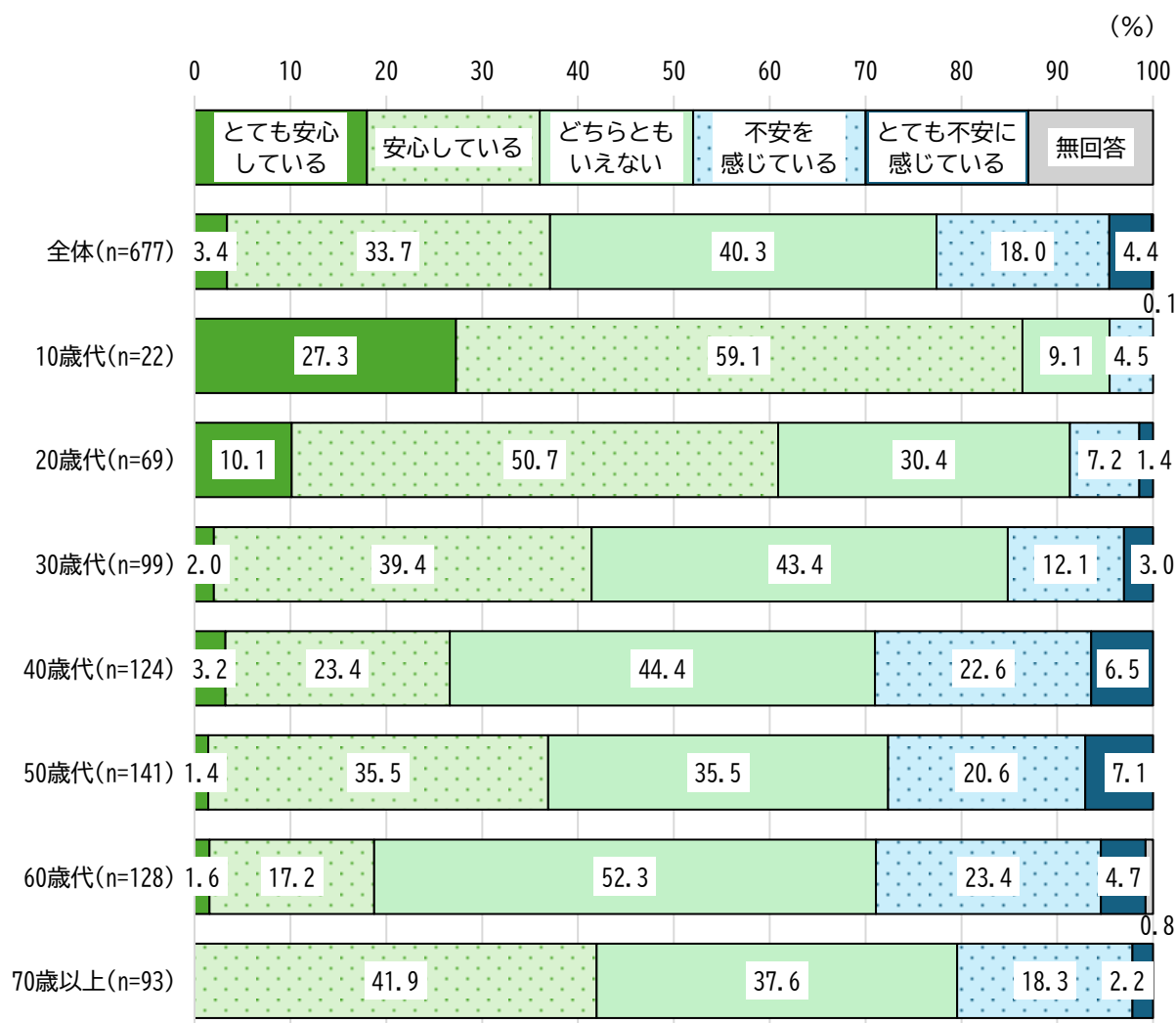
問 11 あなたは、白岡市の医療体制についてどのように感じていますか（1つに○）。

《全体》



白岡市の医療体制について、「どちらともいえない」が40.3%で最も多くなっている。安心（「とても安心している」と「安心している」の合計）と回答した市民の割合は37.1%であり、前回調査（32.5%）と比べ、約5ポイント増加している。

《年代別》

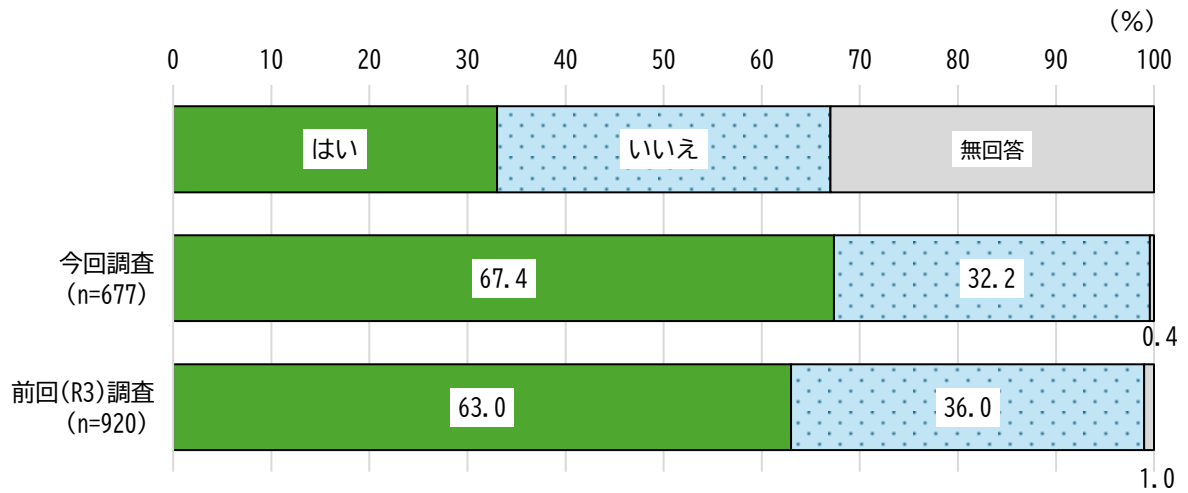


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の医療体制について、安心（「とても安心している」と「安心している」の合計）と回答した市民の割合は、年代によって異なる。10歳代と20歳代では半数以上が安心と回答している一方、40歳代と60歳代では安心が3割未満となっている。なお、いずれの年代でも、不安（「不安を感じている」と「とても不安を感じている」の合計）より、「どちらともいえない」の回答が多くなっている。

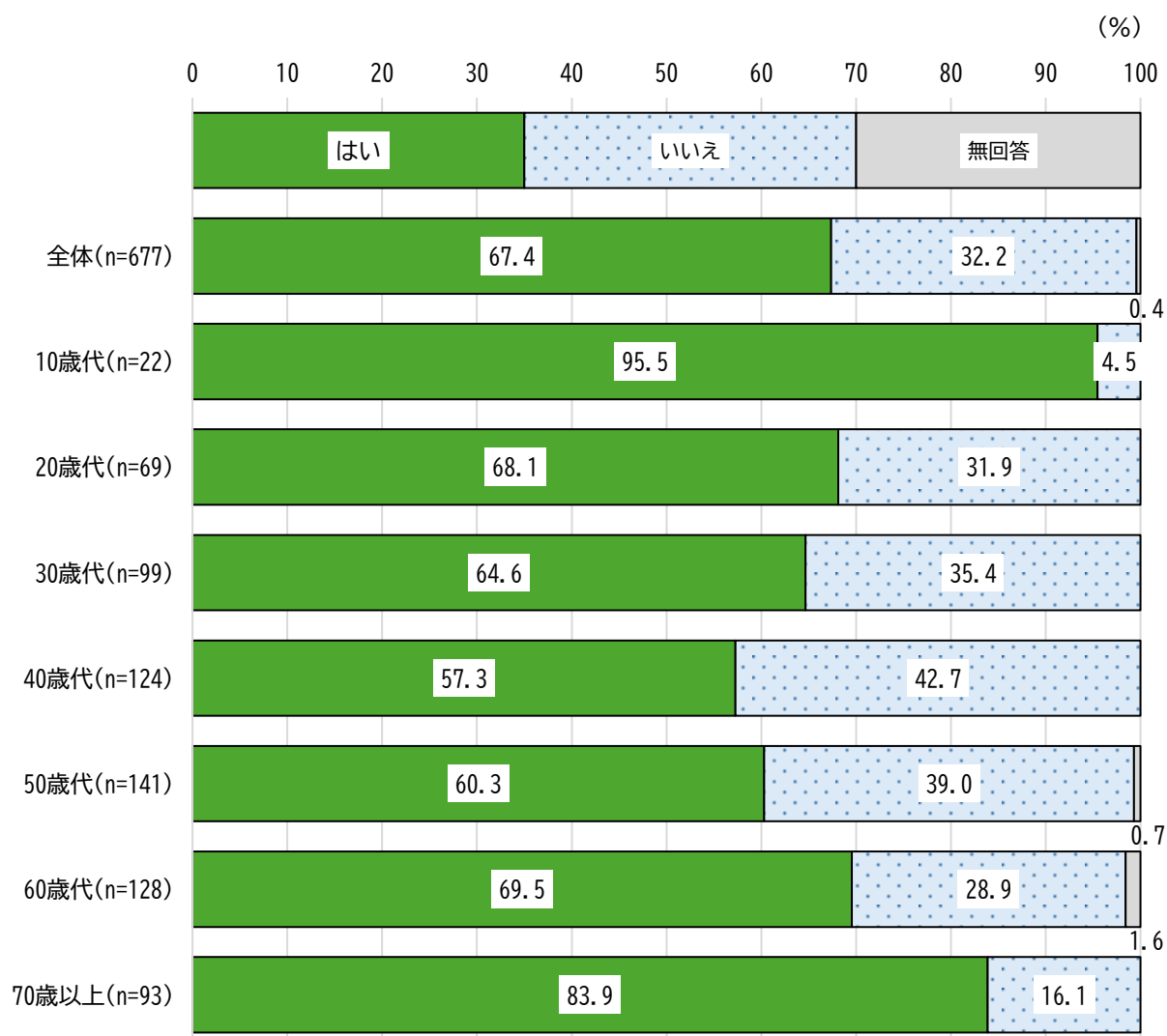
問 12 あなたは、かかりつけの医療機関（御自身の身体のことなどを相談・診察できる身近な医療機関）をお持ちですか（1つに○）。

《全体》



かかりつけの医療機関を有していると回答した市民の割合は 67.4%であり、前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

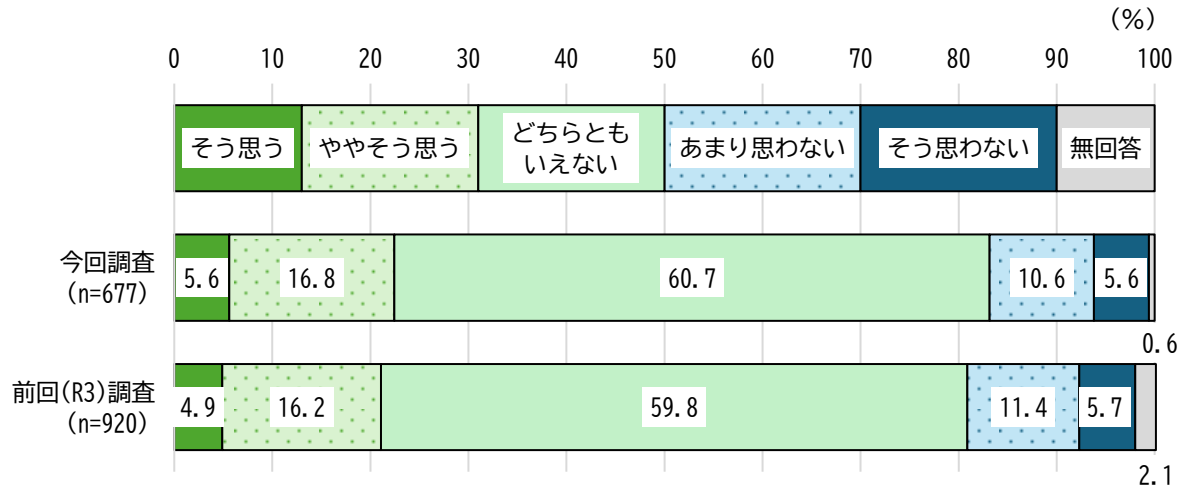


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、かかりつけ医療機関を有している割合は、全ての年代で半数を超えており、特に、10歳代（95.5%）が最も多く、次いで、70歳以上（83.9%）となっている。一方、40歳代（57.3%）が最も少ない。

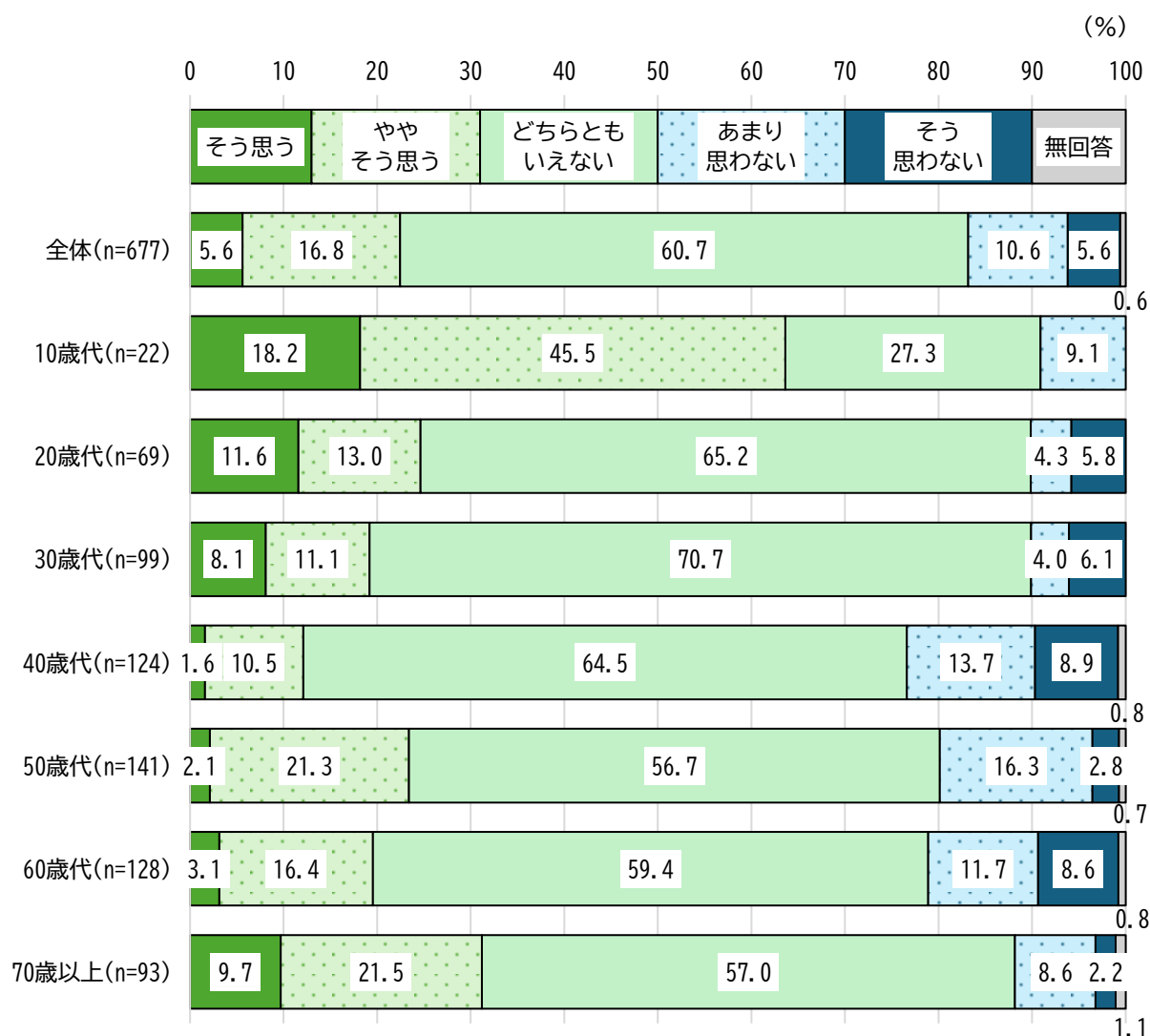
問 13 あなたは、白岡市の介護（訪問・通所等の居宅介護サービス事業や介護施設など）が充実していると感じますか（1つに○）。

《全体》



白岡市の介護の充実度について、「どちらともいえない」が60.7%で最も多くなっている。肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な市民の割合は22.4%であり、前回調査（21.1%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

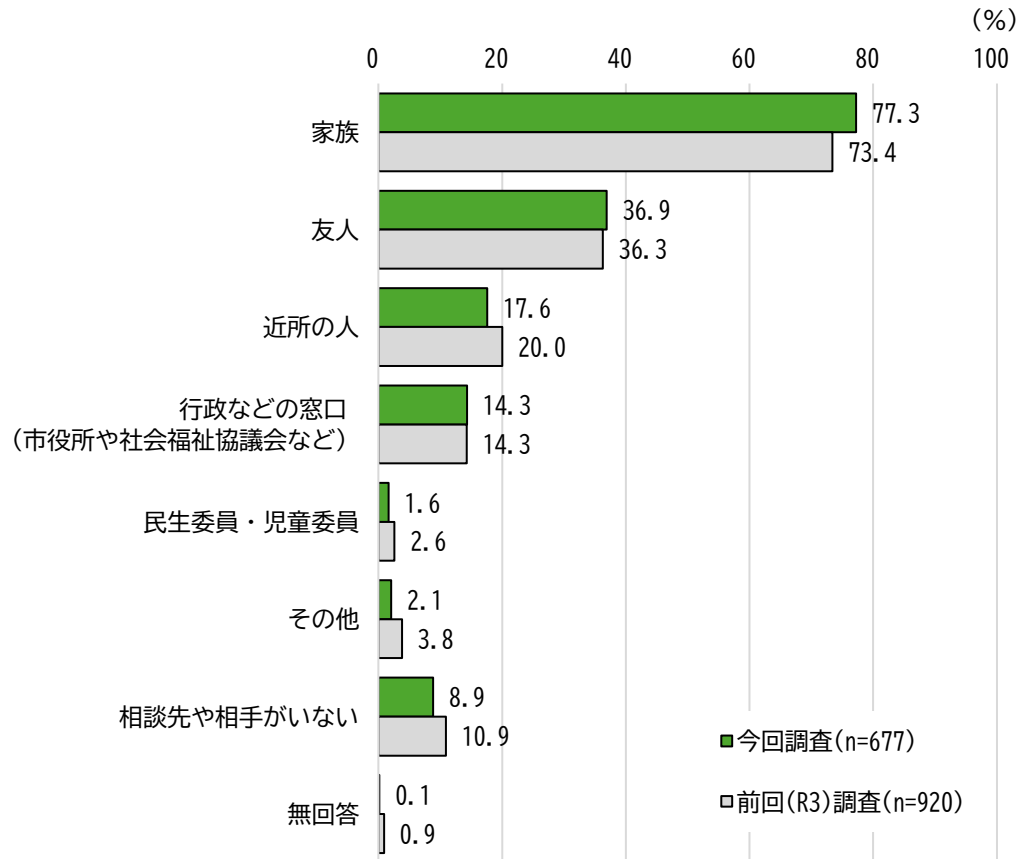


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、10歳代では肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な市民の割合が63.7%で最も多い一方、高齢の年代では、肯定的な市民が約3割からそれ未満となっている。

問 14 あなたは、地域で困り事があった場合の相談先や相手がありますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》



困りごとの相談相手について、「家族」(77.3%)が最も多く、次いで、「友人」(36.9%)となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

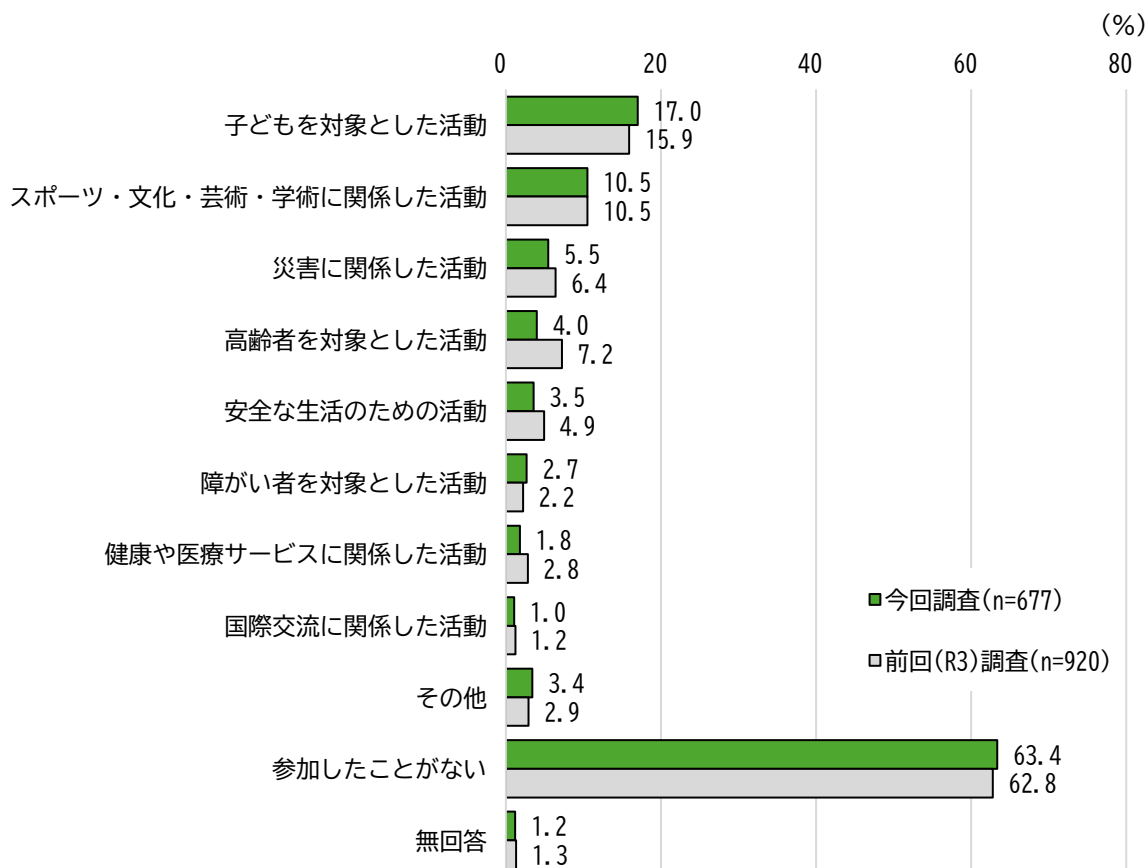
《年代別》

	家族	友人	近所の人	行政などの窓口（市役所や社会福祉協議会など）	民生委員・児童委員	その他	相談先や相手がいない	無回答
全体(n=677)	77.3	36.9	17.6	14.3	1.6	2.1	8.9	0.1
10歳代(n=22)	100.0	59.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=69)	81.2	44.9	4.3	11.6	0.0	2.9	7.2	0.0
30歳代(n=99)	86.9	40.4	14.1	6.1	0.0	1.0	7.1	0.0
40歳代(n=124)	75.0	41.1	20.2	14.5	0.0	0.8	10.5	0.0
50歳代(n=141)	79.4	33.3	19.9	16.3	2.8	1.4	5.0	0.0
60歳代(n=128)	71.1	25.8	19.5	16.4	1.6	3.9	17.2	0.8
70歳以上(n=93)	66.7	37.6	24.7	22.6	5.4	3.2	6.5	0.0

年代別にみると、全ての年代で「家族」が最も多く、次いで、「友人」となっている。一方で、「近所の人」、「行政などの窓口」は年代が上がるごとに増加する傾向がみられる。また、60歳代では、「相談先や相手がいない」が他の年代と比べ多くなっている。

問 15 あなたは、地域福祉に関わる地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》



地域活動やボランティア活動への参加経験については、「参加したことがない」（63.4％）が最も多くなっている。参加経験のある活動としては、「子どもを対象とした活動」（17.0％）、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」（10.5％）、「災害に関係した活動」（5.5％）が上位となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

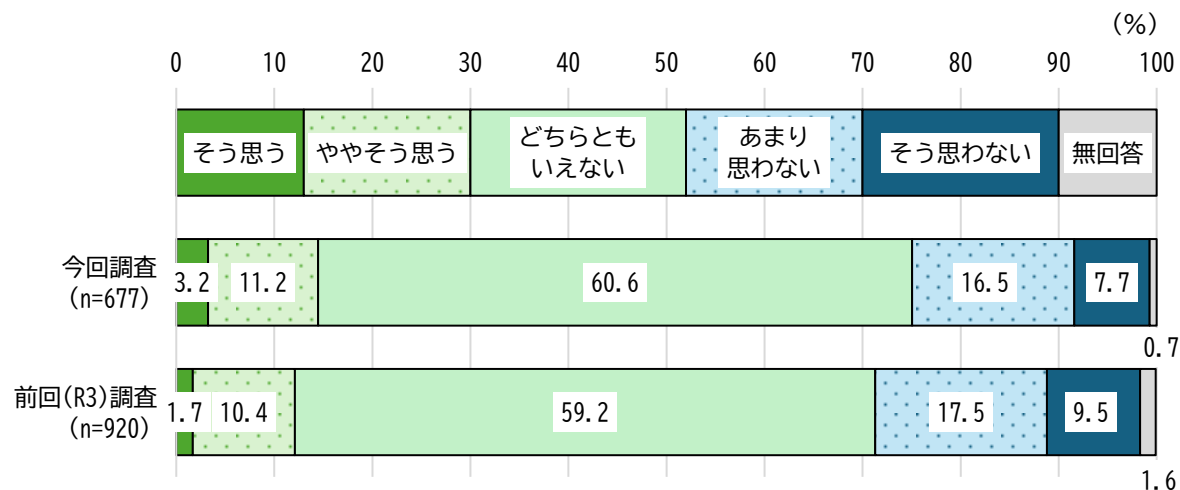
《年代別》

	子どもを対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	災害に関係した活動	高齢者を対象とした活動	安全な生活のための活動	障がい者を対象とした活動	健康や医療サービスに関係した活動	国際交流に関係した活動	その他	参加したことがない	無回答
全体(n=677)	17.0	10.5	5.5	4.0	3.5	2.7	1.8	1.0	3.4	63.4	1.2
10歳代(n=22)	9.1	18.2	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	0.0	68.2	0.0
20歳代(n=69)	15.9	7.2	4.3	1.4	1.4	0.0	2.9	2.9	1.4	68.1	0.0
30歳代(n=99)	15.2	9.1	3.0	5.1	5.1	5.1	0.0	0.0	2.0	67.7	1.0
40歳代(n=124)	23.4	12.9	4.8	1.6	4.8	1.6	0.8	0.8	4.0	58.9	0.0
50歳代(n=141)	21.3	13.5	6.4	2.1	3.5	2.8	0.0	1.4	2.1	58.2	0.7
60歳代(n=128)	14.1	8.6	8.6	6.3	0.8	2.3	1.6	0.0	5.5	66.4	3.1
70歳以上(n=93)	10.8	7.5	4.3	8.6	5.4	4.3	6.5	1.1	5.4	63.4	2.2

年代別にみると、全ての年代で、「参加したことがない」が約6割で、最も多くなっている。参加経験のある活動としては、10歳代では、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」(18.2%)、その他の年代では、「子どもを対象とした活動」がそれぞれ最も多くなっている。

問 16 あなたは、白岡市は、障がい者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか（1つに○）。

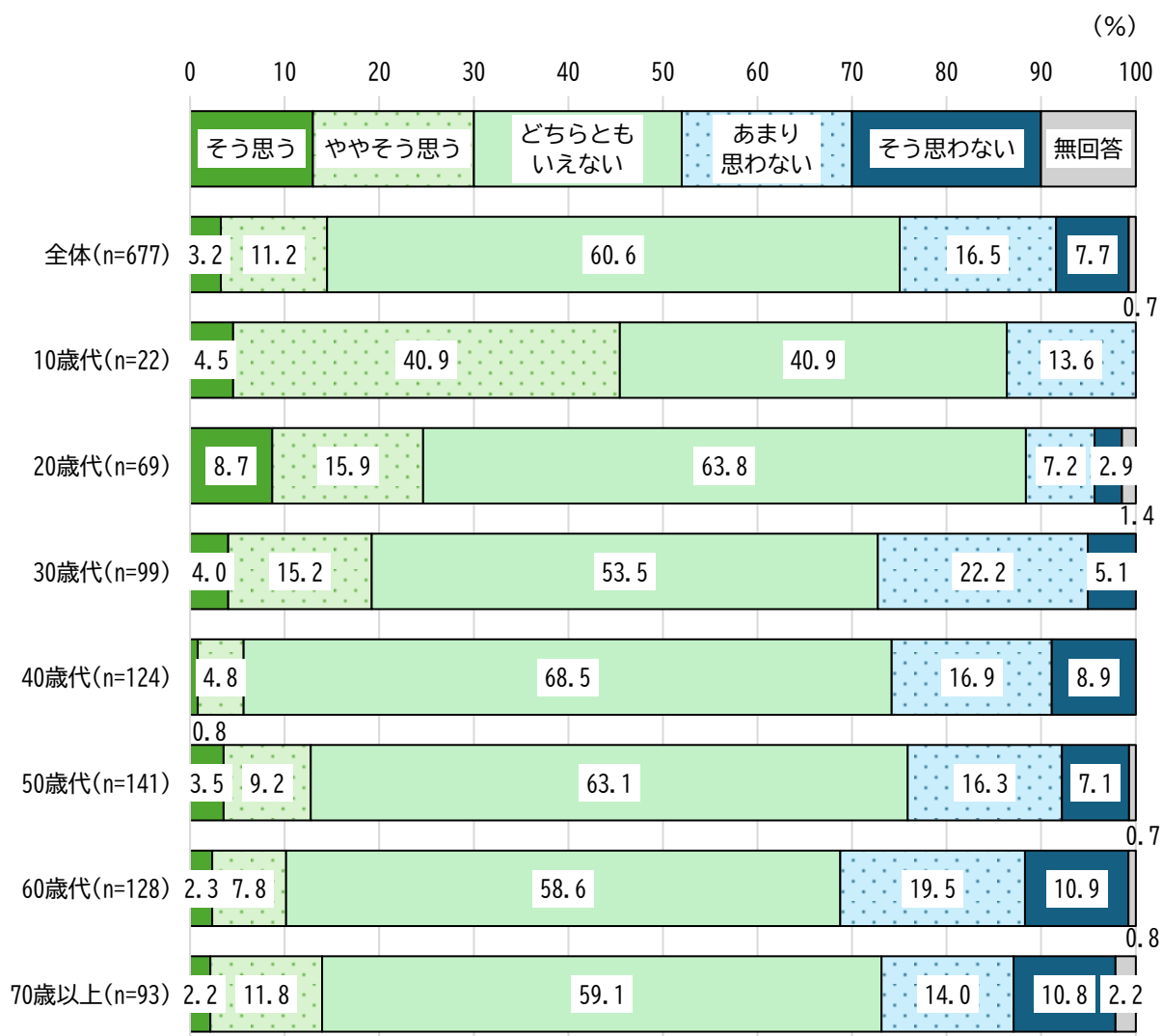
《全体》



障がい者が社会活動に参加しやすい環境整備について、「どちらともいえない」が60.6%で最も多くなっている。肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な市民の割合は14.4%にとどまっている一方、否定的（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）な市民の割合は24.2%で、否定的な割合が上回っている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

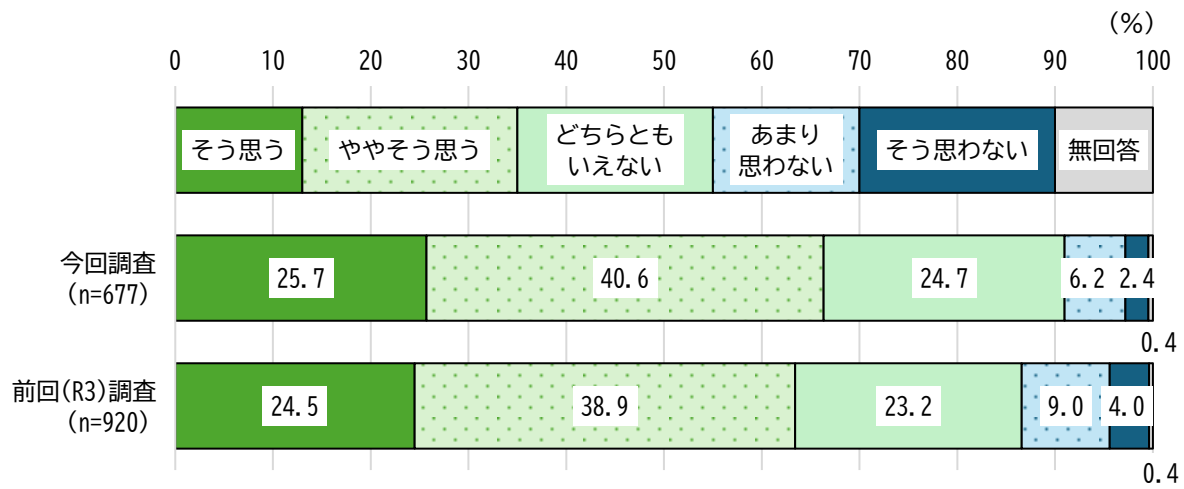


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、10歳代を除く全ての年代で、「どちらともいえない」が最も多くなっている。肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な割合は、10歳代（45.4%）、20歳代（24.6%）の順に多く、一方、否定的（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）な割合は、60歳代（30.4%）、30歳代（27.3%）の順に多くなっている。

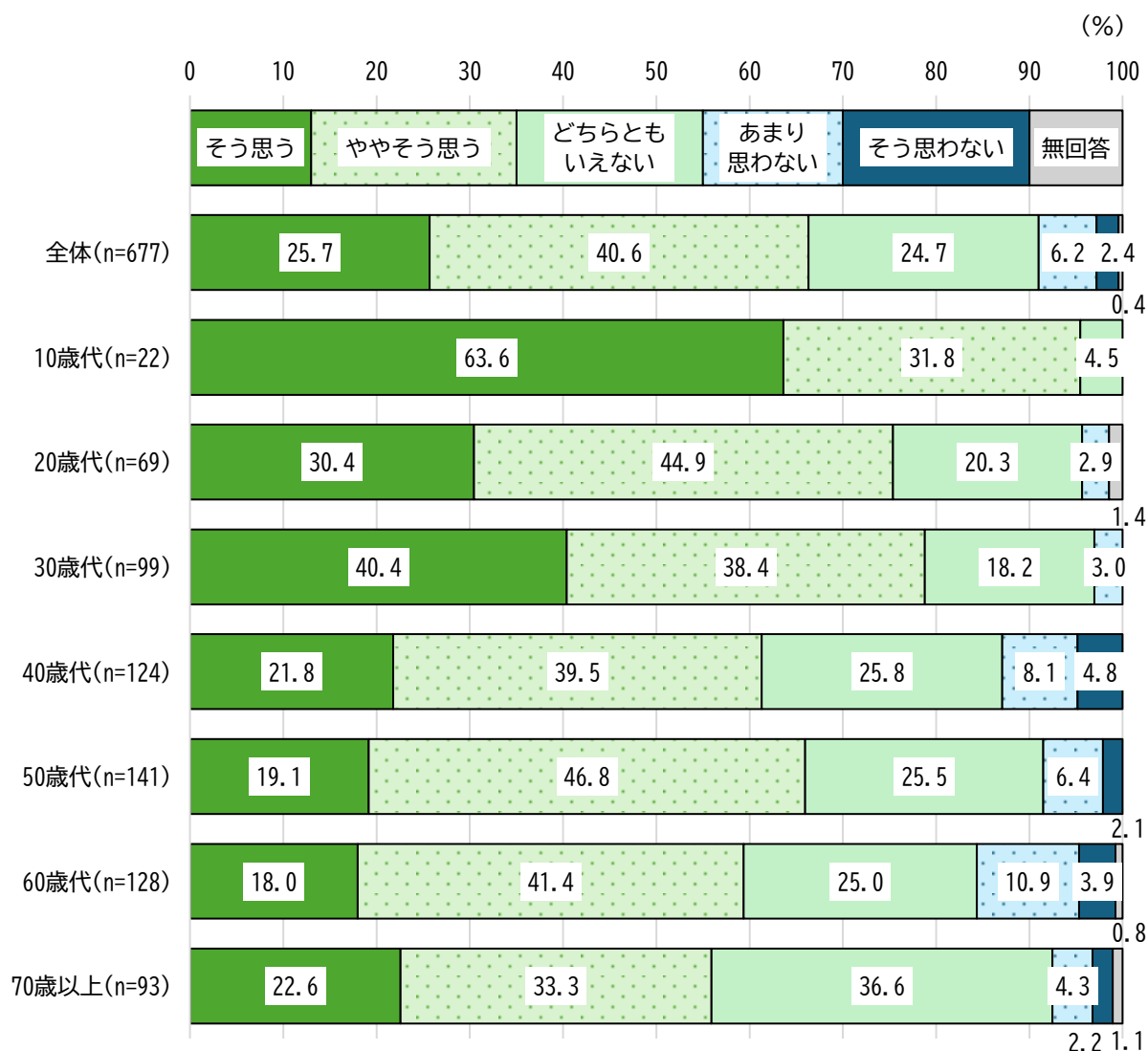
問 17 あなたは、現在、生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか（1つに○）。

《全体》



現在、生きがいを感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は66.3%であり、前回調査（63.4%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》



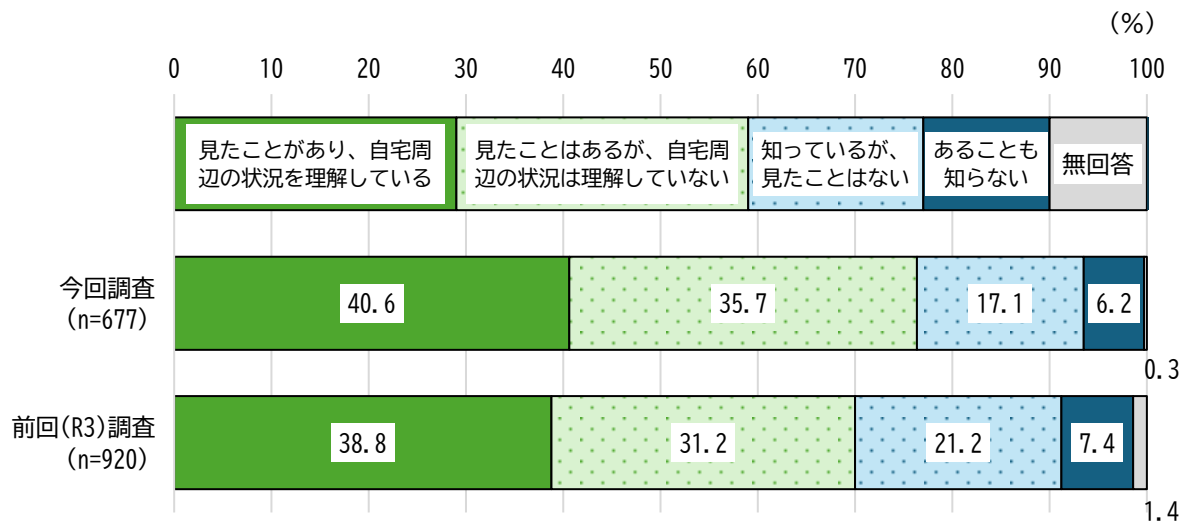
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、現在、生きがいや喜びを感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（95.4%）、30歳代（78.8%）、20歳代（75.3%）の順に多くなっている。一方で、生きがいや喜びを感じていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）と回答した市民の割合は、60歳代（14.8%）、40歳代（12.9%）の順に多い。

4. 防災・防犯について

問 18 あなたは、「白岡市地震・洪水ハザードマップ」を知っていますか（1つに○）。

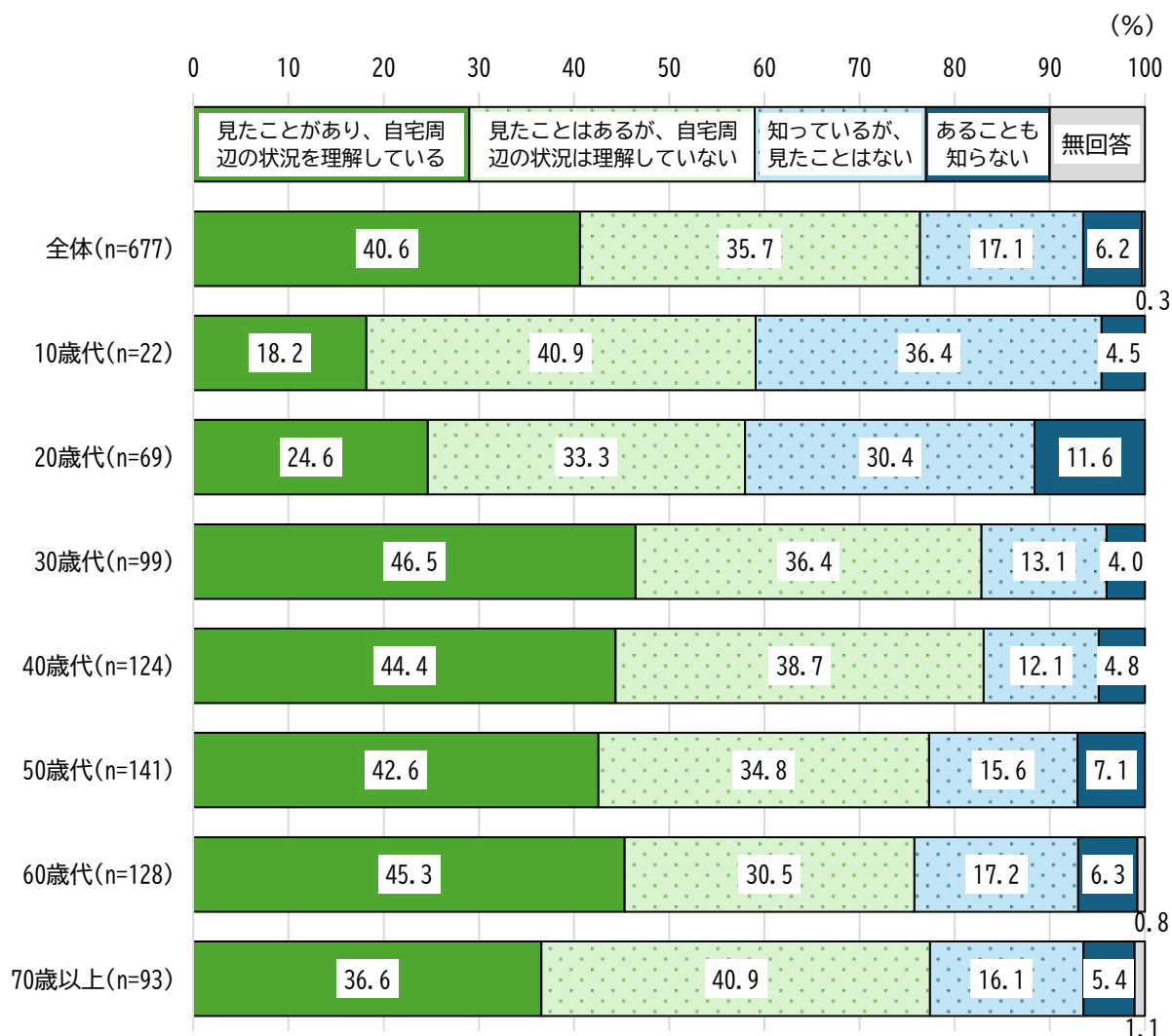
《全体》



ハザードマップの認知度について、「見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している」と回答した市民の割合は40.6%で最も多い。また、「見たことはあるが、自宅周辺の状況は理解していない」（35.7%）と合わせ76.3%がハザードマップを見たことがあると回答している。一方、「知っているが見たことはない」（17.1%）と「あることも知らない」（6.2%）を合わせ23.3%が実物を知らないと回答している。

前回調査と比べ、「知っているが見たことはない」と「あることも知らない」を合わせた割合は、約5ポイント減少している。

《年代別》

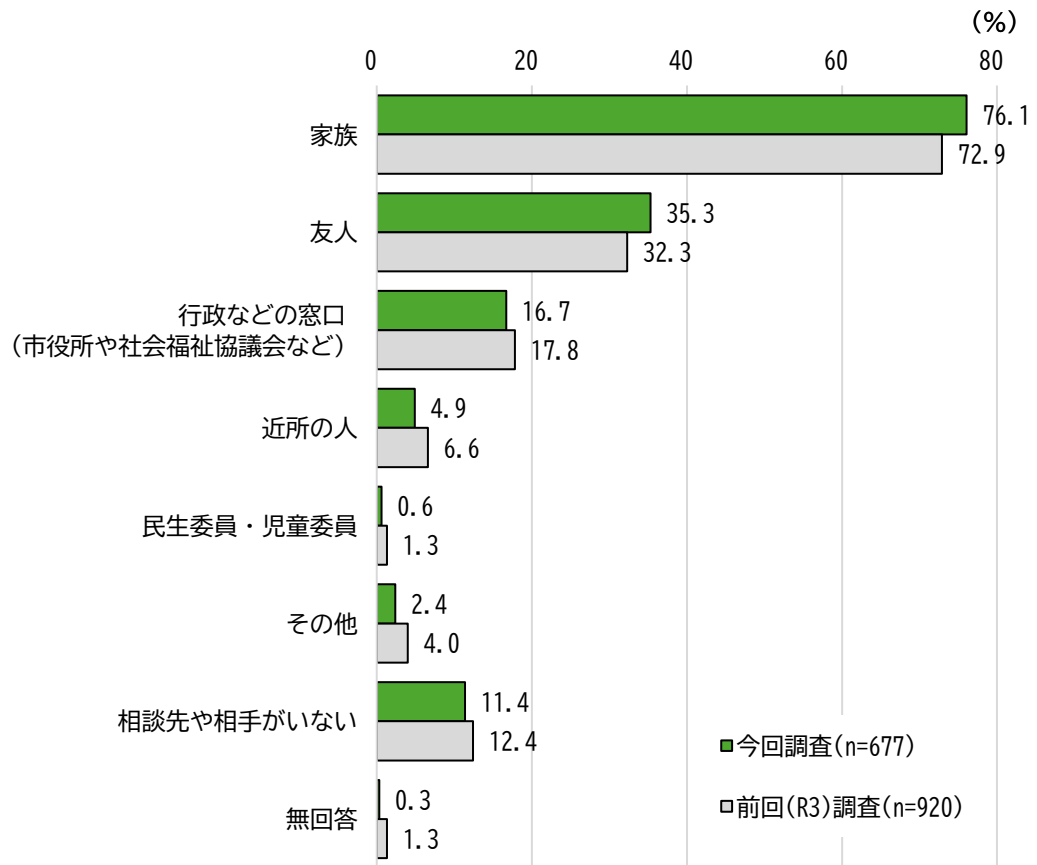


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している」と回答した市民の割合は30歳代から60歳代で4割を超えている。「見たことはあるが、自宅周辺の状況は理解していない」と回答した市民の割合は、どの年代も約3割から4割となっている。「知っているが見たことはない」と回答した市民の割合は、10歳代と20歳代で3割超と多く、「あることも知らない」と回答した市民の割合は20歳代（11.6%）が最も多くなっている。

問 19 あなたは、消費生活（日常の買物やインターネット取引など）上のトラブルがあった場合の相談先や相手がありますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》



消費生活上のトラブルの相談先は、「家族」（76.1％）が最も多く、次いで、「友人」（35.3％）、「行政などの窓口」（16.7％）となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

(%)

	家族	友人	行政などの窓口（市役所や社会福祉協議会など）	近所の人	民生委員・児童委員	その他	相談先や相手がいない	無回答
全体(n=677)	76.1	35.3	16.7	4.9	0.6	2.4	11.4	0.3
10歳代(n=22)	95.5	50.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=69)	88.4	44.9	8.7	2.9	0.0	1.4	7.2	0.0
30歳代(n=99)	84.8	37.4	15.2	4.0	0.0	4.0	8.1	0.0
40歳代(n=124)	77.4	48.4	18.5	6.5	0.0	1.6	9.7	0.0
50歳代(n=141)	73.8	33.3	9.9	2.1	1.4	3.5	11.3	0.0
60歳代(n=128)	69.5	21.9	21.9	6.3	0.8	0.8	18.0	0.8
70歳以上(n=93)	63.4	26.9	26.9	8.6	1.1	3.2	14.0	1.1

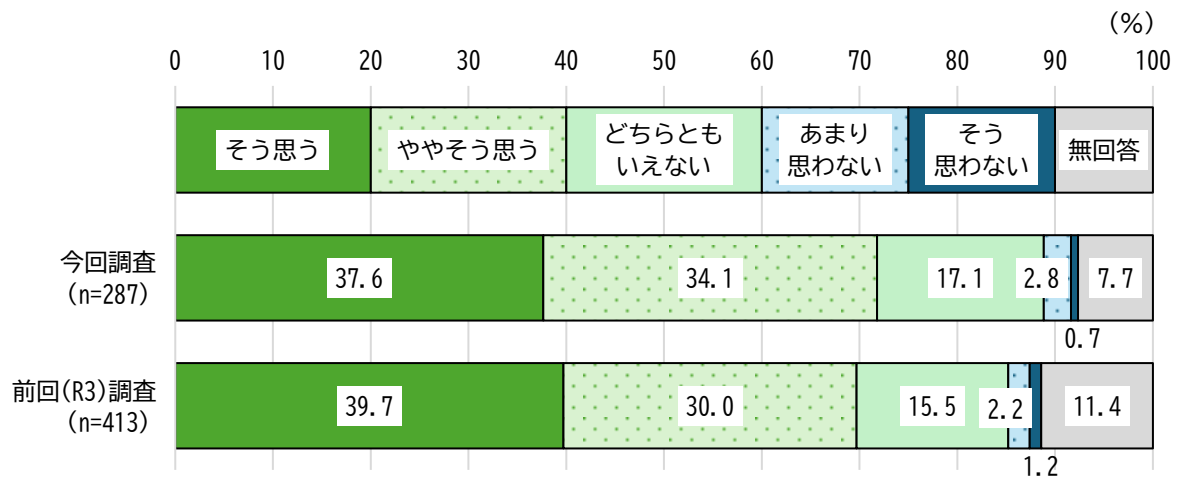
年代別にみると、全ての年代において、「家族」が最も多くなっている。次いで、10歳代から40歳代では、「友人」と回答した市民の割合が多く、60歳代と70歳以上では、「行政などの窓口」が多くなっている。また、概ね年代が上がるにつれて、「相談先や相手がいない」の割合が多くなる傾向がみられる。

5. 子育て・教育について

問 20 あなたは、子育て（18歳未満の子ども）を楽しんでいると感じていますか（1つに○）。

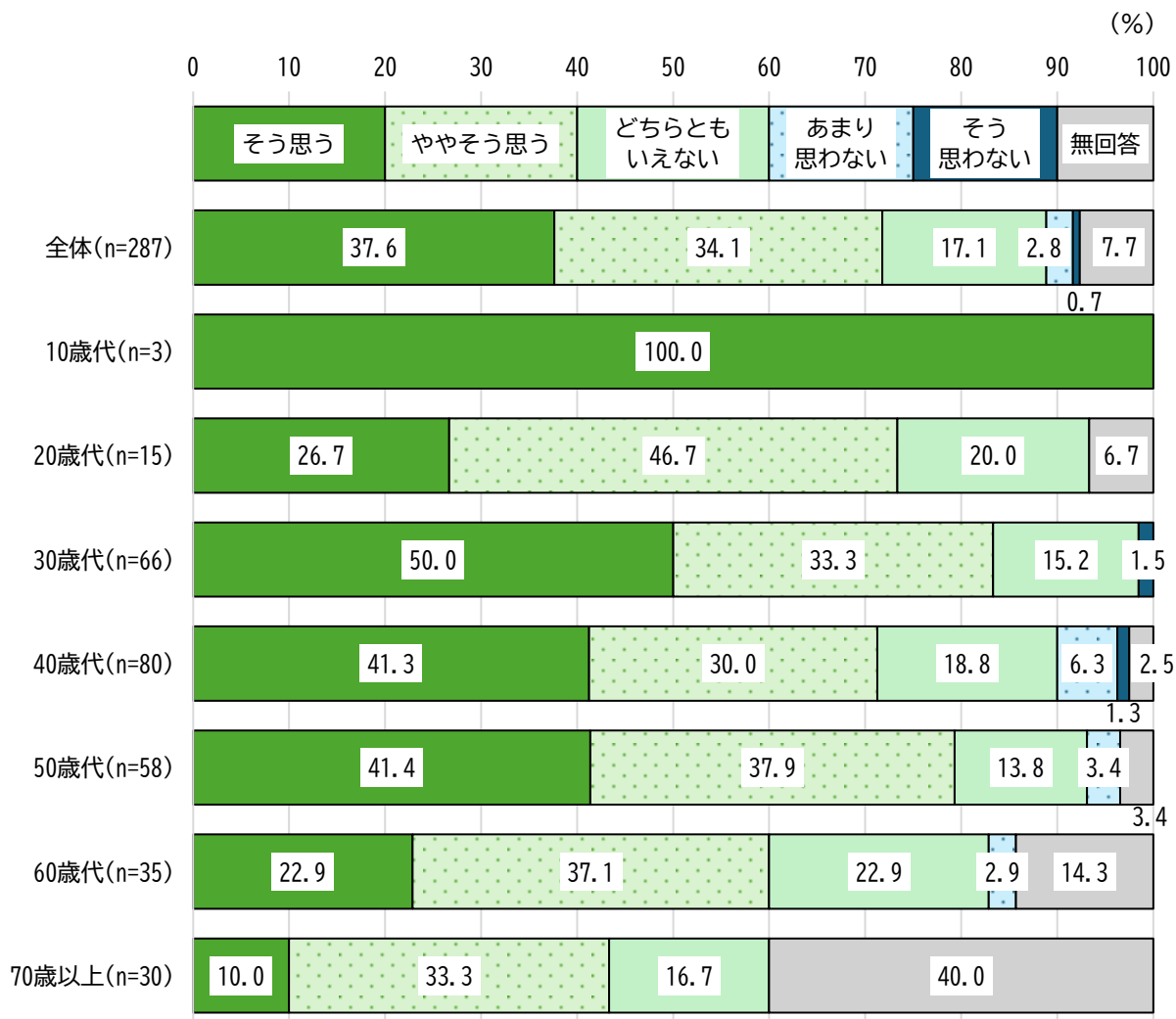
【18歳未満の子どもを養育している人のみ】

《全体》



18歳未満の子どもを養育している人のうち、子育てを楽しんでいる（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）市民の割合は71.7%であり、前回調査（69.7%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》



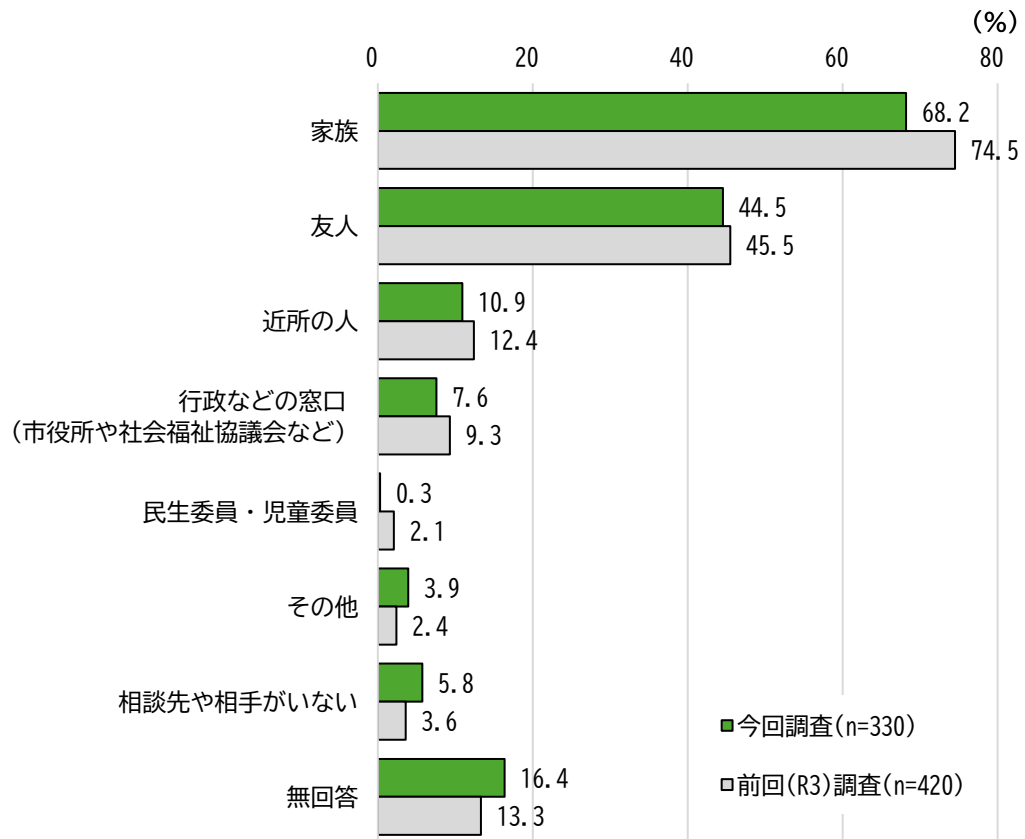
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、10歳代では子育てを楽しんでいると感じる割合が100%となっている。また、20歳代から50歳代では、子育てを楽しんでいると感じる（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）割合が7割から8割となっているものの、40歳代では、子育てを楽しんでいると感じない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）割合が他の年代と比べ多い。

問 21 あなたは、子育て（18歳未満の子ども）の悩みがあった場合の相談先や相手がいま
すか（当てはまるもの全てに○）。

【18歳未満の子どもを養育している人のみ】

《全体》



18歳未満の子どもを養育している人のうち、相談先や相手としては、「家族」（68.2%）が最も多く、次いで、「友人」（44.5%）となっている。

前回調査と比べ、「家族」の割合が約6ポイント減少している。

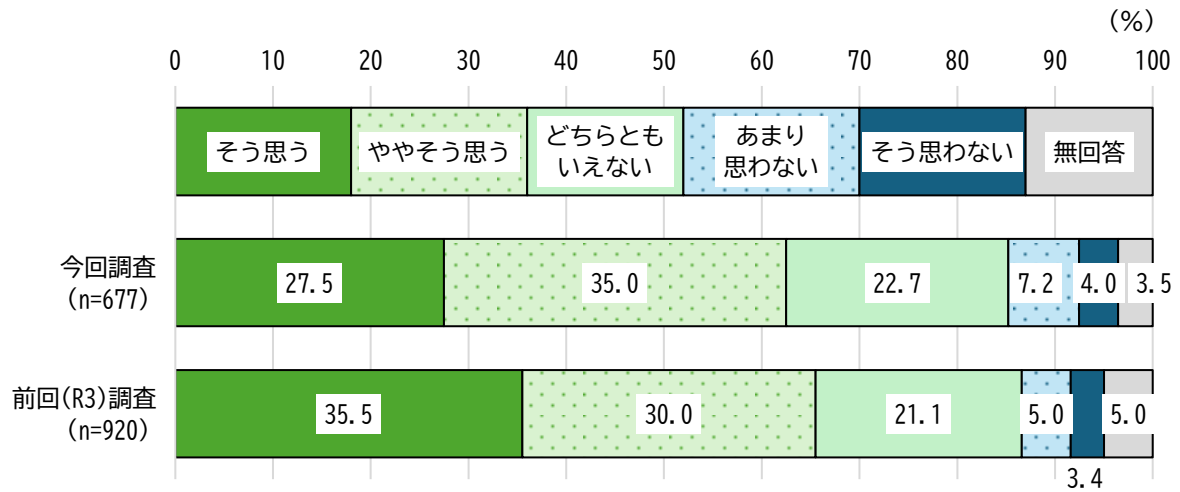
《年代別》

	家族	友人	近所の人	行政などの窓口（市役所や社会福祉協議会など）	民生委員・児童委員	その他	相談先や相手がいない	無回答
全体(n=330)	68.2	44.5	10.9	7.6	0.3	3.9	5.8	16.4
10歳代(n=4)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
20歳代(n=17)	76.5	52.9	11.8	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0
30歳代(n=69)	94.2	53.6	14.5	10.1	0.0	7.2	1.4	1.4
40歳代(n=83)	80.7	63.9	14.5	10.8	0.0	3.6	6.0	2.4
50歳代(n=69)	60.9	43.5	5.8	7.2	1.4	2.9	5.8	17.4
60歳代(n=49)	49.0	20.4	10.2	2.0	0.0	4.1	12.2	32.7
70歳以上(n=39)	28.2	17.9	7.7	5.1	0.0	0.0	2.6	56.4

年代別にみると、全ての年代において「家族」が最も多く、次いで、「友人」となっている。また、20歳代と60歳代では、「相談先や相手がいない」が1割を超え、他の年代と比べ多くなっている。

問 22 あなたは、子育てや子どもの教育は家庭や学校だけではなく、地域でも行うものだと思いますか（1つに○）。

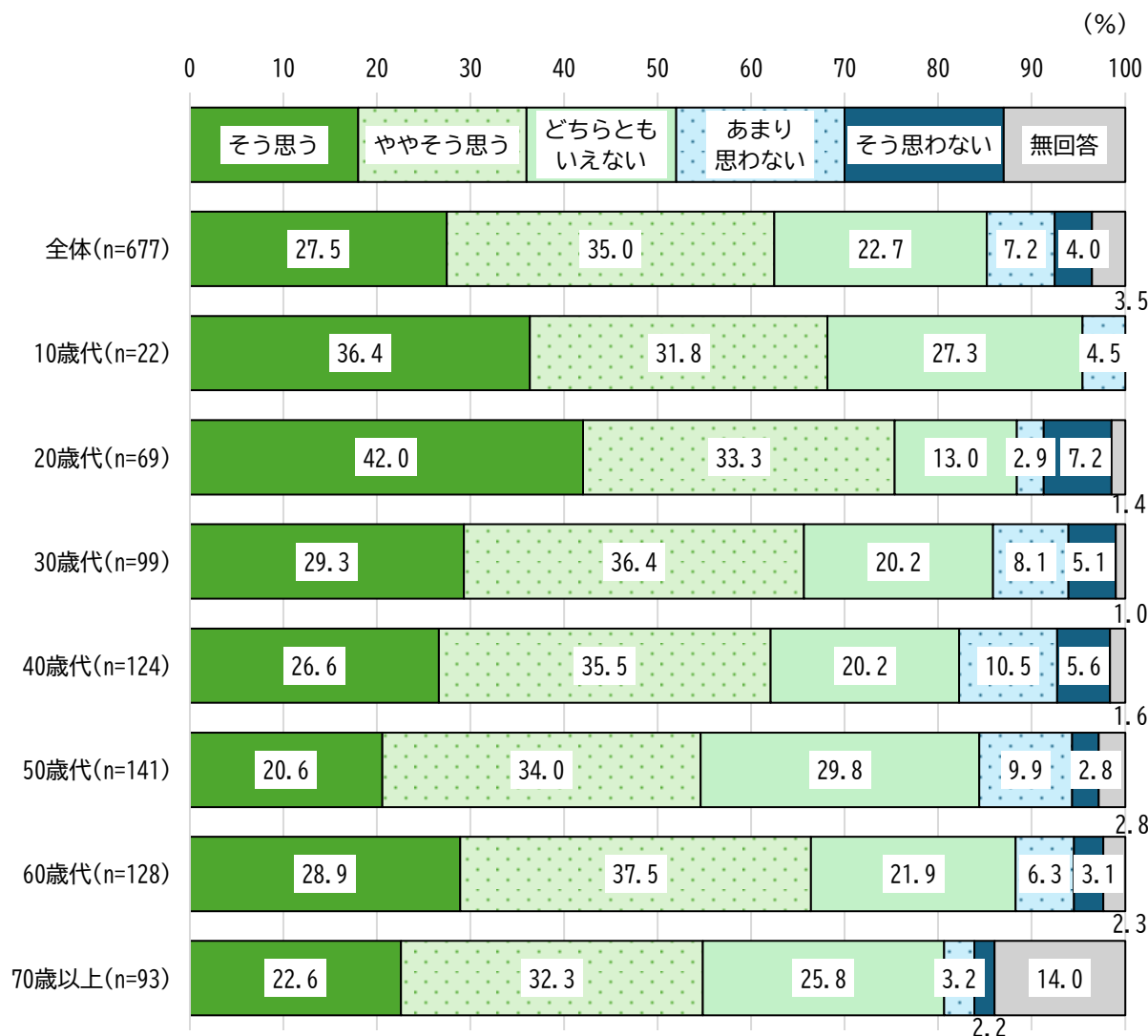
《全体》



子育てや子どもの教育を地域で行うものだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、62.5%となっている。

前回調査と比べ、「そう思う」の割合が約8ポイント減少し、「ややそう思う」の割合が増加している。

《年代別》



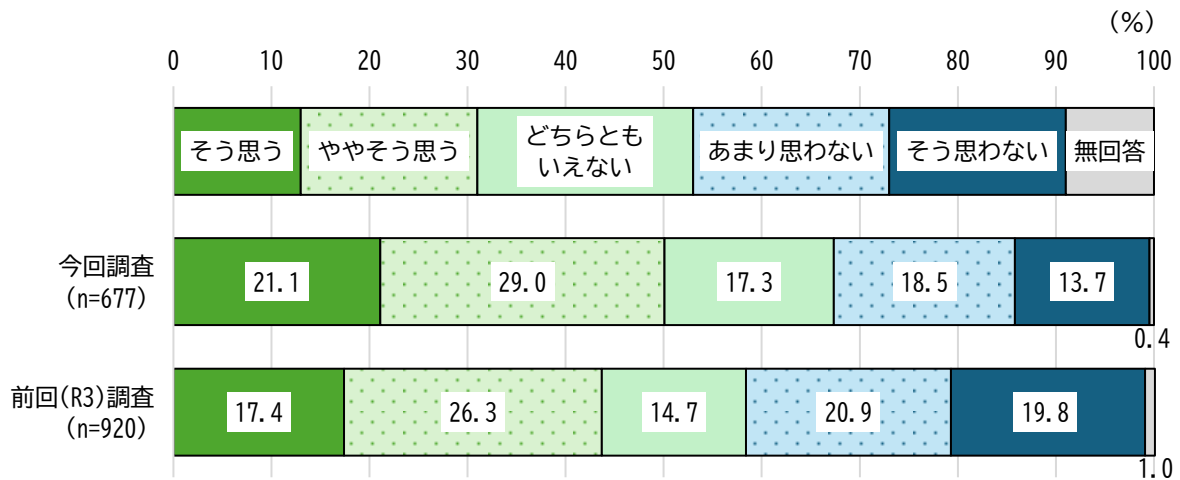
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、子育てや教育を地域で行うものだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、全ての年代で5割を超えており、特に、20歳代（75.3%）、10歳代（68.2%）、30歳代（65.7%）の順に多くなっている。

6. 日常生活について

問 23 あなたは、お住まいの地域での買物が便利だと感じていますか（1つに○）。

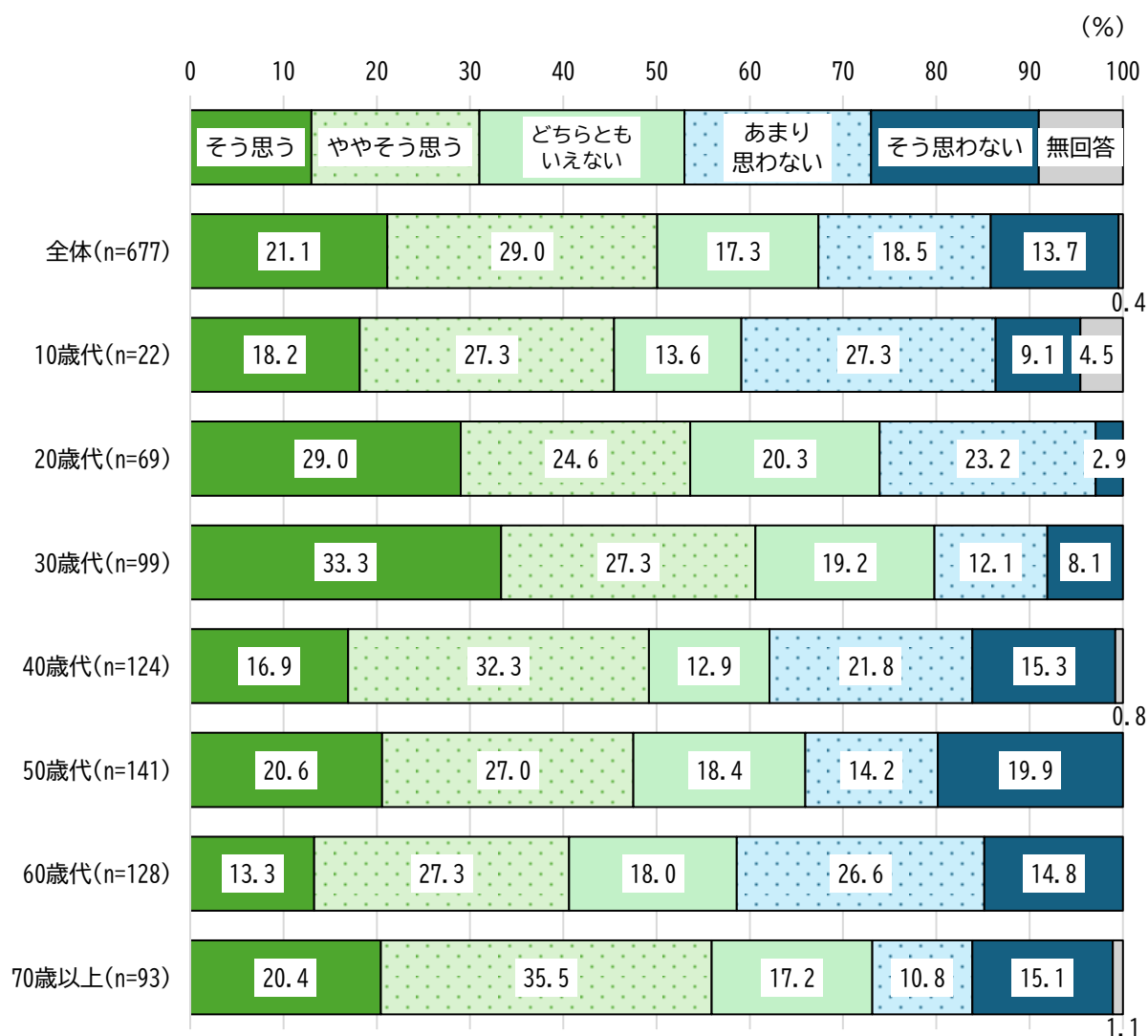
《全体》



居住地域での買物が便利だと感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、50.1%であり、一方、便利だと感じていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）の割合は32.2%となっている。

前回調査と比べ、居住地域での買物が便利だと感じている市民が約6ポイント増加している。

《年代別》

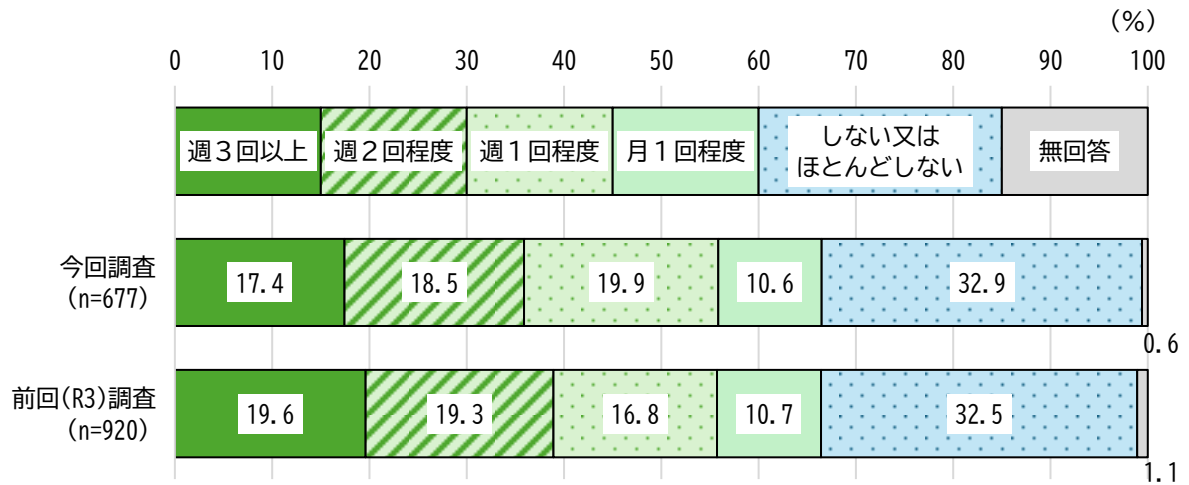


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、居住地での買物が便利だと感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、30歳代（60.6%）、70歳以上（55.9%）、20歳代（53.6%）の順に多くなっている。一方、便利だと感じていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）と回答した市民の割合は、60歳代（41.4%）、40歳代（37.1%）、10歳代（36.4%）の順に多くなっている。

問 24 あなたは、白岡駅、新白岡駅周辺（駅から500m 圏内）でどのくらいの頻度で買物や飲食をしますか（1つに○）。

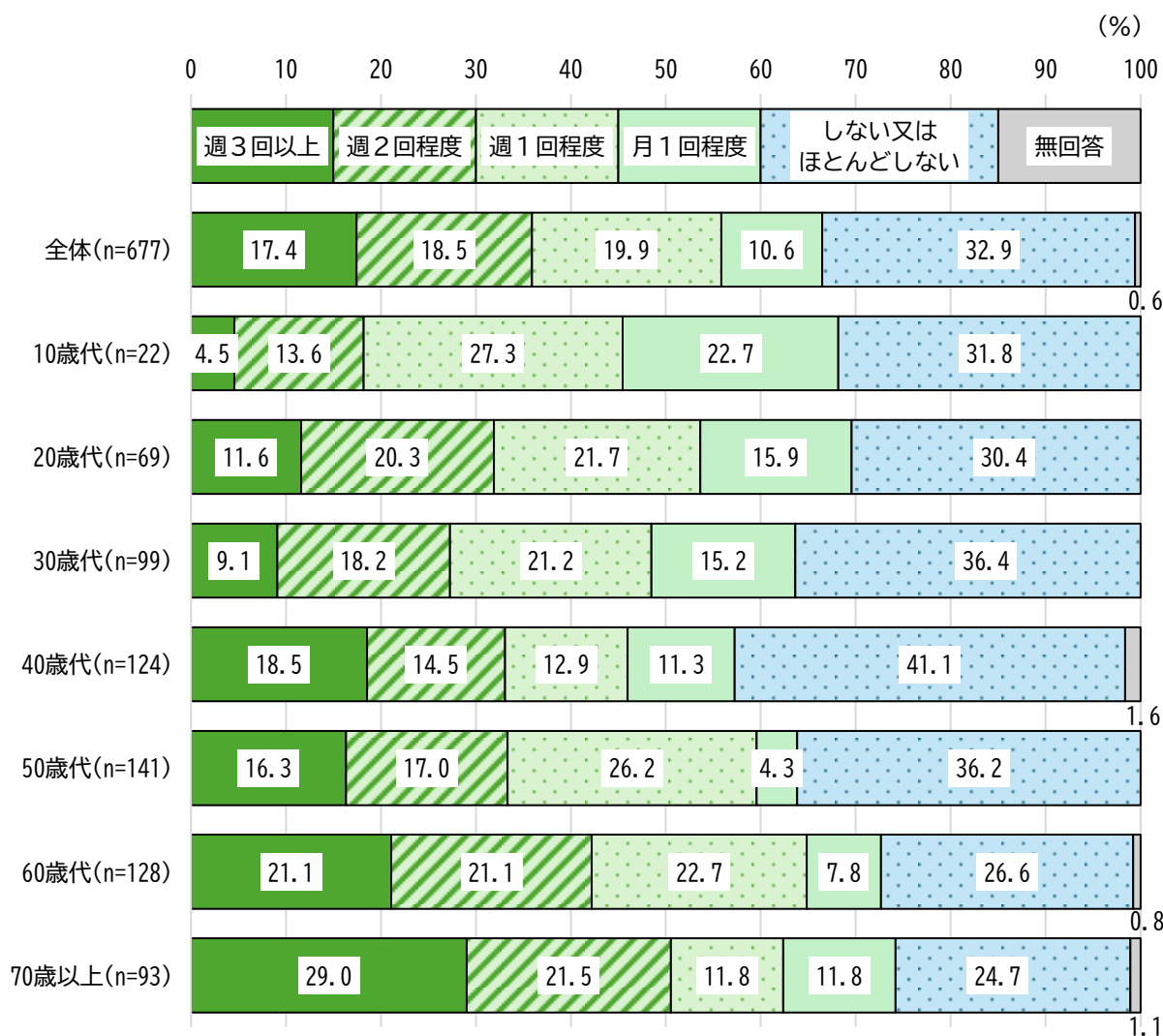
《全体》



白岡駅・新白岡駅周辺での買物や飲食の頻度について、「しない又はほとんどしない」が32.9%と最も多くなっている。一方、週1回以上（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）の割合は、55.8%で半数を超えている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

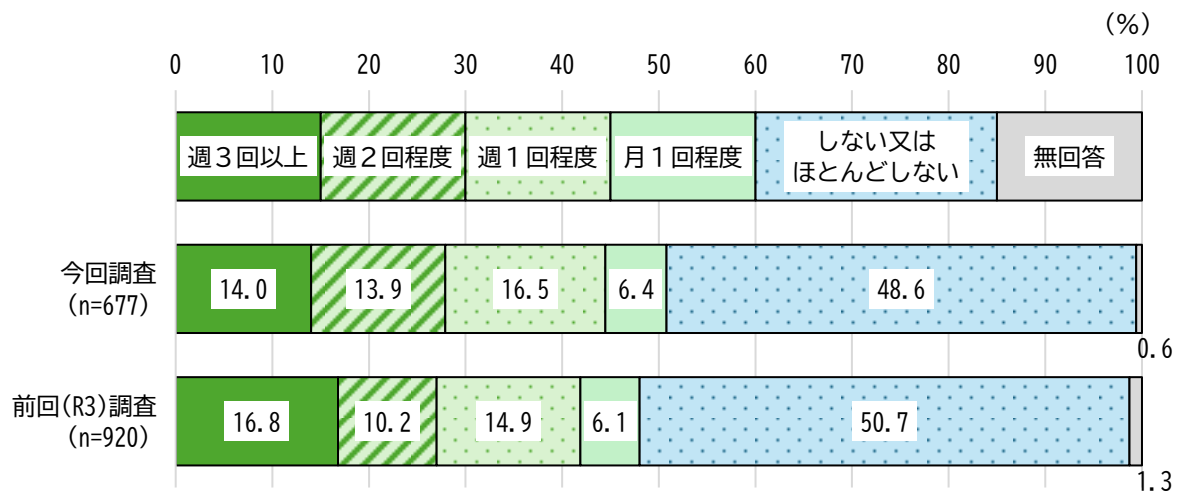


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、週1回以上買物や飲食をする（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）と回答した市民の割合は、50歳代以上が多くなっている。一方、40歳代では「しない又はほとんどしない」の割合が4割を超え、他の年代と比べ多くなっている。

問 25 あなたは、運動やスポーツをどの程度行っていますか（1つに○）。

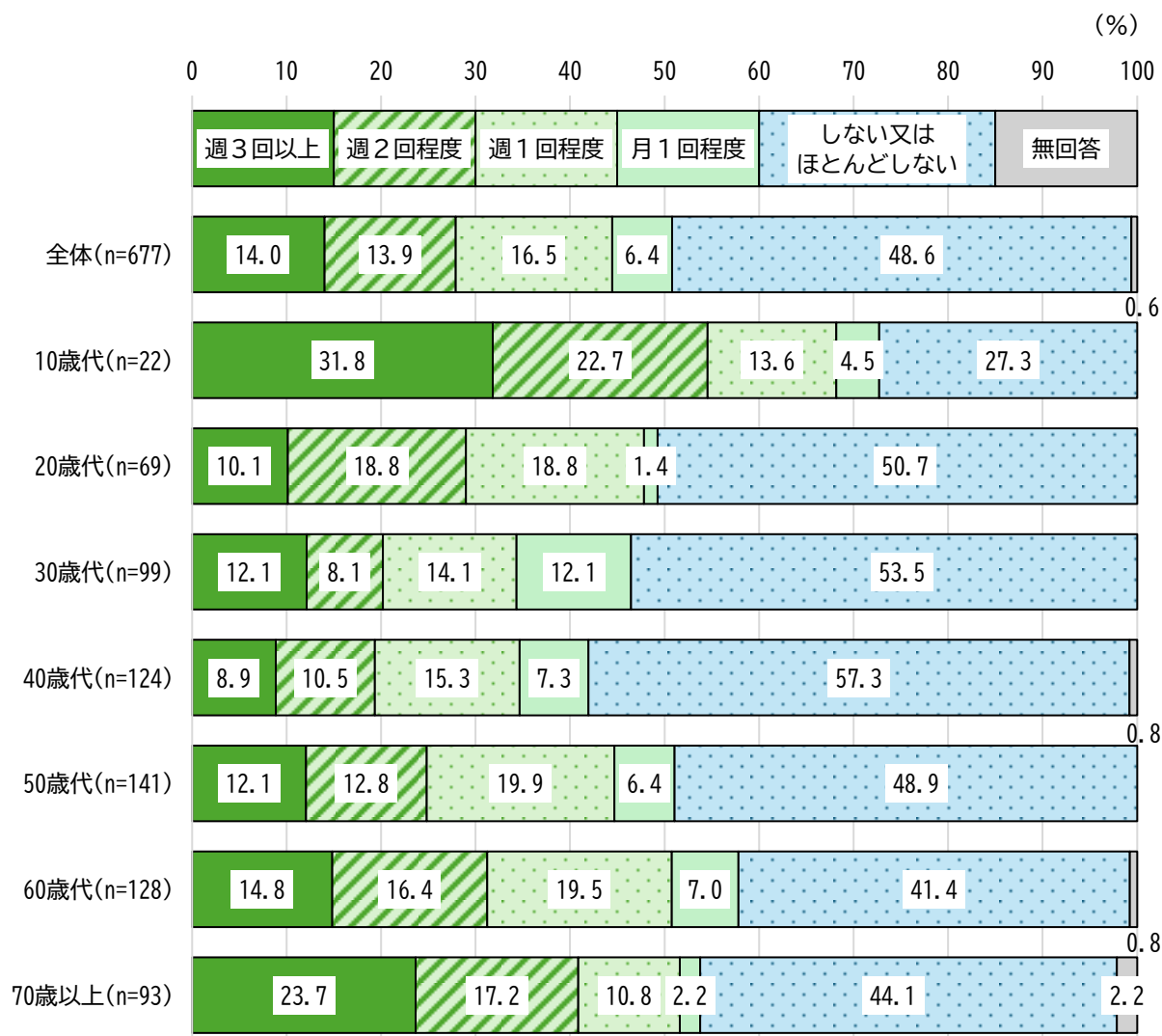
《全体》



運動やスポーツの頻度について、「しない又はほとんどしない」が48.6%と最も多くなっている。一方、週1回以上（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）と回答した市民の割合は、44.4%となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》



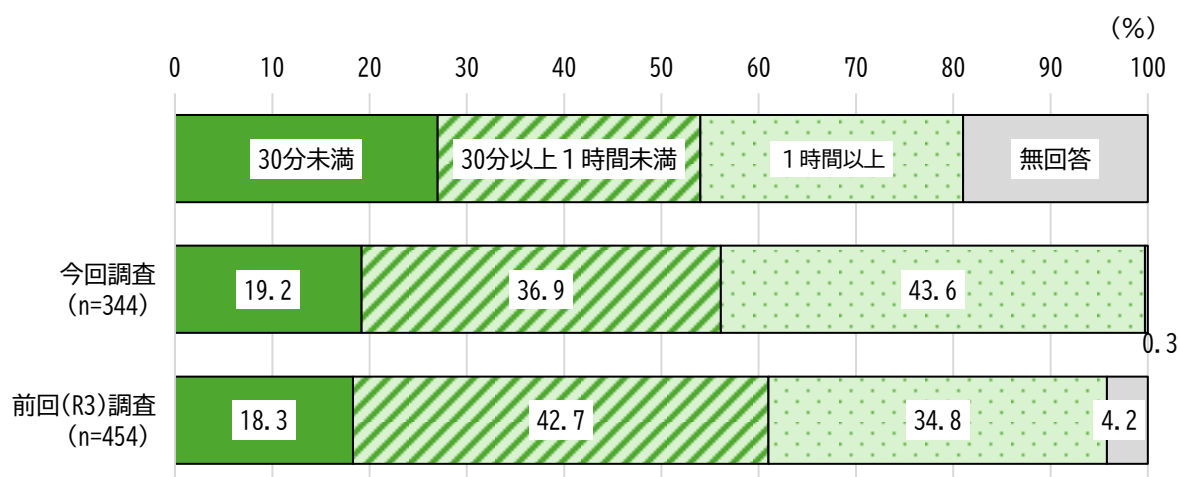
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、「しない又はほとんどしない」と回答した市民の割合は20歳代から50歳代では半数程度かそれ以上となっている。一方、週1回以上（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（68.1%）が最も多く、70歳以上（51.7%）、60歳代（50.7%）の順に多い。

問 26 【問25で「1. 週3回以上」または「2. 週2回程度」または「3. 週1回程度」または「4. 月1回程度」を選択した方】あなたは、運動やスポーツの1回当たりの平均時間はどの程度ですか。また、運動やスポーツをどの程度継続して行っていますか（それぞれ1つに○）。

【平均時間】

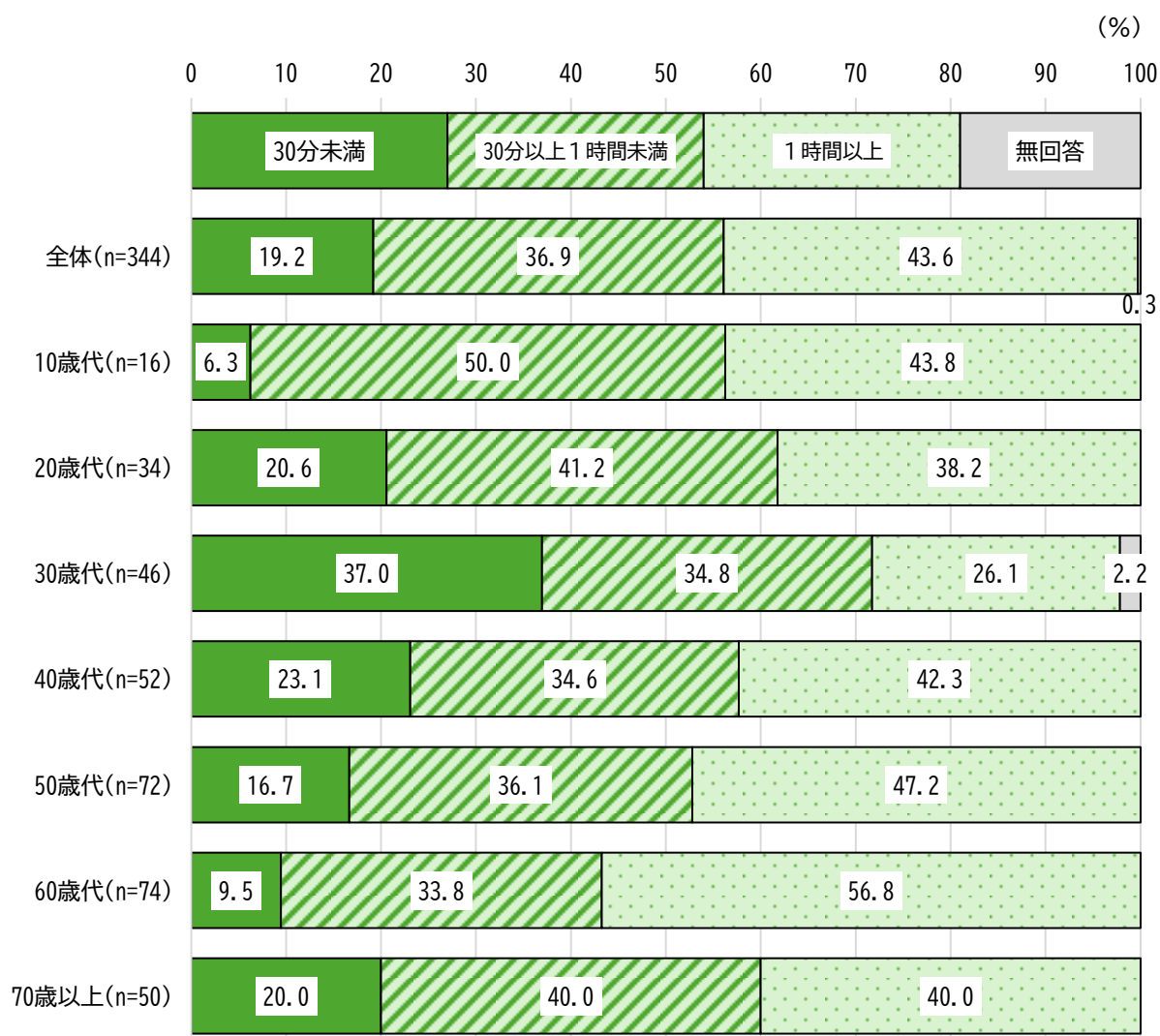
《全体》



運動をする（「週3回以上」または「週2回程度」または「週1回程度」または「月1回程度」）と回答した市民のうち、1回当たり「1時間以上」運動する市民の割合は43.6%と最も多く、次いで、「30分以上1時間未満」（36.9%）、「30分未満」（19.2%）となっている。

前回調査と比べ、1回当たり「1時間以上」運動する割合が約9ポイント増加している。

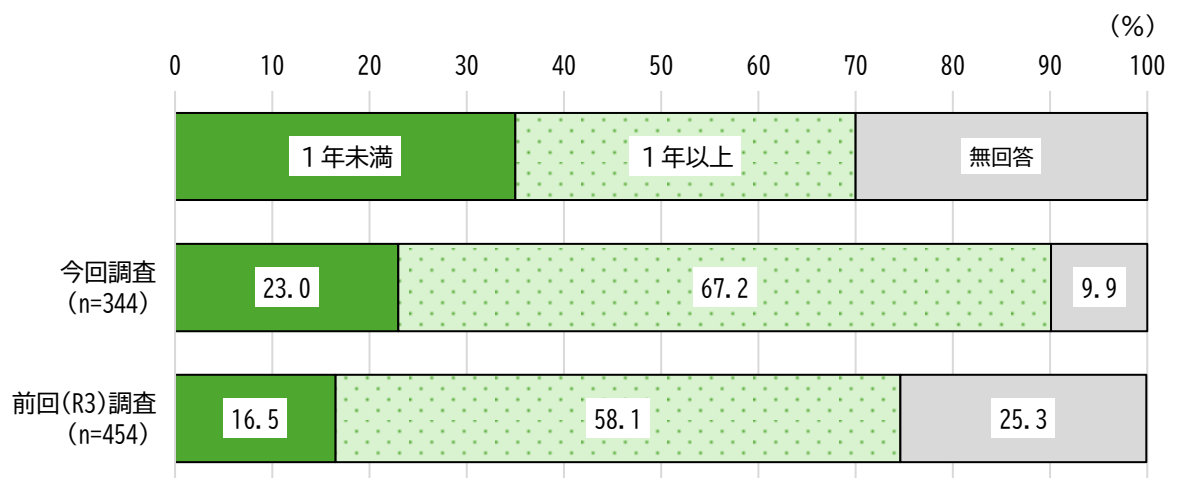
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、運動をする（「週3回以上」または「週2回程度」または「週1回程度」または「月1回程度」と回答した市民のうち、1回当たり「1時間以上」運動すると回答した市民の割合は、60歳代（56.8%）が最も多い。一方、30歳代は「30分未満」（37.0%）が最も多くなっている。

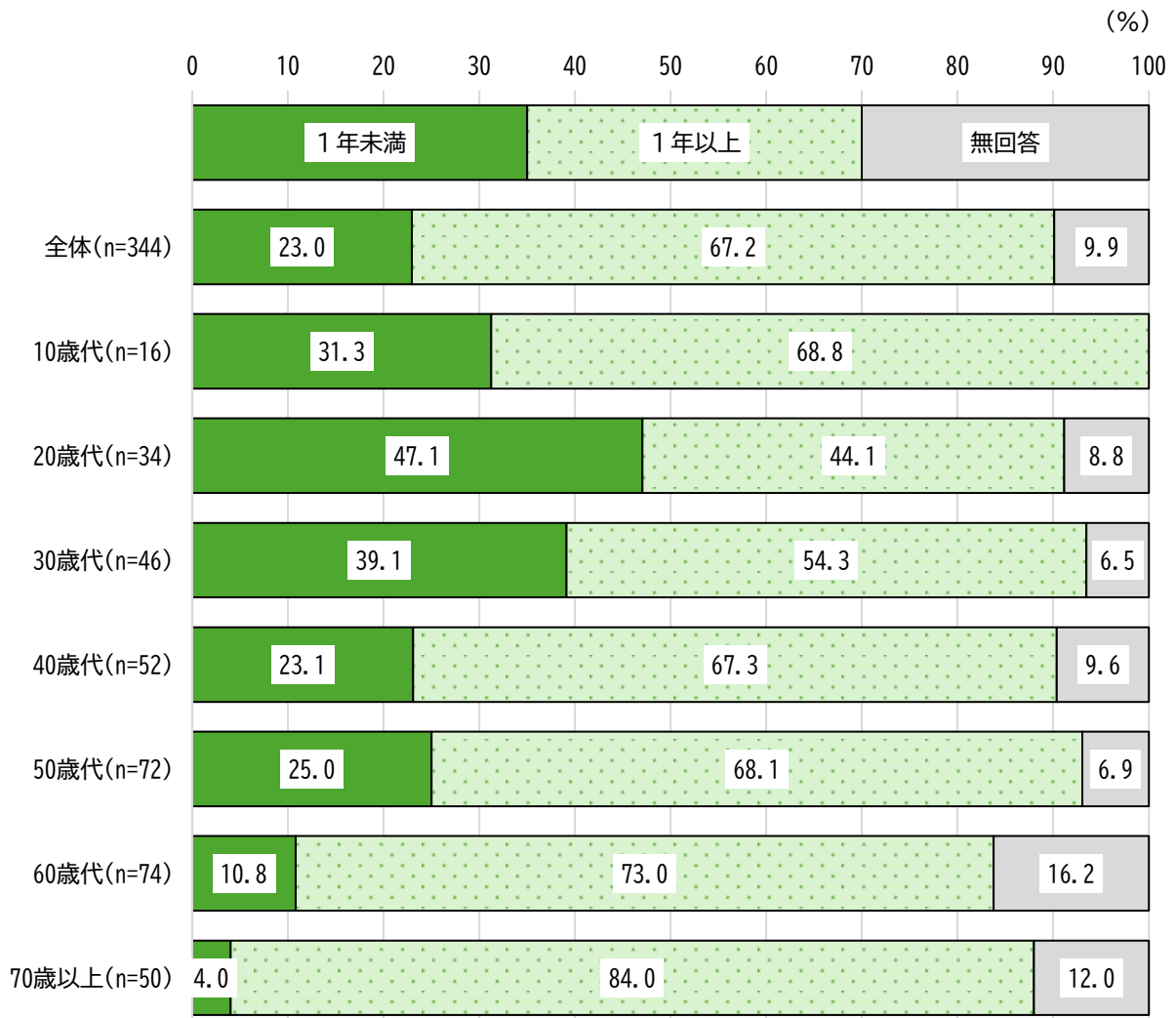
【継続期間】
《全体》



運動をする（「週3回以上」または「週2回程度」または「週1回程度」または「月1回程度」）と回答した市民のうち、1年以上運動を継続していると回答した市民の割合は67.2%となっている。

前回調査と比べ、1年以上運動を継続している割合が約9ポイント増加している。

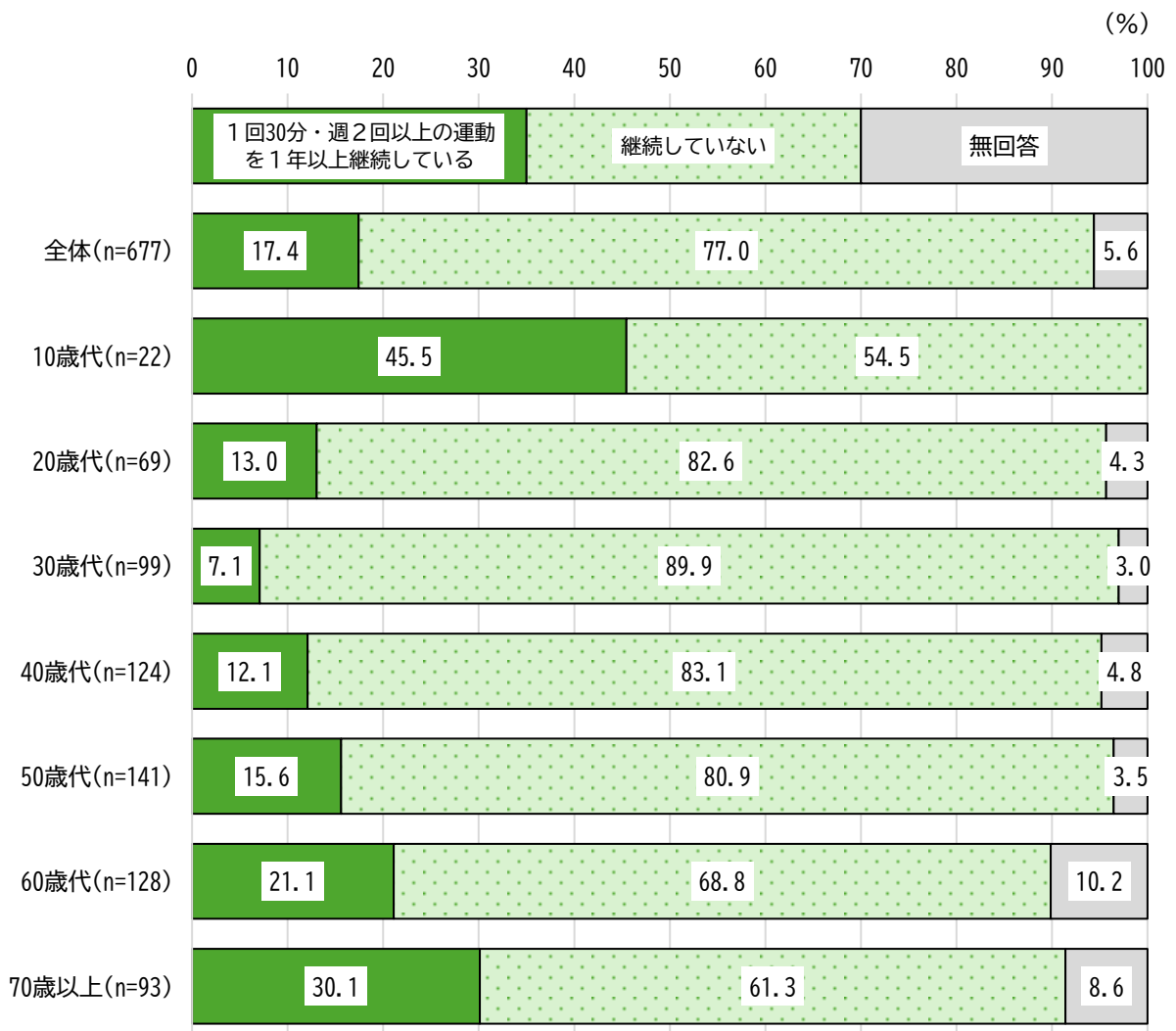
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、1年以上運動を継続していると回答した市民の割合は、20歳代を除いて5割を超えており、特に、70歳代（84.0%）と60歳代（73.0%）が多くなっている。

【一定程度の運動やスポーツの継続状況】
《年代別》

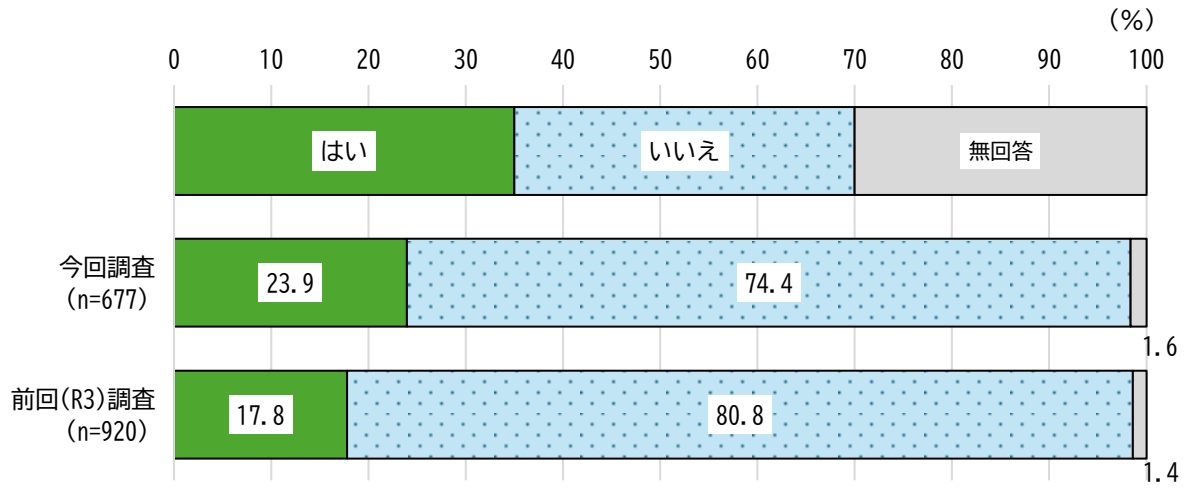


(注) 0.0%は非表示とする。

「1回30分・週2回以上の運動を1年以上継続している」と回答した市民の割合は、10歳代(45.5%)が最も多く、次いで、70歳以上(30.1%)、60歳代(21.1%)となっている。一方、30歳代は1割未満で最も少ない。

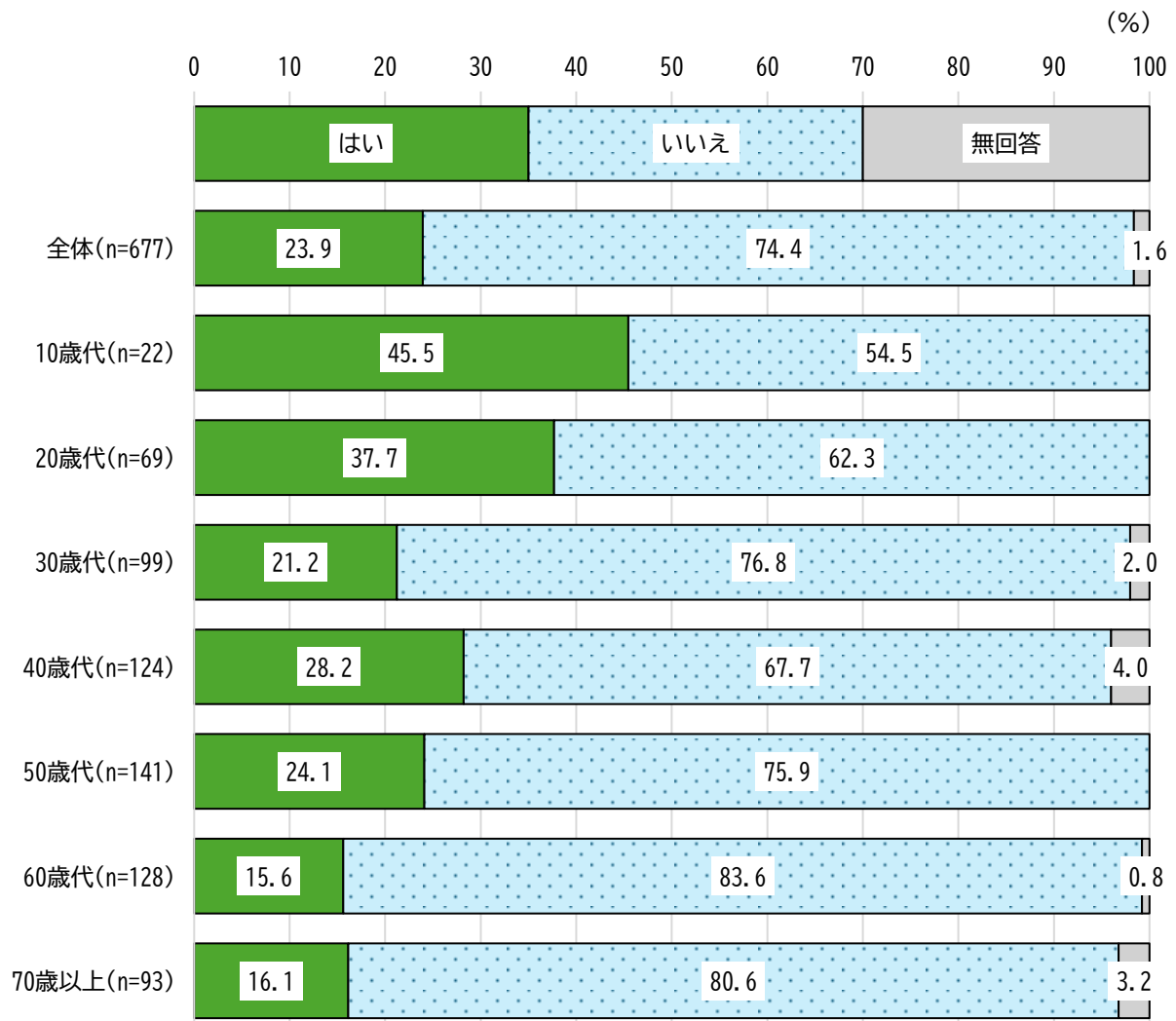
問 27 あなたは、過去1年間で外国人の方とコミュニケーション(挨拶や世間話、道案内等)がありましたか(1つに○)。

《全体》



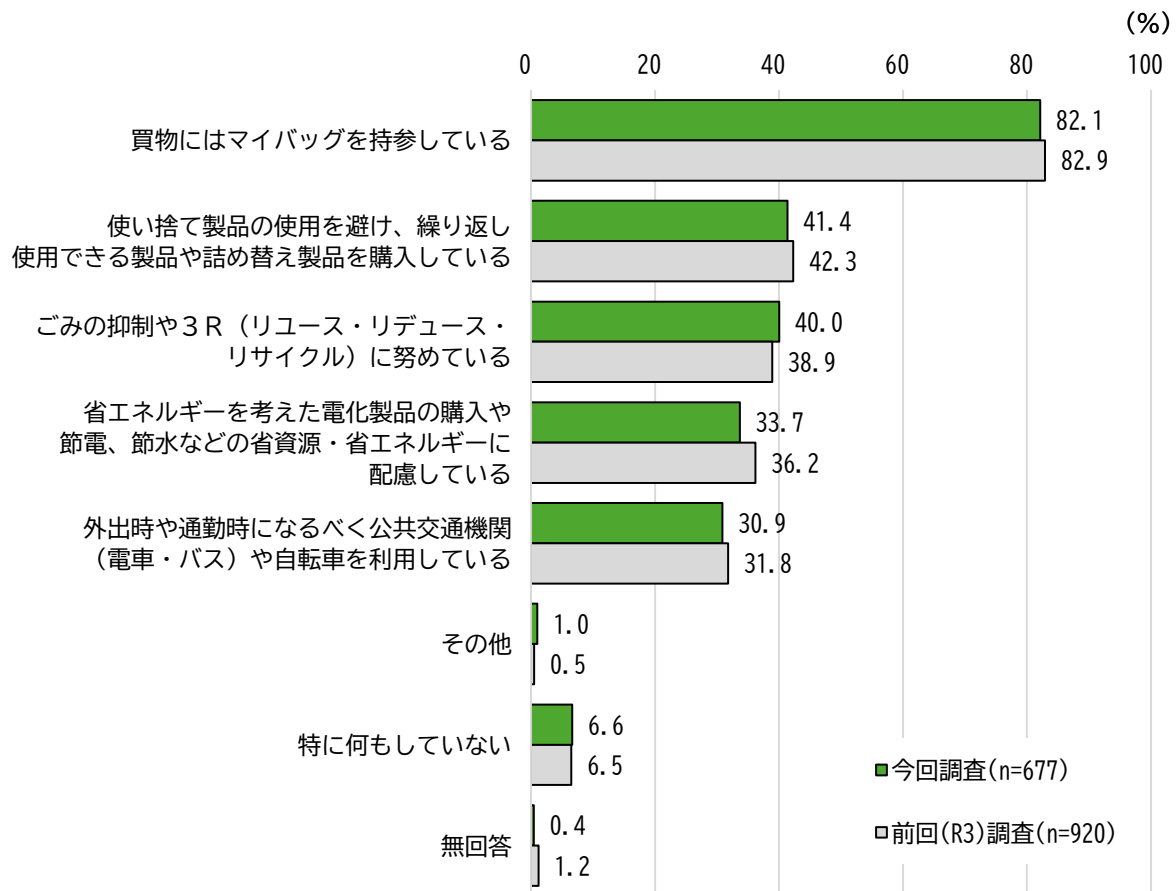
過去1年間で外国人とコミュニケーションがあったと回答した市民の割合は、23.9%であり、前回調査と比べ、約6ポイント増加している。

《年代別》



年代別にみると、過去1年間で外国人とコミュニケーションがあったと回答した市民の割合は、10歳代（45.5%）が最も多く、次いで、20歳代（37.7%）、40歳代（28.2%）となっている。

問 28 あなたは、環境に配慮した行動に取り組んでいますか（当てはまるもの全てに○）。
《全体》



環境に配慮した行動への取り組みについて、「買物にマイバックを持参している」（82.1%）が最も多く、次いで「使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している」（41.4%）、「ごみの抑制や3R（リユース・リデュース・リサイクル）に努めている」（40.0%）となっている。

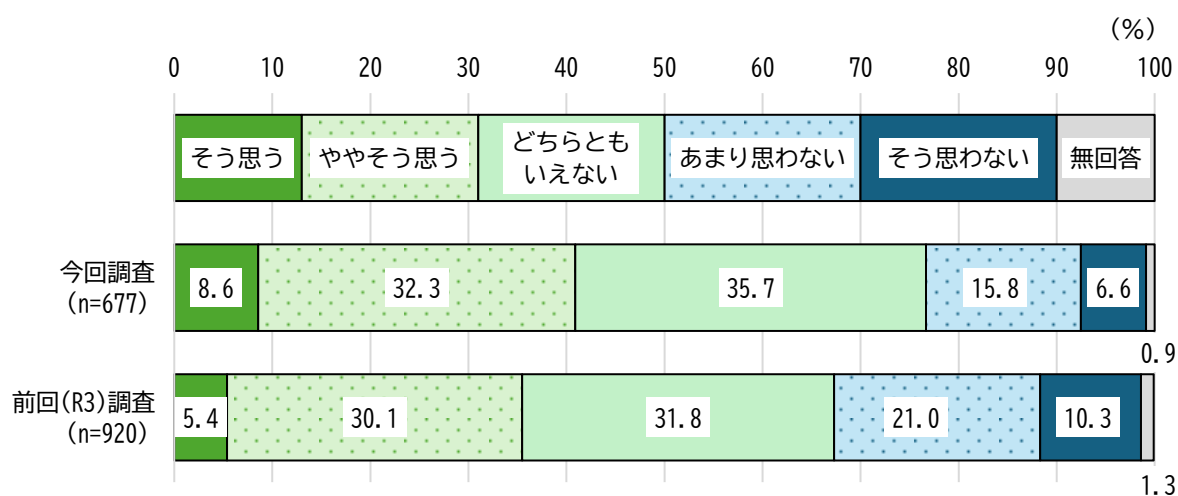
前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

	買物にはマイバッグを持参している	製品や詰め替え製品を購入している	使い捨て製品の使用を避ける	ごみの抑制や3R（リサイクル・リデュース・リユース）に努めている	水などの資源・省エネに配慮している	化学製品の購入や省エネを考えた	バスや自転車を利用している	外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している	その他	特に何もしていない	無回答
全体(n=677)	82.1		41.4	40.0	33.7		30.9	1.0	6.6	0.4	
10歳代(n=22)	50.0		31.8	31.8	13.6		59.1	0.0	18.2	0.0	
20歳代(n=69)	73.9		40.6	31.9	24.6		47.8	0.0	2.9	0.0	
30歳代(n=99)	85.9		40.4	35.4	22.2		31.3	0.0	6.1	0.0	
40歳代(n=124)	77.4		37.1	33.9	26.6		20.2	1.6	12.1	0.8	
50歳代(n=141)	88.7		44.0	41.1	38.3		25.5	2.1	4.3	0.0	
60歳代(n=128)	86.7		47.7	51.6	50.0		25.8	1.6	4.7	0.8	
70歳以上(n=93)	81.7		37.6	43.0	37.6		39.8	0.0	6.5	1.1	

年代別にみると、10歳代では「外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している」と回答した市民の割合が59.1%で最も多く、その他の年代では、「買物にはマイバッグを持参している」の割合が最も多くなっている。

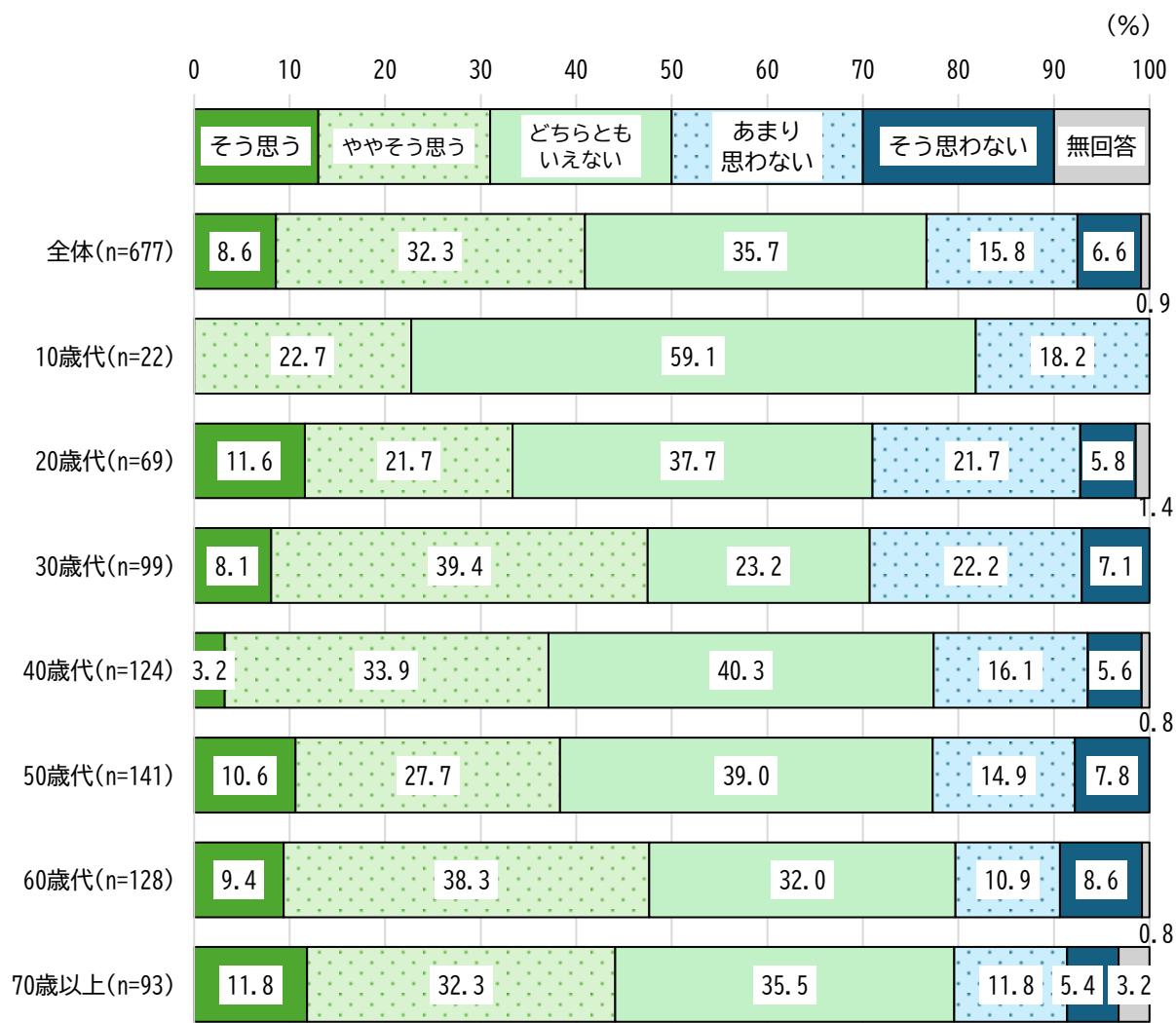
問 29 あなたは、御自身にとって必要な市の情報が入手できていると思いますか(1つに○)。
《全体》



必要な市の情報を入手できていると思う(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)と回答した市民の割合は、40.9%となっている。一方、必要な市の情報を入手できていないと思う(「あまり思わない」と「そう思わない」の合計)と回答した市民の割合は、22.4%となっている。

前回調査と比べ、必要な市の情報を入手できている(35.5%)の割合が約5ポイント増加している。

《年代別》



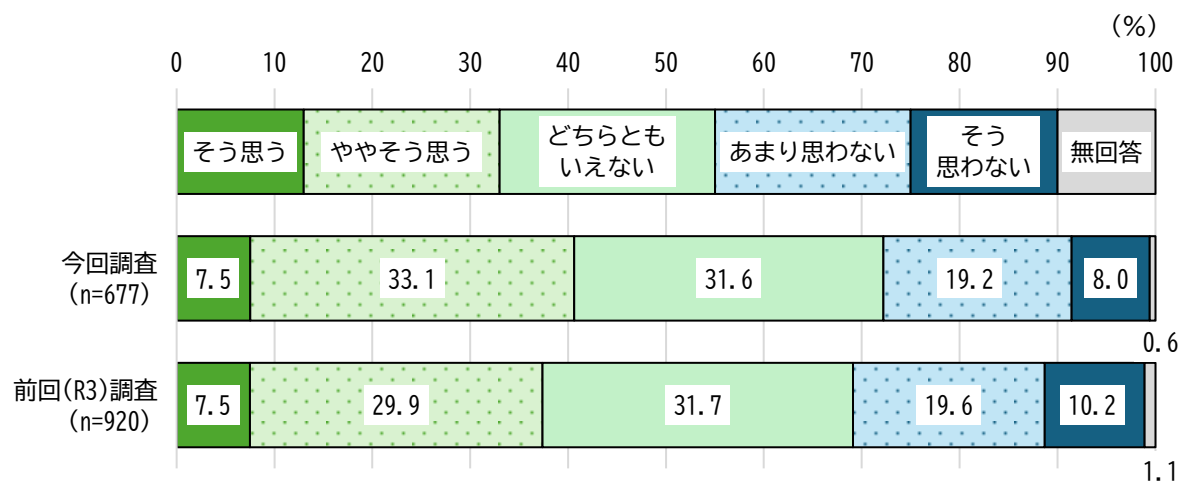
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、必要な市の情報を入手できていると思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、30歳代（47.5%）と60歳代（47.7%）で多くなっている。一方、30歳代では、必要な市の情報を入手できていないと思う（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）と回答した割合（29.3%）も他の年代と比べ多い。また、10歳代では、「どちらともいえない」が半数以上を占めている。

7. 白岡市について

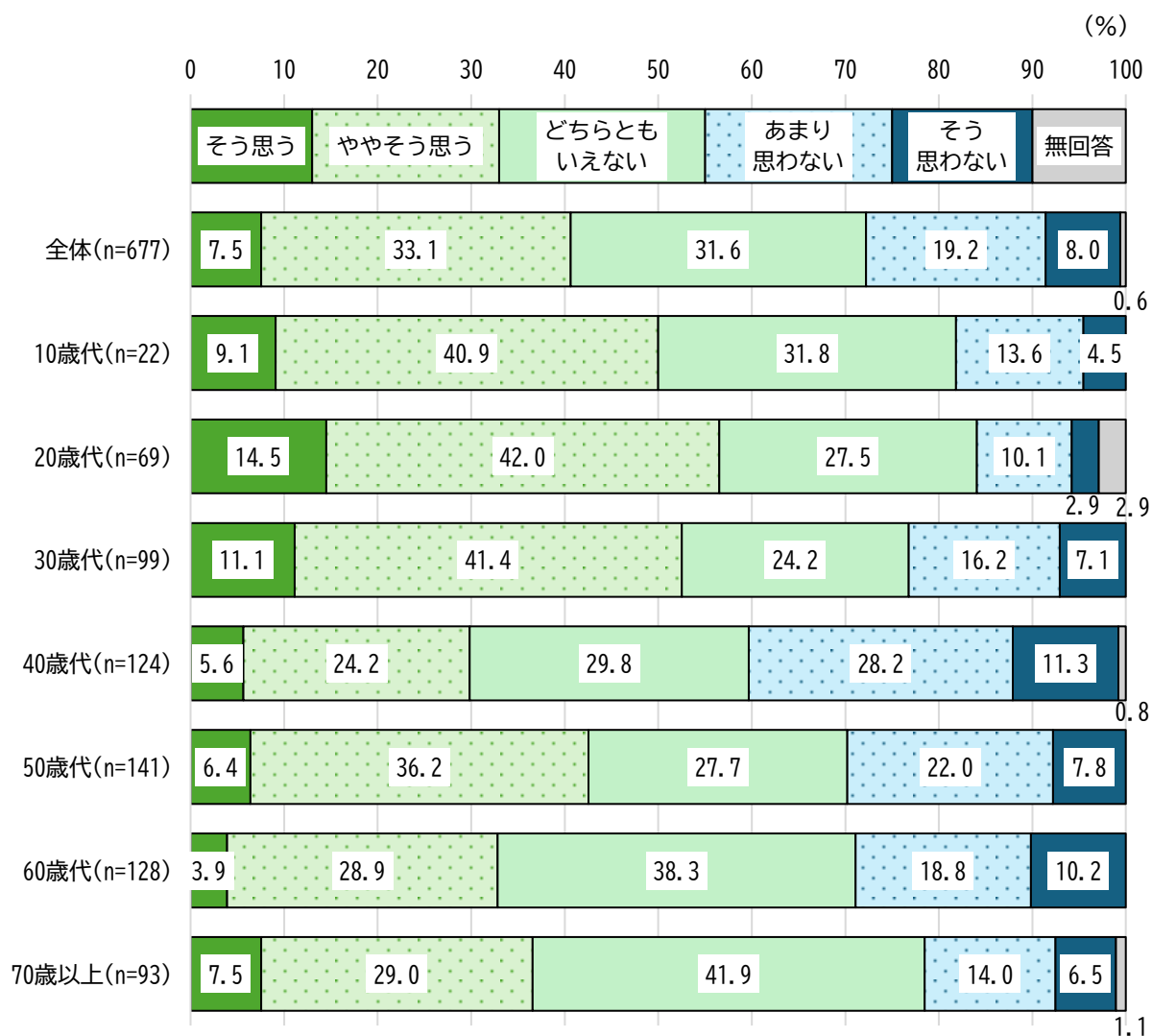
問 30 あなたは、白岡市が魅力のあるまちだと思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市が魅力あるまちだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、40.6%であり、前回調査（37.4%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

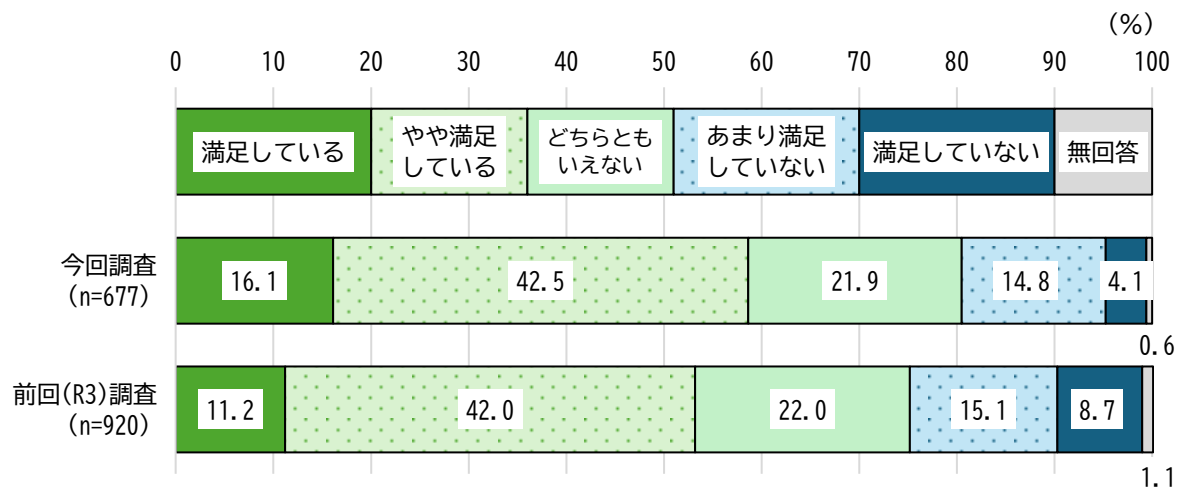


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市が魅力あるまちだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代から30歳代で5割を超え、他の年代と比べ多くなっている。一方、40歳代（29.8%）では最も少ない。

問 31 あなたは、白岡市の居住環境に満足していますか（1つに○）。

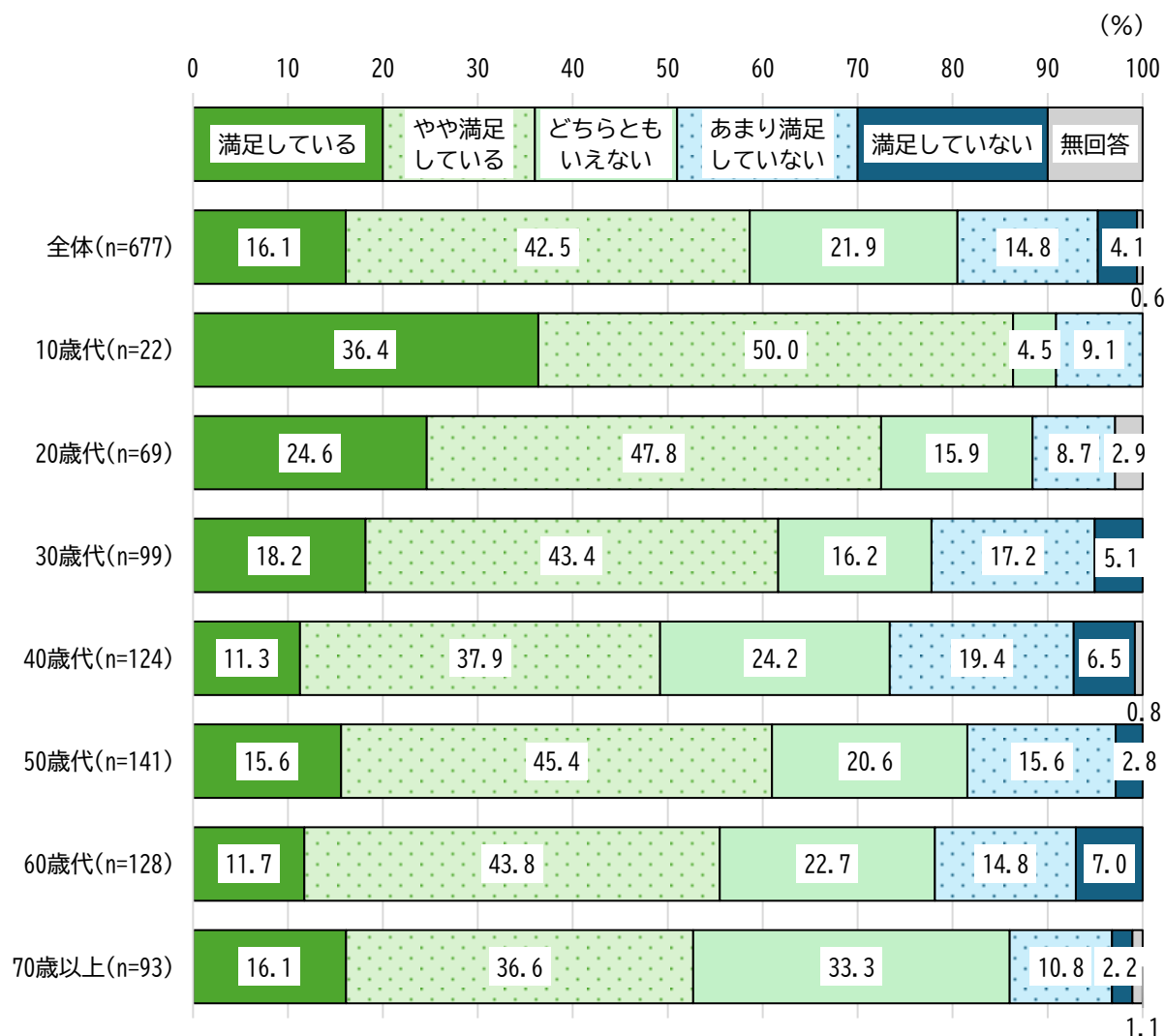
《全体》



白岡市の居住環境に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、58.6%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、18.9%となっている。

前回調査と比べ、白岡市の居住環境に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した割合（53.2%）が約5ポイント増加している。

《年代別》

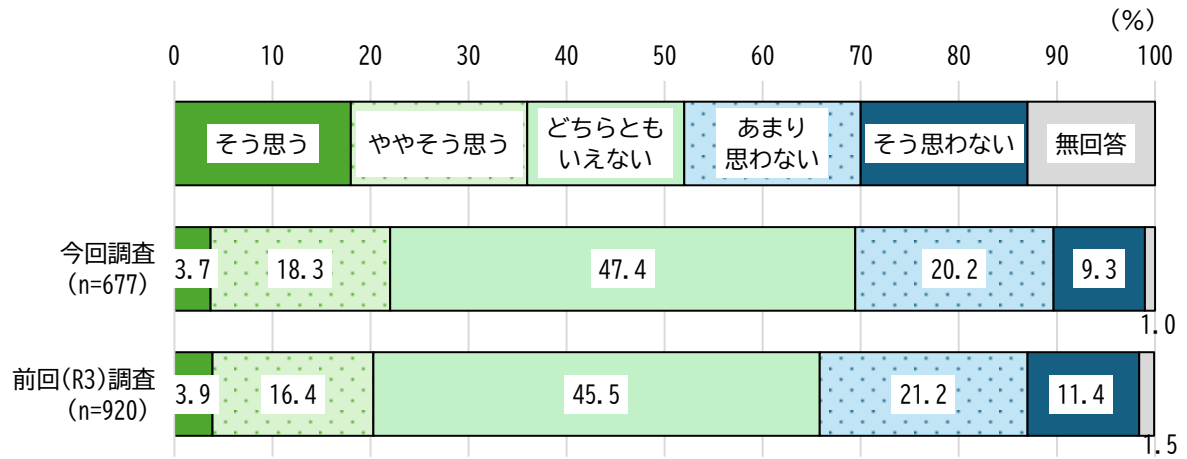


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の居住環境に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（86.4%）が最も多く、次いで、20歳代（72.4%）、30歳代（61.6%）となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（25.9%）と60歳代（21.8%）が多い。また、70歳代は、「どちらでもない」（33.3%）が他の年代と比べ多くなっている。

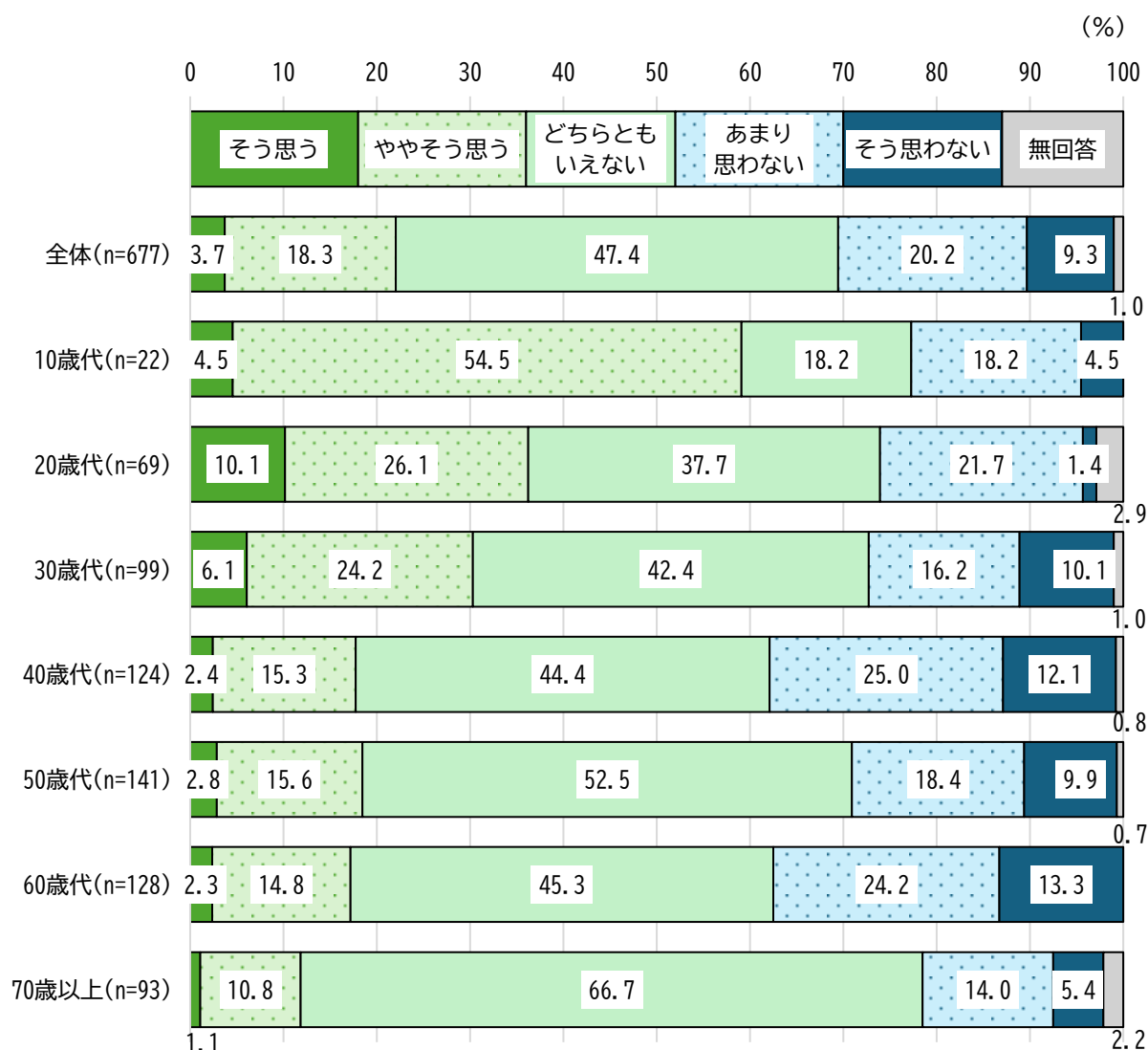
問 32 あなたは、白岡市は、生涯にわたって学習できる環境が充実していると思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市は生涯にわたる学習環境が充実している（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、22.0%であり、前回調査（20.3%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

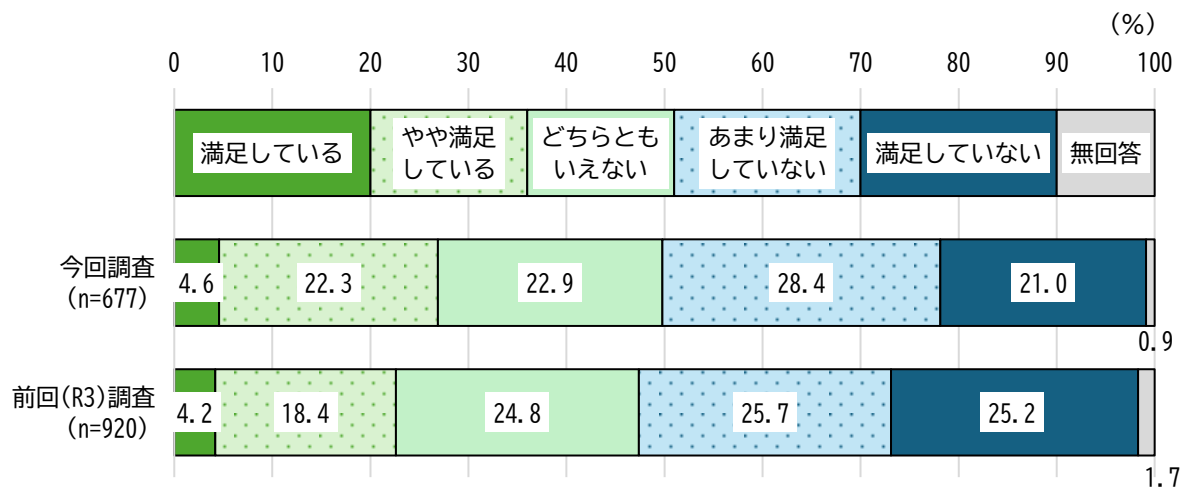


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市は生涯にわたる学習環境が充実している（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（59.0%）が最も多く、その他の年代では4割以下となっている。また、40歳代（37.1%）と60歳代（37.5%）は充実していない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）という回答が他の年代と比べて多く、70歳代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

問 33 あなたは、白岡市の道路整備状況に満足していますか（1つに○）。

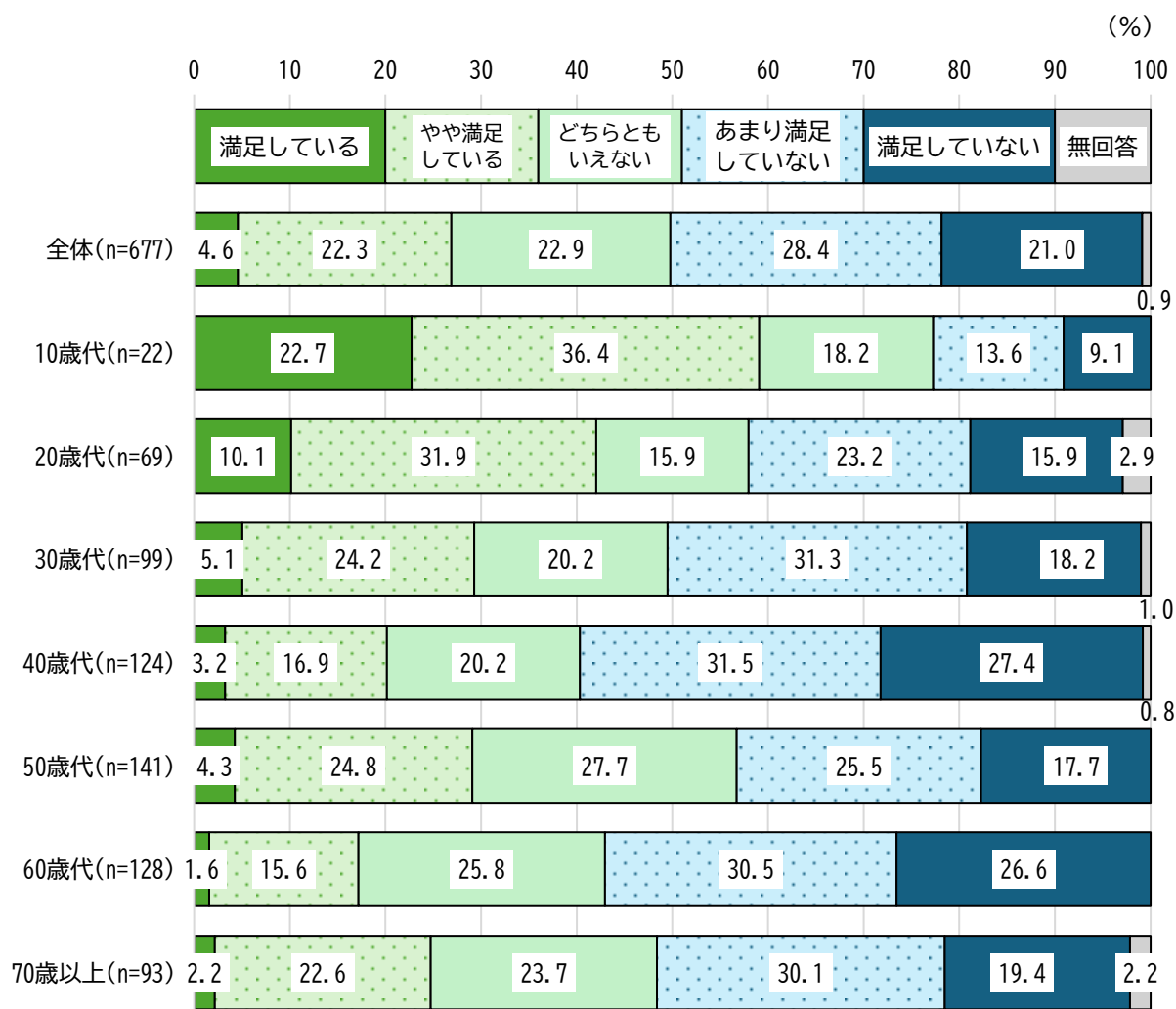
《全体》



白岡市の道路整備状況に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、26.9%となっている。一方で、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、49.9%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》



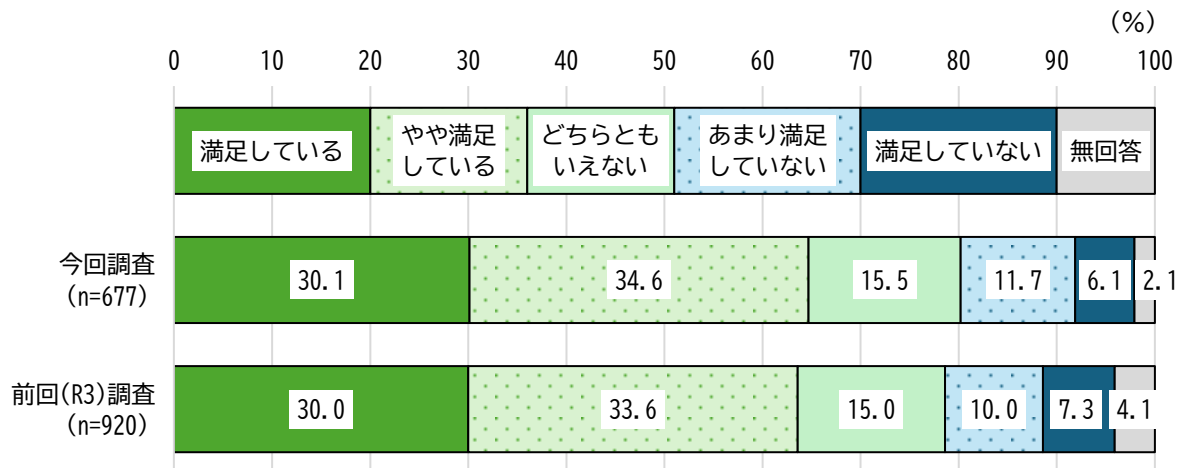
(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の道路整備状況に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（59.1%）が最も多く、次いで、20歳代（42.0%）、30歳代（29.3%）となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（58.9%）と60歳代（57.1%）が多くなっている。

問 34 あなたは、白岡市の公共交通（鉄道・バス・タクシー・のりあい交通）に満足していますか（1つに○）。

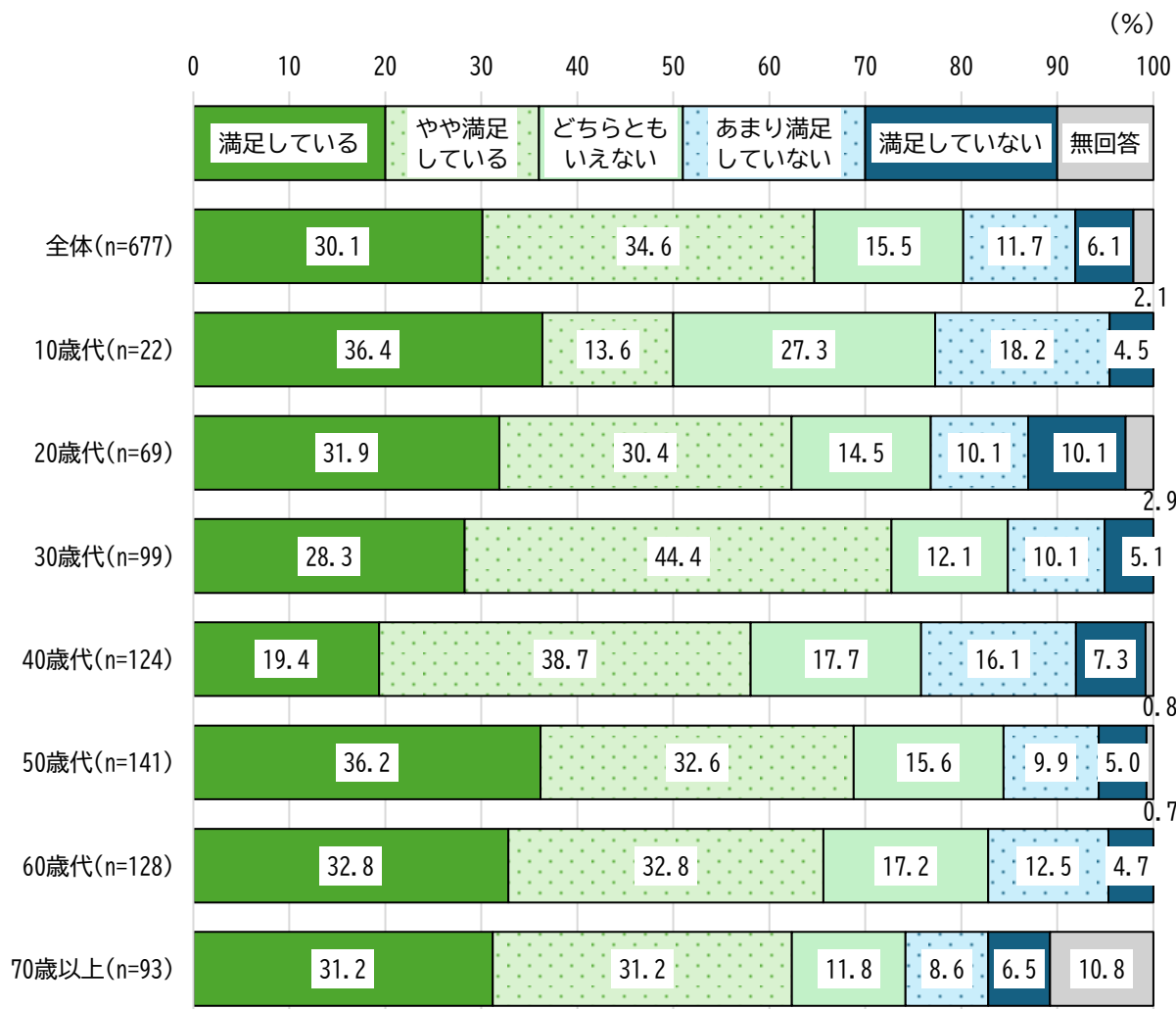
【鉄道】

《全体》



白岡市の公共交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、64.7%であり、前回調査（63.6%）と比べ、同程度となっている。

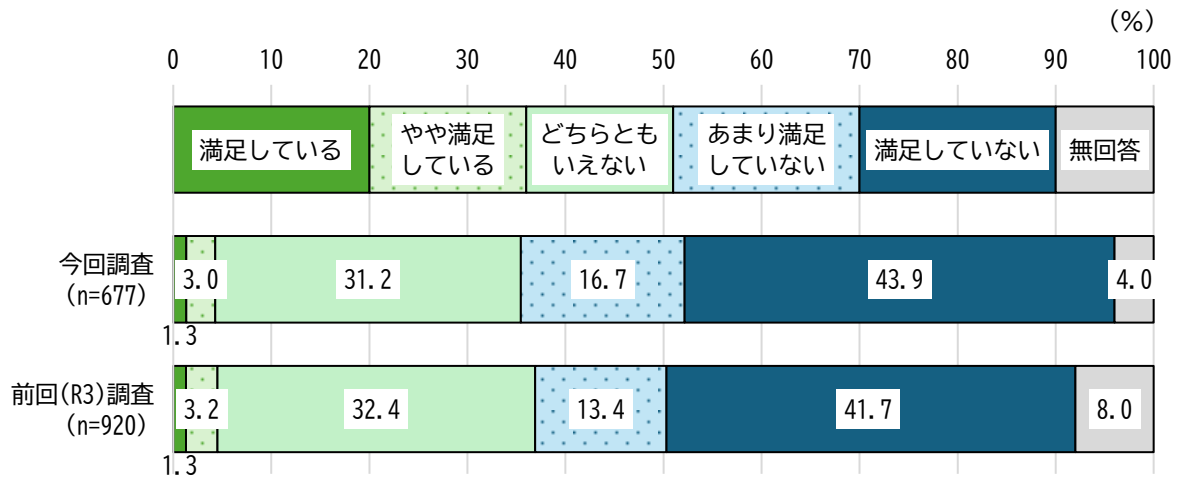
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の公共交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、全ての年代で5割を超えているが、30歳代と40歳代では「満足している」の割合が3割未満で、他の年代と比べ少なくなっている。

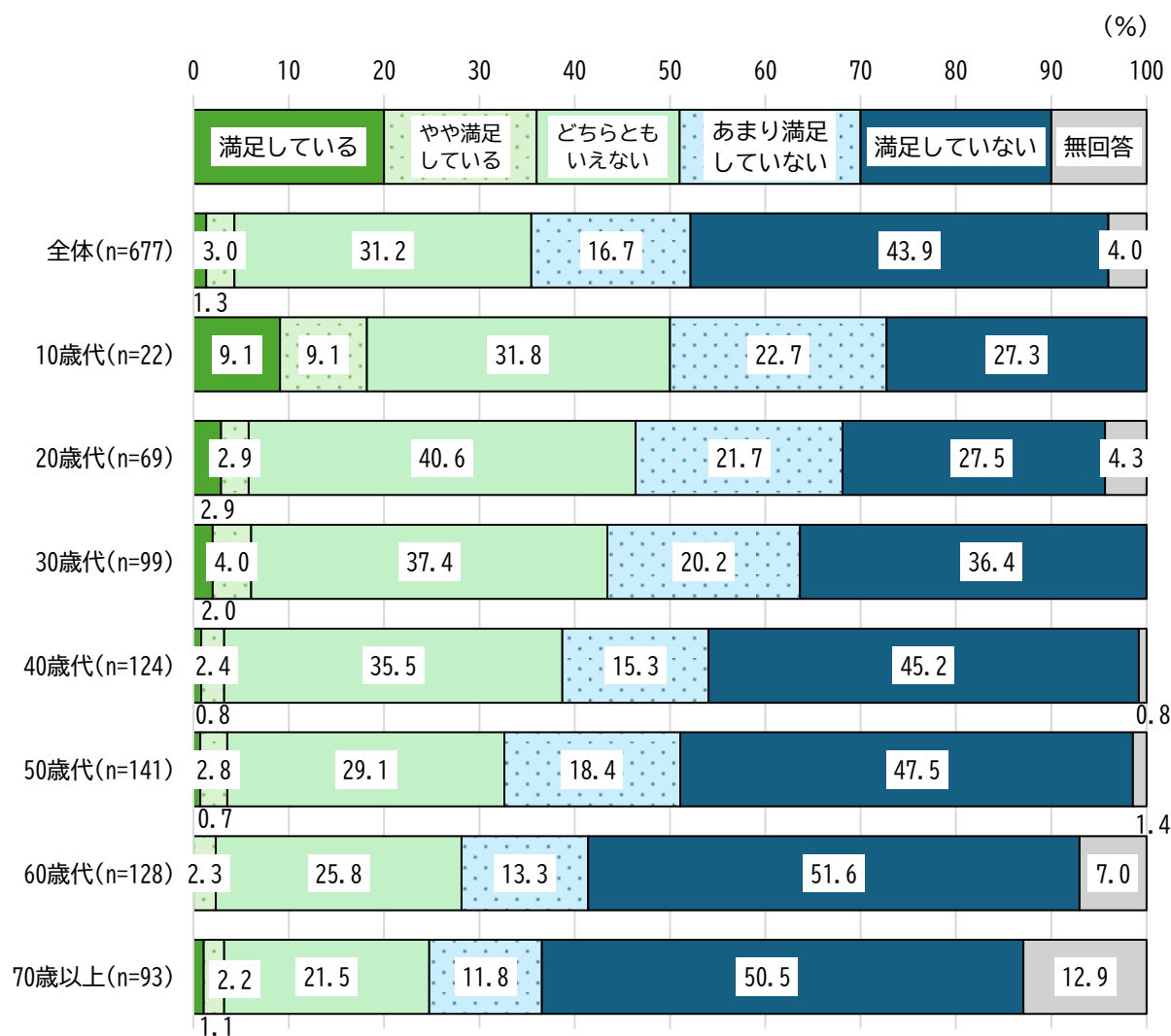
【バス】
《全体》



白岡市のバスに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、4.3%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は60.6%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査(55.1%)と比べ、白岡市のバスに満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が約5ポイント増加している。

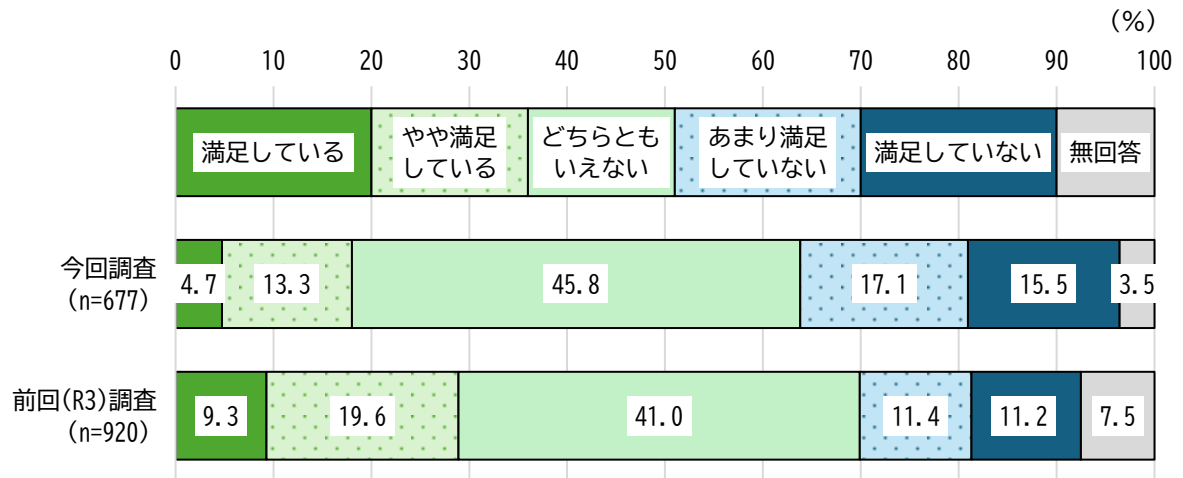
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市のバスに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代を除く全ての年代で1割未満となっている。年代が上がるにつれて、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が多くなる傾向がみられる。

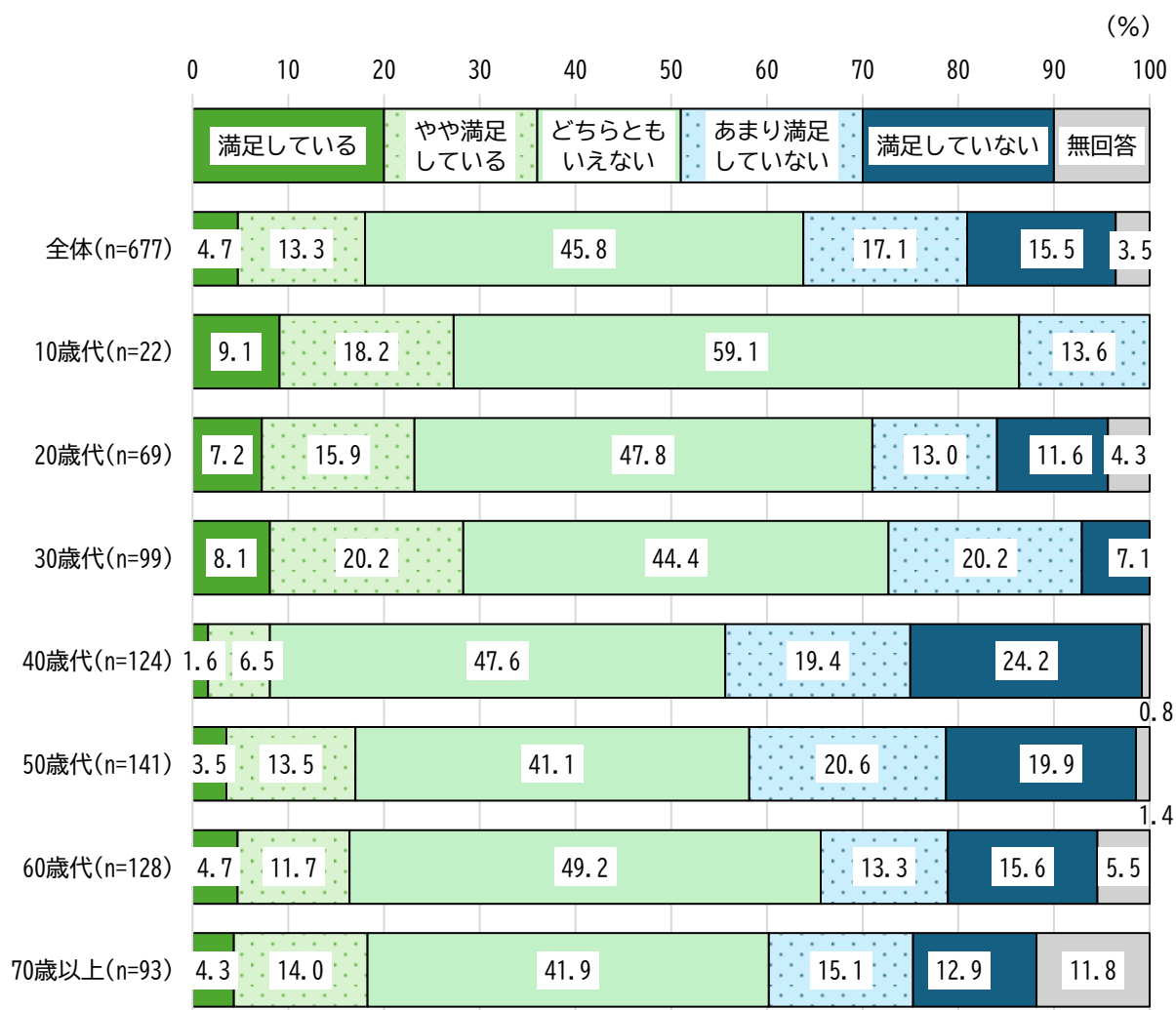
【タクシー】
《全体》



白岡市のタクシーの満足度について、「どちらともいえない」が45.8%で最も多くなっている。白岡市のタクシーに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、18.0%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は32.6%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、白岡市のタクシーに満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）の割合は約20ポイント増加している。

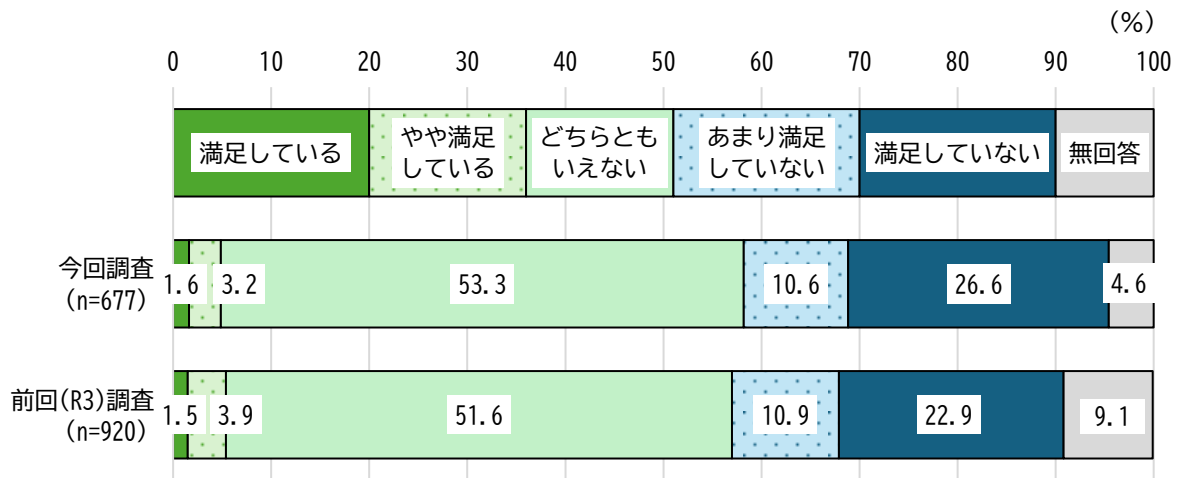
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市のタクシーの満足度について、全ての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。白岡市のタクシーに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、30歳代（28.3%）が最も多く、一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（43.6%）、50歳代（40.5%）の順に多い。

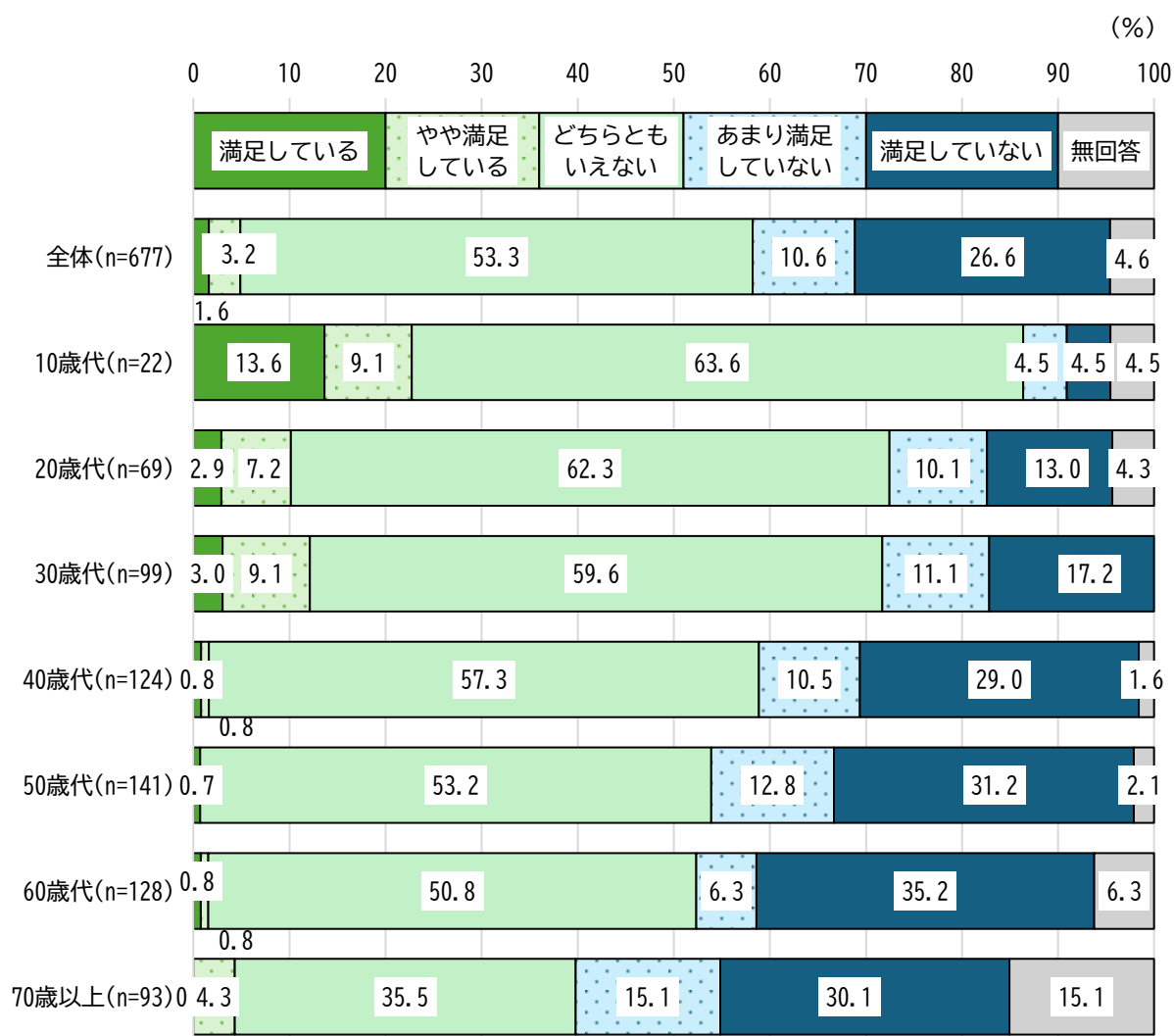
【のりあい交通】
《全体》



白岡市ののりあい交通の満足度について、「どちらともいえない」が53.3%で最も多くなっている。白岡市ののりあい交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、4.8%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は37.2%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

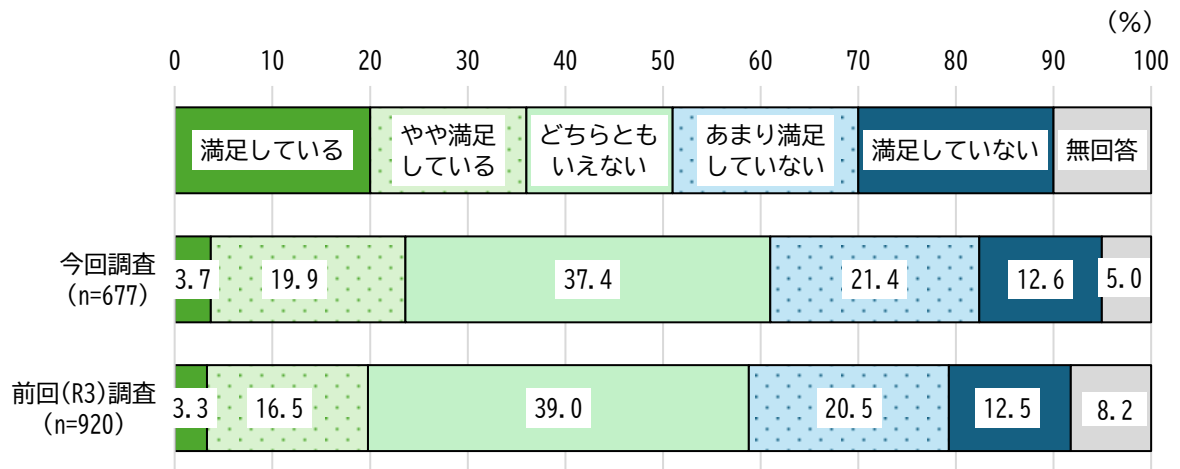
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市ののりあい交通の満足度について、全ての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。白岡市ののりあい交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（22.7%）が最も多くなっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、70歳以上（45.2%）、50歳代（44.0%）、60歳代（41.5%）の順に多い。

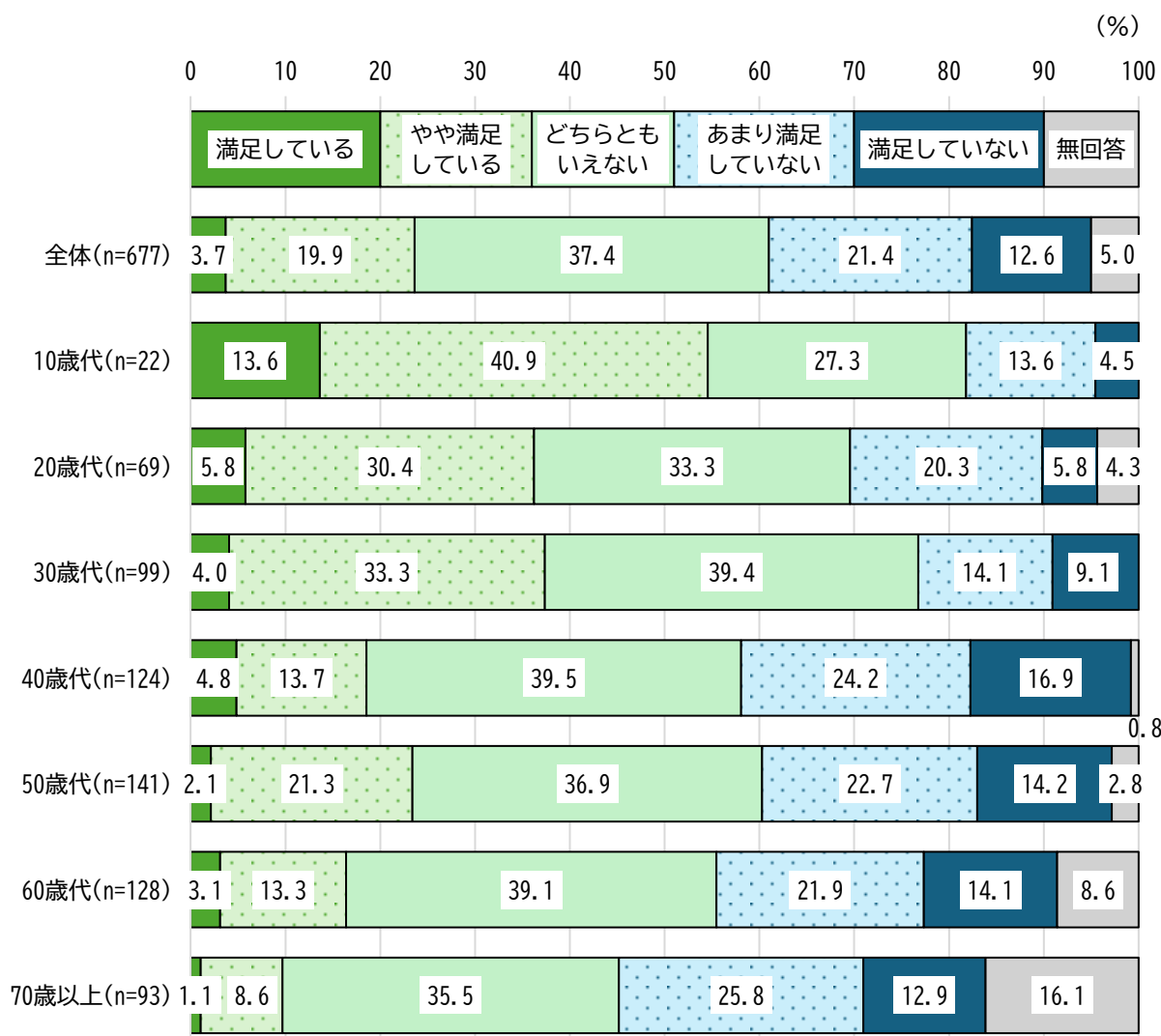
【公共交通全体】
《全体》



白岡市の公共交通全体に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、23.6%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は34.0%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

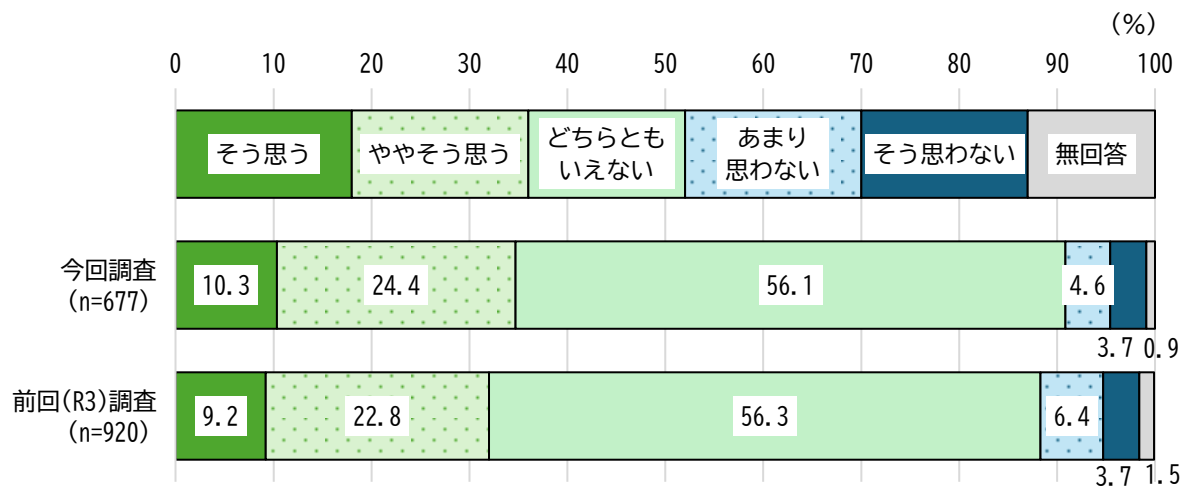


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の公共交通全体に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（54.5%）が最も多く、比較的若い年代で多くなっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（41.1%）が最も多く、比較的高い年代で多くなっている。

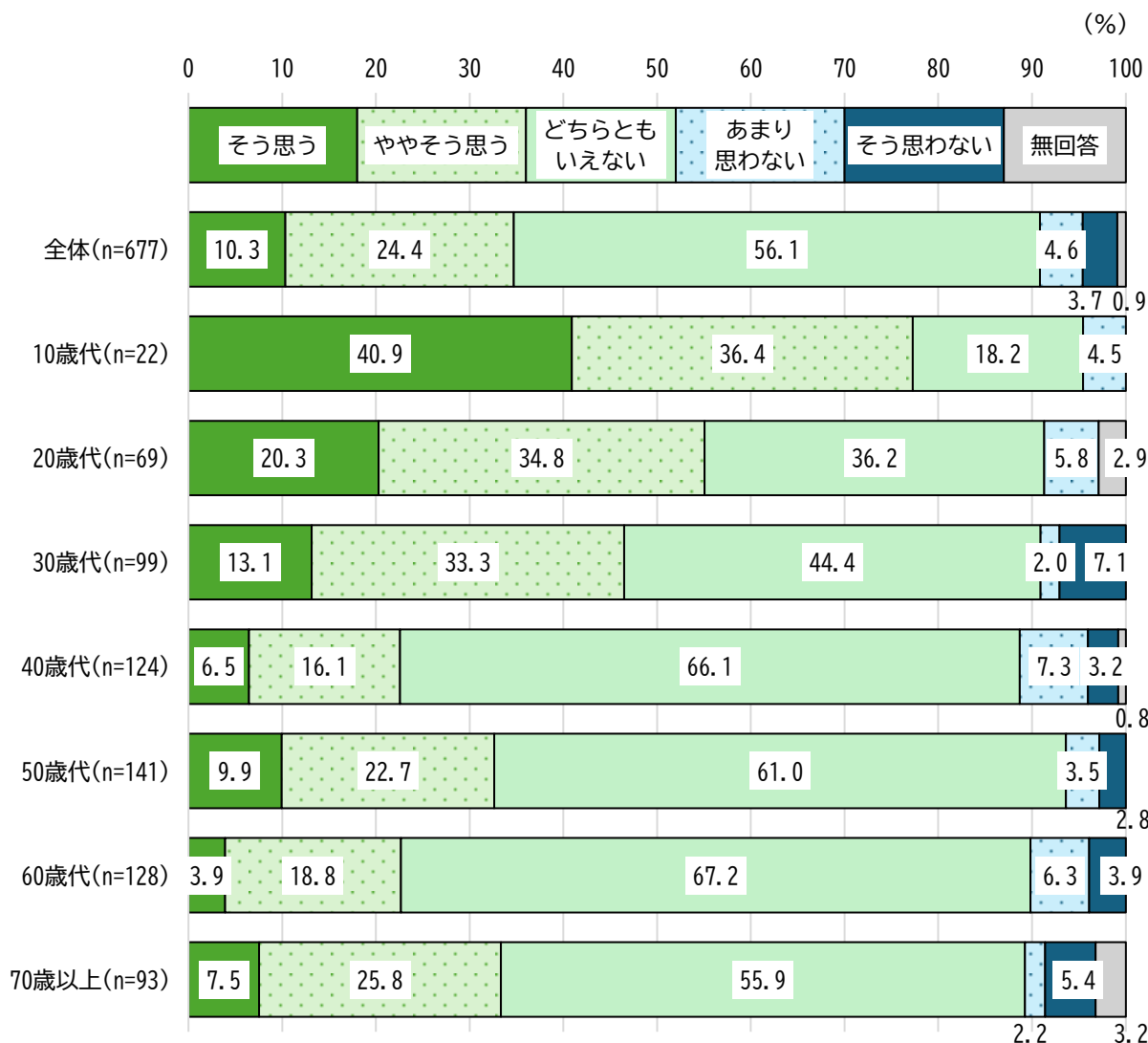
問 35 あなたは、白岡市は、人権が尊重されていると思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市における人権尊重について、「どちらともいえない」が56.1%で最も多くなっている。白岡市では人権が尊重されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、34.7%であり、前回調査（32.0%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

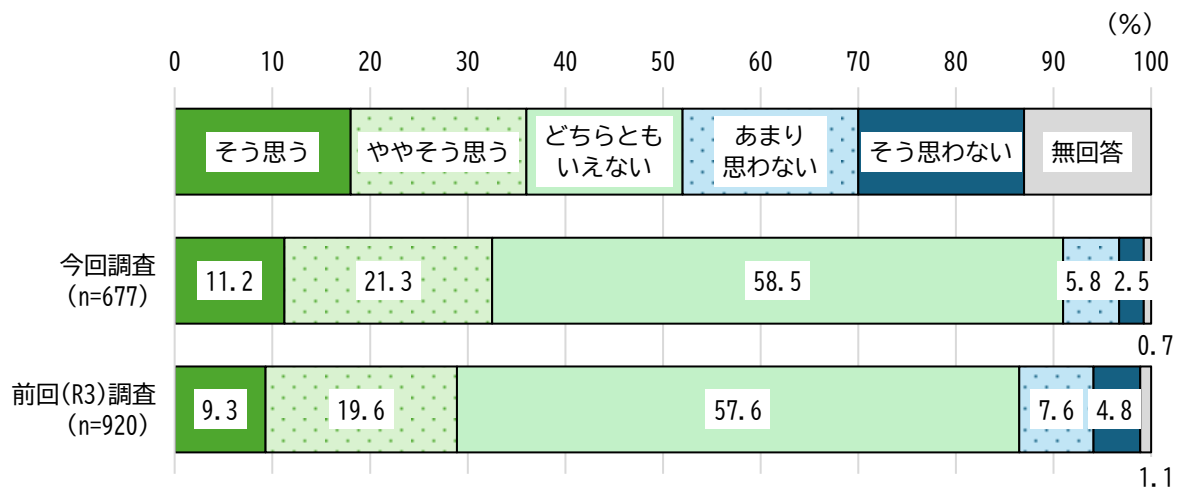


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市における人権尊重について、40歳代以上は「どちらともいえない」が6割を超えて最も多くなっている。白岡市では人権が尊重されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（77.3%）が最も多く、比較的若い年代で多くなっている。

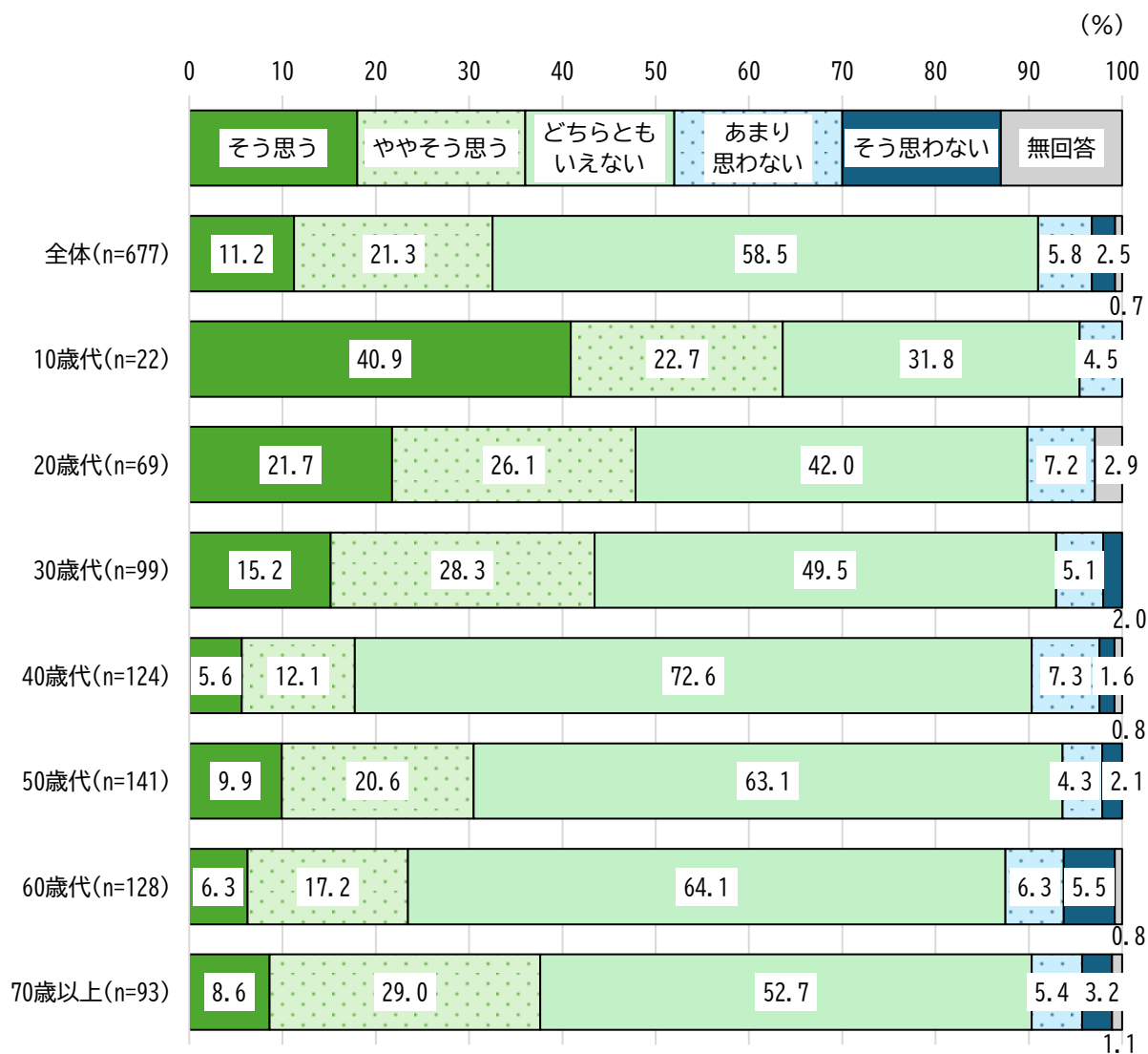
問 36 あなたは、白岡市は、男女が平等であると思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市の男女平等について、「どちらともいえない」が58.5%と最も多くなっている。白岡市は男女平等である（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、32.5%であり、前回調査（28.9%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

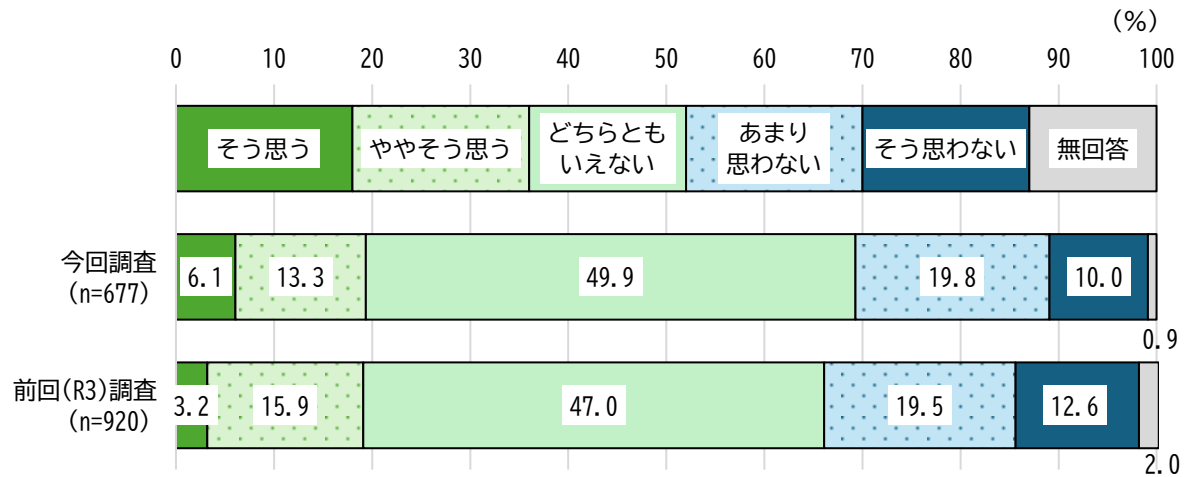


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の男女平等について、40歳代から60歳代では、「どちらともいえない」が6割を超えている。白岡市は男女平等である（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（63.6%）が最も多く、比較的若い年代で多い傾向がみられる。

問 37 あなたは、白岡市は、市政に対する意見を伝える手段や機会が確保されていると感じますか（1つに○）。

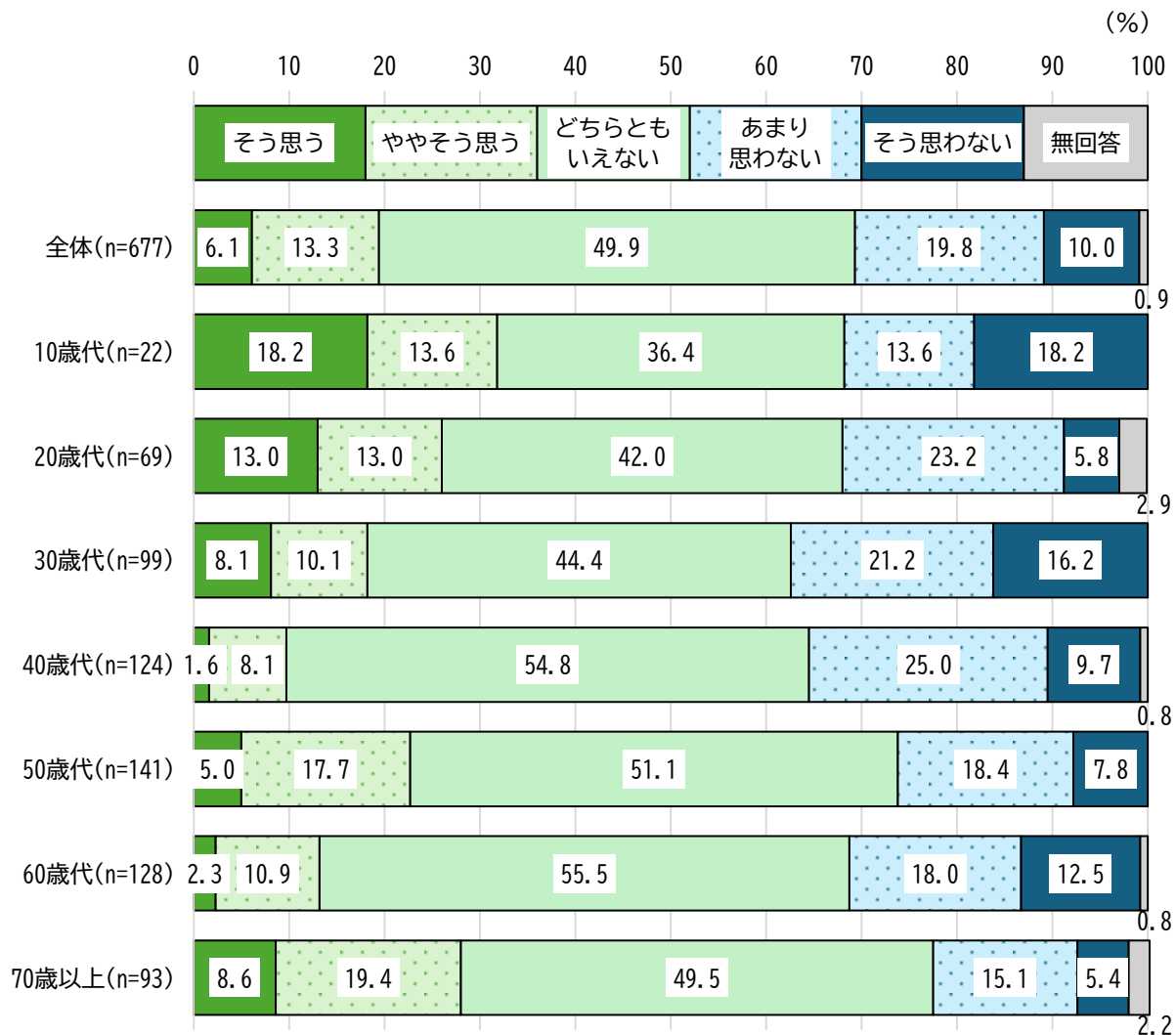
《全体》



白岡市政に対する意見機会の確保について、「どちらともいえない」が49.9%と最も多くなっている。市政に対する意見を伝える手段や機会が確保されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、19.4%となっている。一方、手段や機会が確保されていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）の割合は29.8%となっており、否定的な回答の割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》



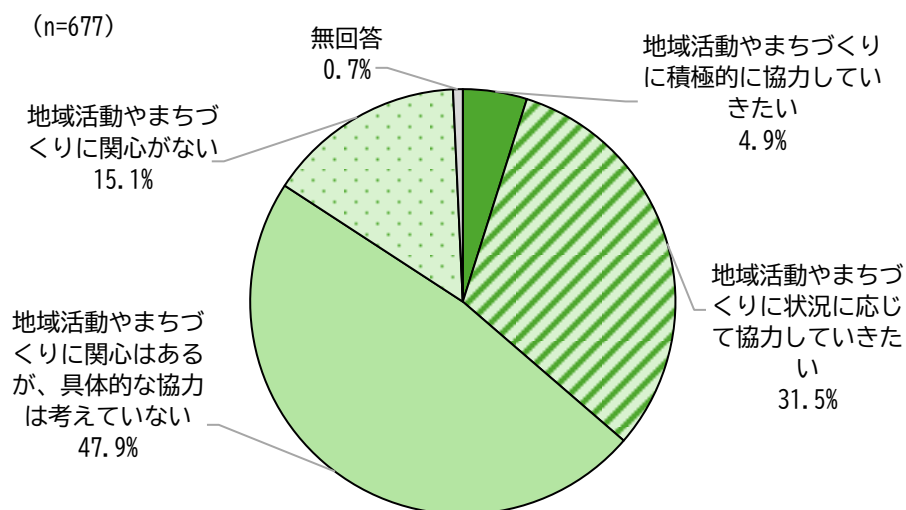
(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市は、市政に対する意見を伝える手段や機会が確保されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（31.8%）、70歳以上（28.0%）の順に多くなっており、一方、40歳代（9.7%）、60歳代（13.2%）の順に少なくなっている。手段や機会が確保されていない（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）という割合は、全ての年代で2割を超えている。

8. 市民との協働のまちづくりについて

問 38 あなたは、地域活動やまちづくりに関わっていきたいと思いますか（1つに○）。

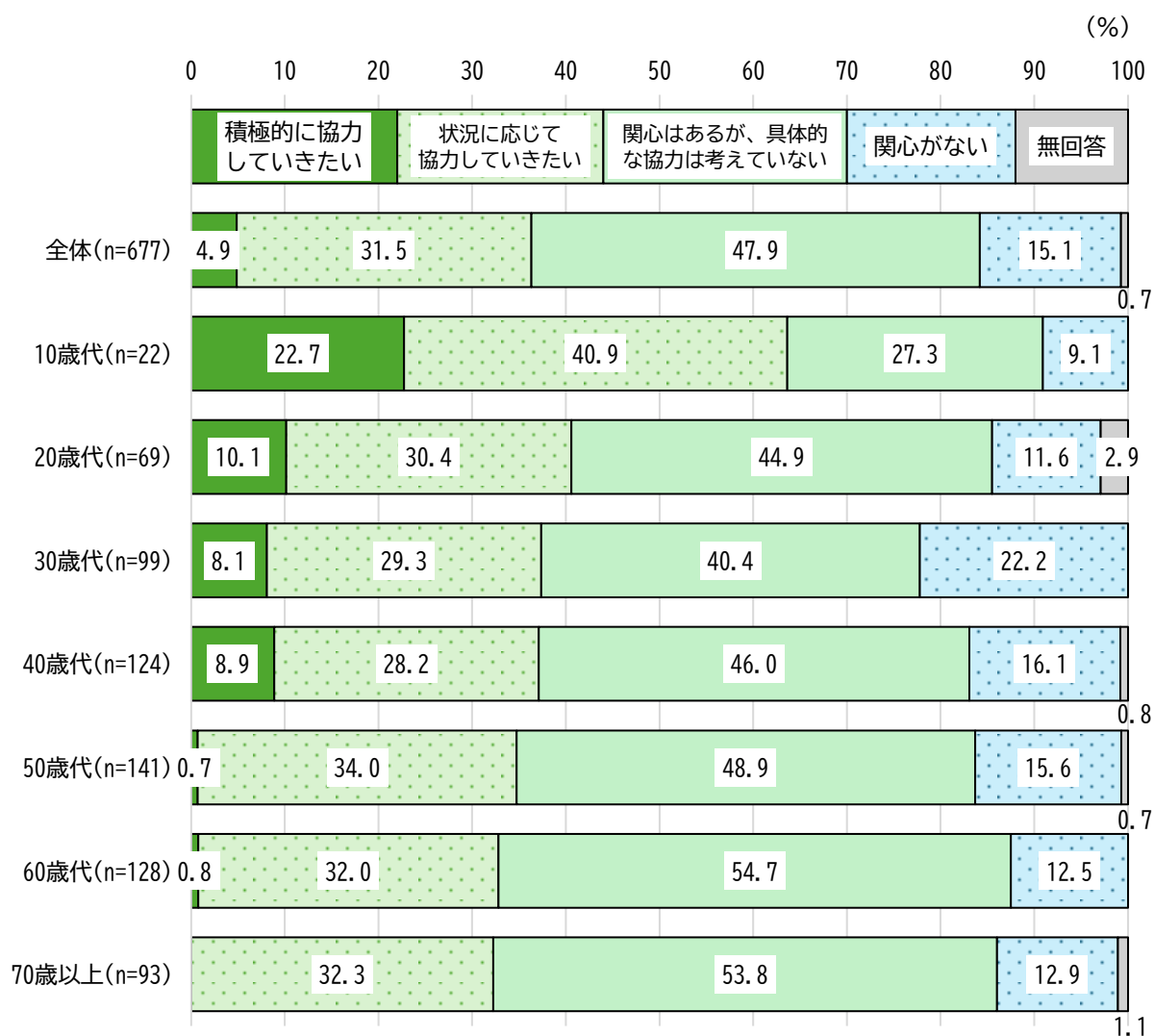
《全体》



地域活動やまちづくりへの関わりについて、「関心はあるが、具体的な協力は考えていない」（47.9%）が約半数で最も多くなっている。

一方、「積極的に協力していきたい」と回答した市民の割合は4.9%で、「状況に応じて協力していきたい」（31.5%）と合わせると、約4割が地域活動やまちづくりに関わりたいと回答している。

《年代別》



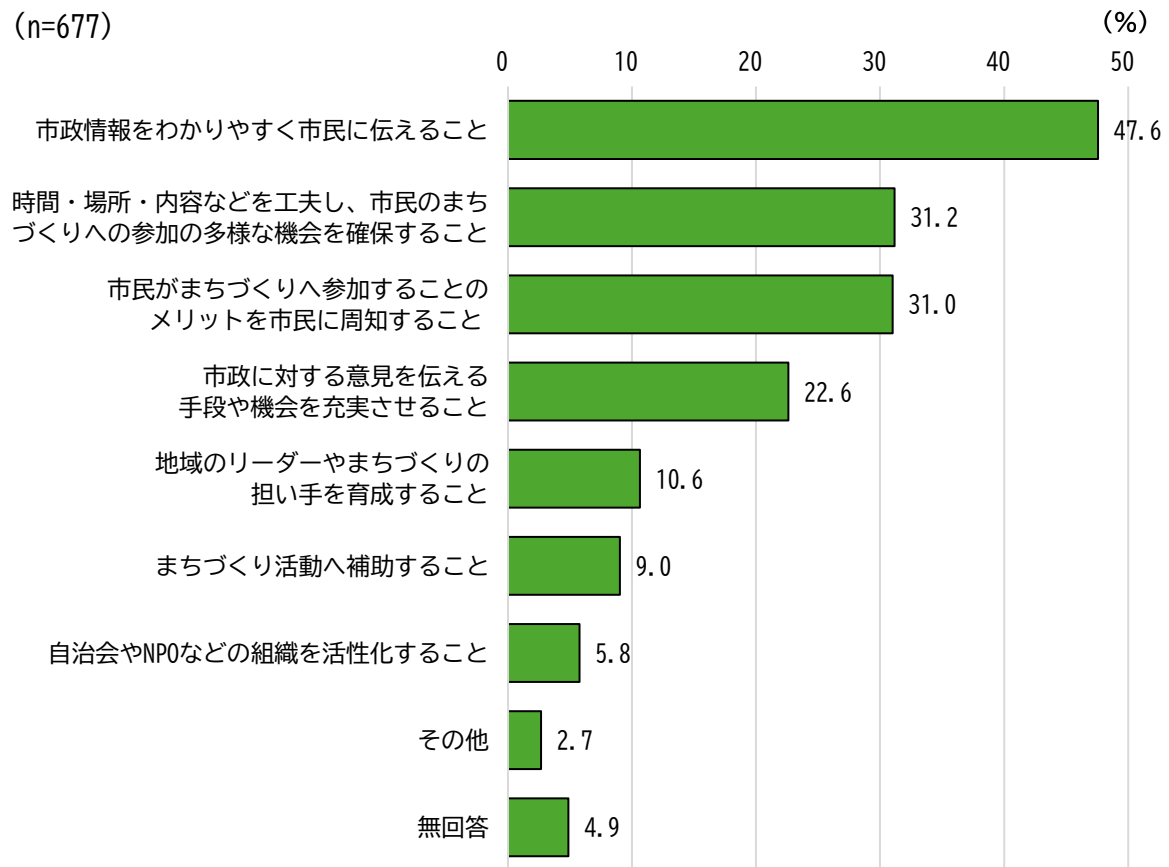
(注) 0.0%は非表示とする。

地域活動やまちづくりに関わりたい（「積極的に協力していきたい」と「状況に応じて協力していきたい」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（63.6%）が最も多く、年代が上がるにつれて減少する傾向がみられる。10歳代を除く全ての年代で、「関心はあるが、具体的な協力は考えていない」が最も多くなっている。

問 39 市民と行政による協働のまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか（2つまでに○）。

《全体》

(n=677)



市民と行政による協働のまちづくりを進めるために必要なことについて、「市政情報をわかりやすく市民に伝えること」が47.6%と最も多くなっている。次いで、「時間・場所・内容などを工夫し、市民のまちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」（31.2%）、「市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること」（31.0%）となっている。

《年代別》

(%)

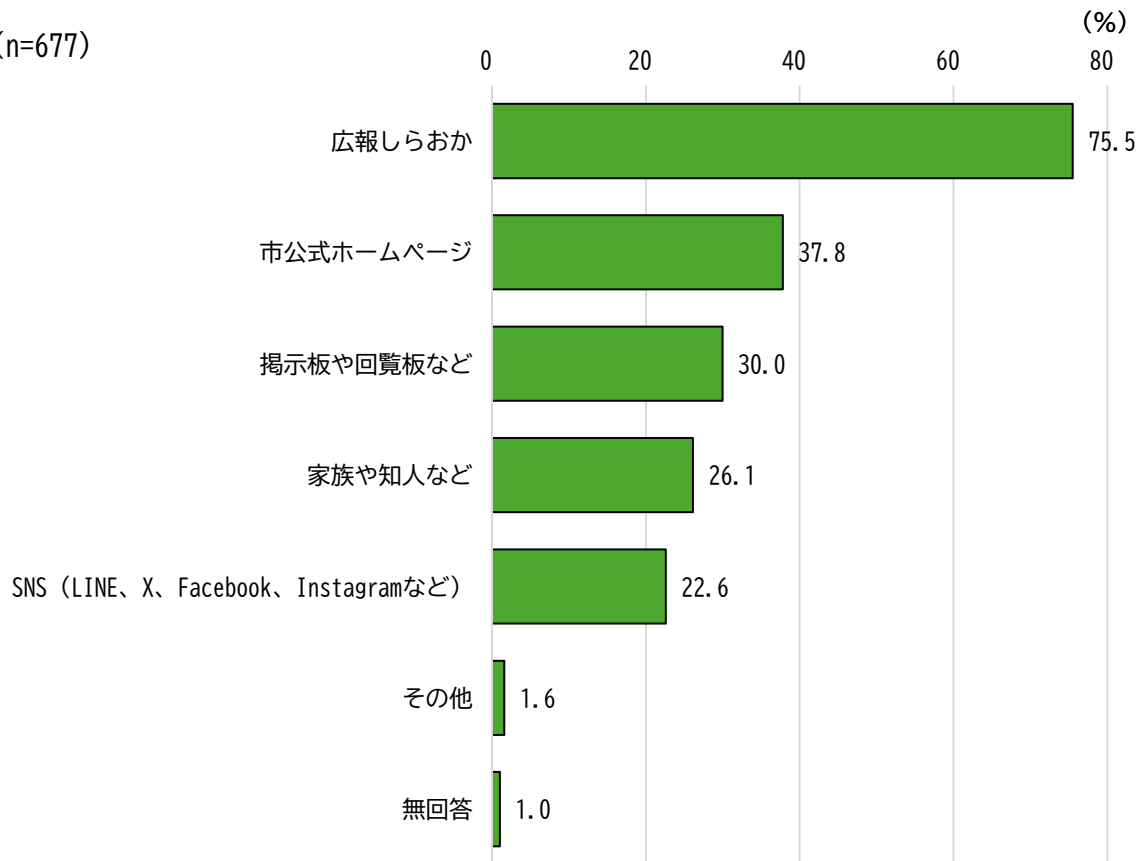
	市民に情報をわかりやすく伝えること	時間を確保し、参加の機会を多様な機会を	市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること	市政に対する意見を伝える手段や機会を充実させること	地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること	まちづくり活動へ補助すること	自治会やNPOなどの組織を活性化すること	その他	無回答
全体(n=677)	47.6	31.2	31.0	22.6	10.6	9.0	5.8	2.7	4.9
10歳代(n=22)	59.1	36.4	18.2	31.8	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0
20歳代(n=69)	47.8	24.6	53.6	23.2	4.3	7.2	2.9	0.0	5.8
30歳代(n=99)	47.5	25.3	36.4	19.2	5.1	12.1	5.1	1.0	9.1
40歳代(n=124)	41.1	39.5	32.3	26.6	8.1	6.5	5.6	4.8	4.0
50歳代(n=141)	50.4	33.3	25.5	24.8	10.6	9.9	7.1	2.8	4.3
60歳代(n=128)	44.5	33.6	27.3	21.1	18.0	8.6	5.5	3.1	3.1
70歳以上(n=93)	53.8	22.6	23.7	17.2	16.1	10.8	7.5	2.2	5.4

市民と行政による協働のまちづくりを進めるために必要なことについて、全ての年代で「市政情報をわかりやすく市民に伝えること」が4割を超えている。20歳代では、「市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること」(53.6%)が最も多くなっている。

問 40 あなたは、白岡市に関する情報をどのように入手していますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》

(n=677)



白岡市に関する情報の入手方法について、「広報しらおか」が 75.5%で最も多くなっている。次いで、「市公式ホームページ」(37.8%)、「掲示板や回覧板など」(30.0%)、「家族や知人など」(26.1%)となっている。

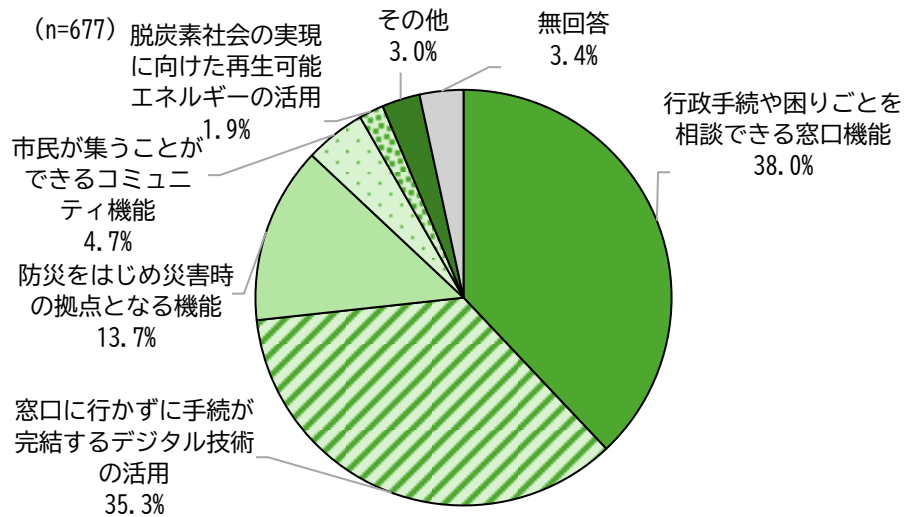
《年代別》

	(%)								
	広報しらか おか	市公式ホ ームペー ジ	掲 示 板 や 回 覧 板 な ど	家 族 や 知 人 な ど	ど I n s t a g r a m な	X、 F a c e b o o k、	S N S (L I N E、	そ の 他	無 回 答
全体(n=677)	75.5	37.8	30.0	26.1			22.6	1.6	1.0
10歳代(n=22)	45.5	4.5	31.8	68.2			13.6	0.0	0.0
20歳代(n=69)	53.6	29.0	27.5	30.4			31.9	1.4	2.9
30歳代(n=99)	65.7	38.4	29.3	25.3			29.3	2.0	0.0
40歳代(n=124)	71.0	50.0	25.0	29.8			30.6	3.2	1.6
50歳代(n=141)	80.9	47.5	29.1	25.5			20.6	0.7	1.4
60歳代(n=128)	86.7	35.9	29.7	18.0			20.3	0.8	0.0
70歳以上(n=93)	91.4	23.7	40.9	21.5			6.5	2.2	1.1

白岡市に関する情報の入手方法について、10歳代では「家族や知人など」(68.2%)が最も多いが、その他の年代では、「広報しらかお」が半数以上を占め最も多くなっている。20歳代から40歳代では、「SNS」の割合が約3割で他の年代と比べ多い。

問 41 市では、今後、市役所庁舎の復旧・復興を進めていく予定ですが、あなたが最も市役所に求める機能は何ですか。(1つに○)。

《全体》



今後、市役所に求める機能については、「行政手続や困りごとを相談できる窓口機能」(38.0%)が最も多く、次いで、「窓口に行かずに手続きが完結するデジタル技術の活用」(35.3%)となっている。

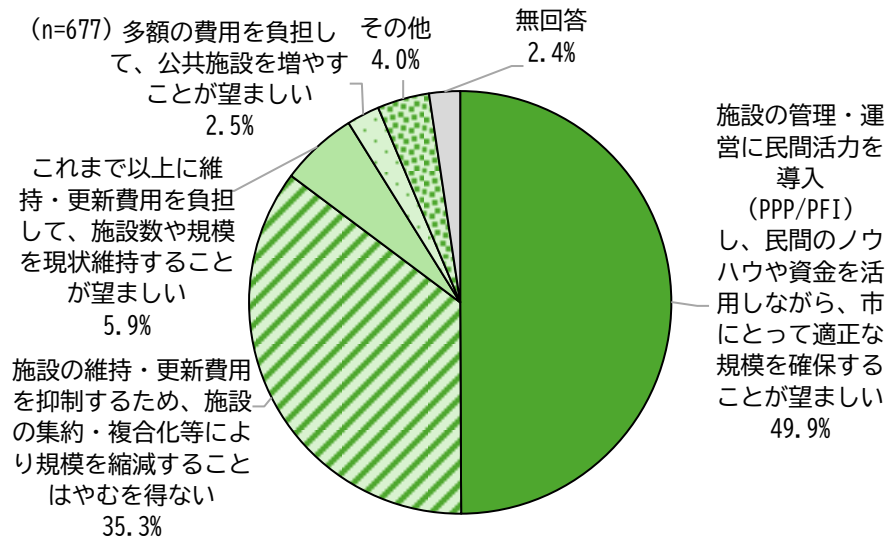
《年代別》

	能を行政相談できる窓口機能	技術が完結するデジタル技術の活用	の防拠点をはじめ災害時の機能	能き市民が集うことができるコミュニティ機能	ル向脱炭素社会の現に	その他	無回答
全体(n=677)	38.0	35.3	13.7	4.7	1.9	3.0	3.4
10歳代(n=22)	22.7	45.5	9.1	22.7	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=69)	20.3	58.0	8.7	2.9	1.4	2.9	5.8
30歳代(n=99)	25.3	49.5	12.1	5.1	1.0	5.1	2.0
40歳代(n=124)	33.9	40.3	12.9	3.2	1.6	4.0	4.0
50歳代(n=141)	44.0	35.5	9.9	3.5	2.1	2.1	2.8
60歳代(n=128)	48.4	20.3	19.5	1.6	2.3	3.9	3.9
70歳以上(n=93)	49.5	15.1	19.4	9.7	3.2	0.0	3.2

今後、市役所に求める機能について、10歳代から40歳代の若い年代を中心に「窓口に行かずに
 手続きが完結するデジタル技術の活用」が多くなっており、50歳代以上では「行政相談できる窓口機能」の割合が多くなっている。また、10歳代では、「市民が集うことができる
 コミュニティ機能」(22.7%)も他の年代と比べ多くなっている。

問 42 市の公共施設（公民館、コミュニティセンター、教育施設など）の多くは老朽化が進んでおり、今後は、多額の維持・更新費用が必要になることが見込まれています。このような中、今後の公共施設のあり方について、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか（1つに○）。

《全体》



今後の公共施設のあり方について、「施設の管理・運営に民間活力を導入（PPP/PFI）し、民間のノウハウや資金を活用しながら、市にとって適正な規模を確保することが望ましい」（49.9%）が最も多く、次いで、「施設の維持・更新費用を抑制するため、施設の集約・複合化等により規模を縮減することはやむを得ない」（35.3%）となっている。

《年代別》

(%)

	まなしい規 模を確保す ることが望 ましい	間のノウハ 市や資金を 活用し、民 間(P P P / P F I)の導入	施設の管理・運 営に民間活 力を導入	施設の維持・更 新費用を抑 えるため、施 設の集約・複 合化による規 模を縮減す ること	望ましい現 状維持する こと	費用を担 う以上、維 持・更新 に数や新 規を現状 維持する こと	公共施設 を増やす ことが望 ましい	多額の費 用を負担 して、公 額の費用 を増やす ことが望 ましい	その他	無回答
全体(n=677)		49.9		35.3		5.9	2.5		4.0	2.4
10歳代(n=22)		36.4		36.4		18.2	4.5		4.5	0.0
20歳代(n=69)		37.7		40.6		11.6	2.9		2.9	4.3
30歳代(n=99)		49.5		37.4		4.0	4.0		4.0	1.0
40歳代(n=124)		49.2		35.5		5.6	3.2		5.6	0.8
50歳代(n=141)		51.8		36.2		6.4	1.4		3.5	0.7
60歳代(n=128)		56.3		33.6		1.6	1.6		3.9	3.1
70歳以上(n=93)		52.7		30.1		5.4	2.2		3.2	6.5

今後の公共施設のあり方について、全ての年代において、民間活力の導入と施設の集約・複合化が上位となっている。

9. 市の取組に対する満足度・重要度について

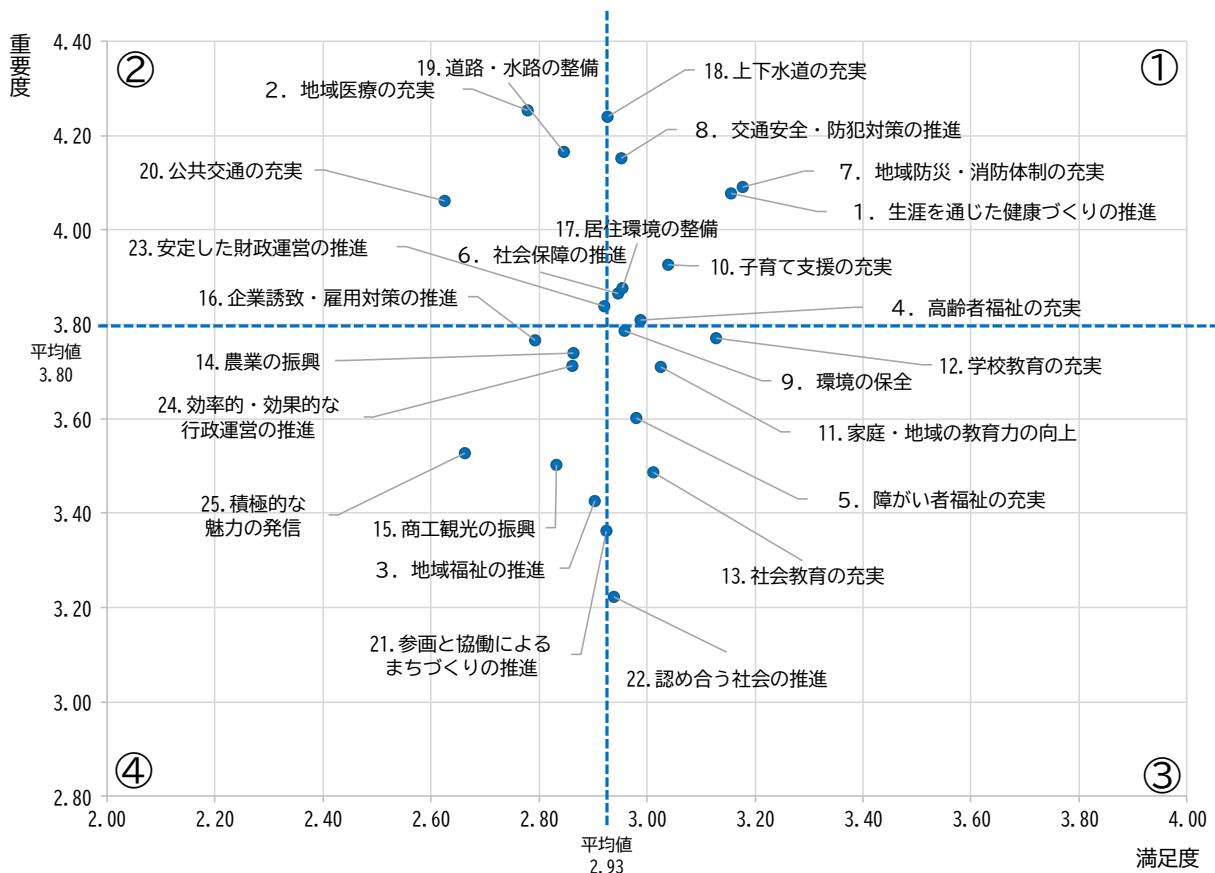
問 43 あなたの市の取組に対する現在の“満足度”及び今後の“重要度”についてお聞きします。次の項目の全てにお答えください（それぞれ1つに○）。

項目	満足度	重要度
1. 生涯を通じた健康づくりの推進	3.15	4.08
2. 地域医療の充実	2.78	4.25
3. 地域福祉の推進	2.90	3.43
4. 高齢者福祉の充実	2.99	3.81
5. 障がい者福祉の充実	2.98	3.60
6. 社会保障の推進	2.95	3.87
7. 地域防災・消防体制の充実	3.18	4.09
8. 交通安全・防犯対策の推進	2.95	4.15
9. 環境の保全	2.96	3.79
10. 子育て支援の充実	3.04	3.93
11. 家庭・地域の教育力の向上	3.03	3.71
12. 学校教育の充実	3.13	3.77
13. 社会教育の充実	3.01	3.49
14. 農業の振興	2.86	3.74
15. 商工観光の振興	2.83	3.50
16. 企業誘致・雇用対策の推進	2.79	3.77
17. 居住環境の整備	2.95	3.88
18. 上下水道の充実	2.93	4.24
19. 道路・水路の整備	2.85	4.16
20. 公共交通の充実	2.63	4.06
21. 参画と協働によるまちづくりの推進	2.92	3.36
22. 認め合う社会の推進	2.94	3.22
23. 安定した財政運営の推進	2.92	3.84
24. 効率的・効果的な行政運営の推進	2.86	3.71
25. 積極的な魅力の発信	2.66	3.53
平均値	2.93	3.80

市の取組に対する「満足度」は、「7. 地域防災・消防体制の充実」(3.18)が最も高く、次いで、「1. 生涯を通じた健康づくりの推進」(3.15)、「12. 学校教育の充実」(3.13)となっている。

市の取組に対する「重要度」は、「2. 地域医療の充実」(4.25)が最も高く、次いで「18. 上下水道の充実」(4.24)、「19. 道路・水路の整備」(4.16)、「8. 交通安全・防犯対策の推進」(4.15)となっている。

【満足度・重要度の相関関係】



市の取組に対する満足度・重要度は、「満足度平均」が2.93であり、「重要度平均」が3.80となっている。

【①重要度高・満足度高の領域】

重要度が高く、満足度が高い施策は、「1. 生涯を通じた健康づくりの推進」、「7. 地域防災・消防体制の充実」などが挙げられる。

【②重要度高・満足度低の領域】

重要度が高く、満足度が低い施策は、「20. 公共交通の充実」、「2. 地域医療の充実」などが挙げられる。

【③重要度低・満足度高の領域】

重要度が低く、満足度が高い施策は、「12. 学校教育の充実」、「11. 家庭・地域の教育力の向上」、「5. 障がい者福祉の充実」などが挙げられる。

【④重要度低・満足度低の領域】

重要度が低く、満足度が低い施策は、「25. 積極的な魅力の発信」、「15. 商工観光の振興」などが挙げられる。

10. 自由意見

■最後に、白岡市のまちづくりに対するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

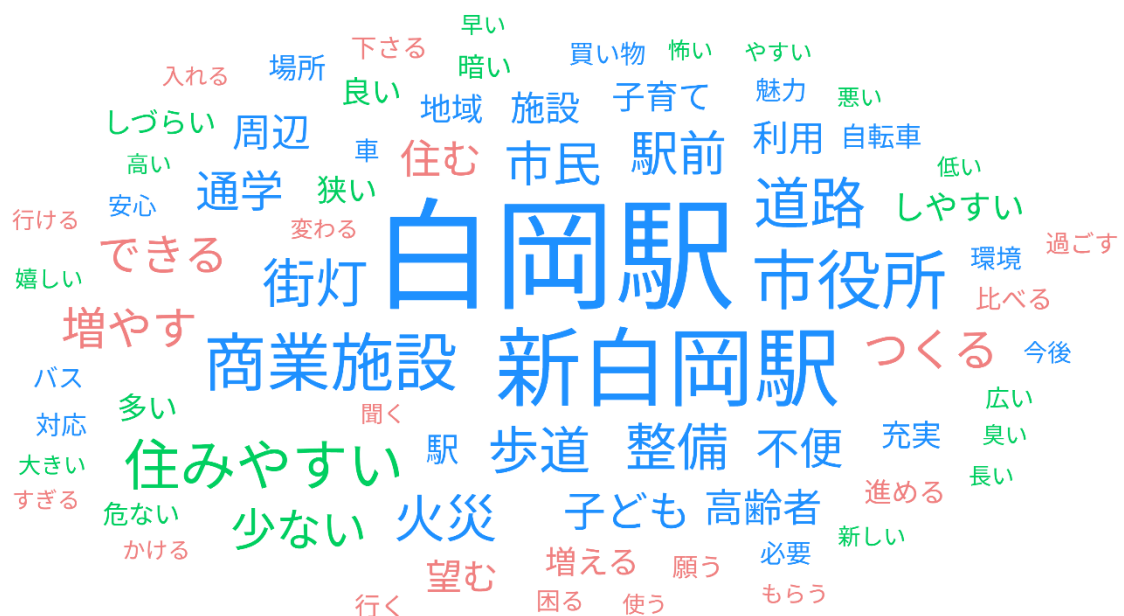
自由回答の設問では、回答全体の傾向を把握するため、テキストマイニング手法を用いて回答結果を分析しました。以下のワードクラウドは、文章における単語の特性を視覚的に表現した図で、文字のサイズが大きいほど、その単語の文章における重要度や出現頻度が高いことを示します。

また、次ページの共起キーワードは、文章中の出現頻度が高い単語のうち、よく一緒に使われている単語を程度の強さで判断し、線で結んだ図で、円の大きさは、出現頻度の高さを表し、円同士を結ぶ線の太さは円同士の結びつきの強さを表します。

※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

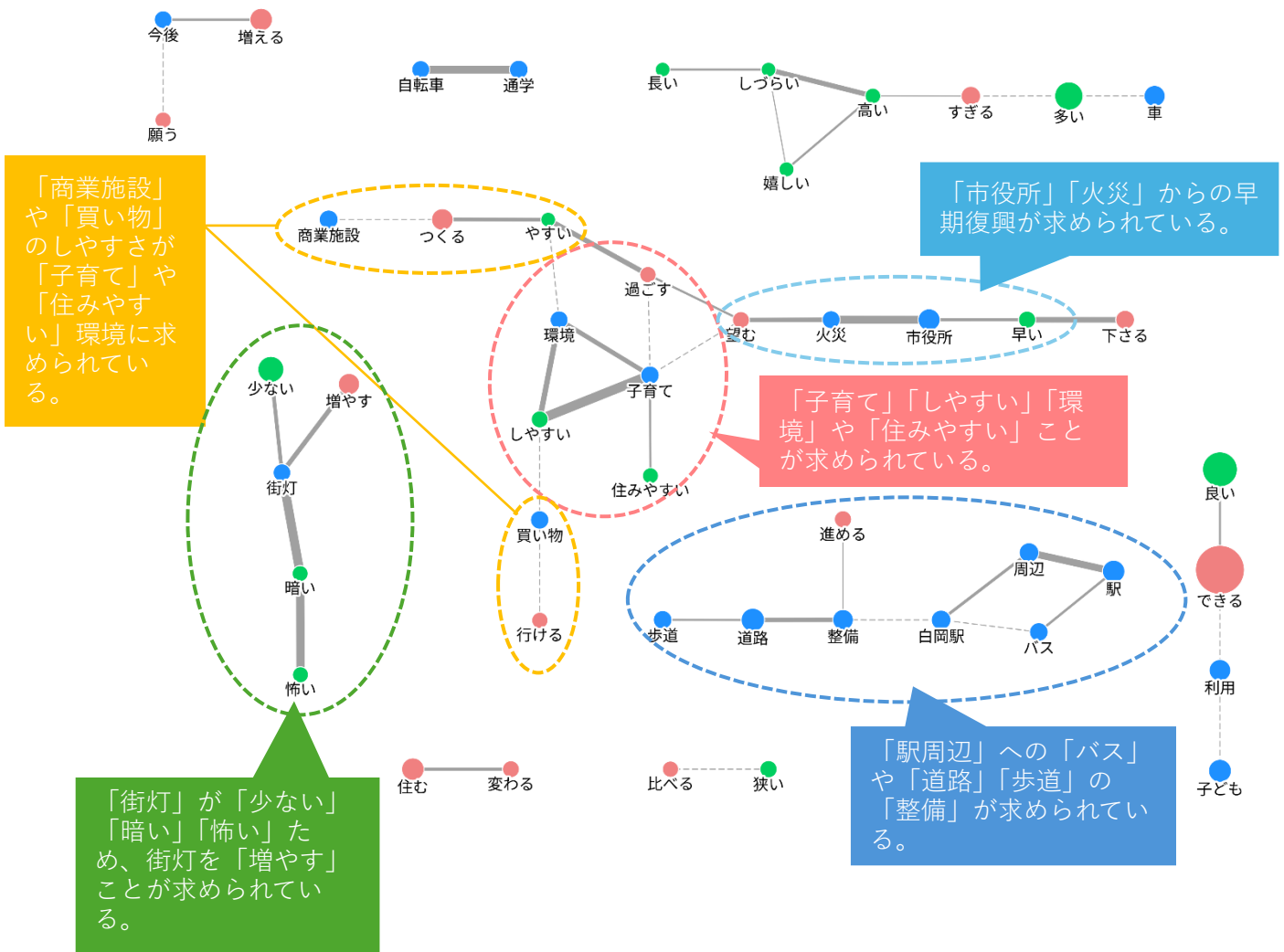
231人から延べ326件の意見があった。全体として、白岡市のまちづくりについて、「白岡駅や新白岡駅周辺の活性化」、「商業施設の誘致」、「街灯の増設」、「道路や歩道の整備」、「市役所の復興」などが挙げられている。

【ワードクラウド】



(青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す)

【共起キーワード】



【主な意見】第6次総合振興計画の政策分野ごと、概ね原文のとおり。

〈健康・医療・福祉〉24件

- ・白岡市として、周りにアピールできるもの、大きな公園、スポーツ施設を、体育館、道場、芸術や趣味活動ができる施設を作り、スポーツを通じて、健康と豊かな環境がつけられることで、白岡市の発展があると思われます。
- ・1歳児がいますが、かかれる病院がなく困っています。現在ある病院は常に予約でいっぱい、発熱など急な受診ができる状態ではなく、かかりつけ医を作りたくても作れない状況です。
- ・白岡市に住み始めてから白岡中央病院にかかることがありましたが、建物の古さにビックリしました。地域医療の要である総合病院なので、新しくしてほしいと思いました。
- ・もう少し、夜間や休日の医療に力を入れて欲しい。子供や年寄りを抱えていると、本当に一番大事な点だろうと思う。
- ・自然が豊かで、静かで良い町ですが、自分達がもう少し年をとった時に、介護や働けなくなった時の生活にとっても不安です。

- ・高齢者が1人で暮らしている家が多いので、色々参加できる対策がほしい。
- ・白岡市の老人福祉センターの活用、活動も文化面、健康面でも幅を広げて充実させてほしい。
- ・高齢者の終活対応して欲しい。一人暮らしの老人が、今後の身の始末を行政が費用をもらって管理できないか？そうすれば、高齢者は安心して白岡に住める。
- ・障害者に対するこころみが、なきすぎます。障害者にも色々あるのですから、別々にまたさまざまな事を考えていって下さい。

〈自然環境・生活安全〉 62 件

- ・防災無線放送がほとんど聞こえない。
- ・災害を想定して市全体で避難訓練を年に1度でも行って欲しい。集会所や市役所を避難場所として実際に歩いて向かえるか？必要な持参品を考えられる。
- ・街灯が暗くて、夜歩くのが怖い。防犯カメラを何ヶ所か設置してほしい。
- ・街中の街灯を増やして欲しいです。私の家は、比較的駅から近いですが、それでも灯りが少なく、高校からの帰り道等、不安を感じる時も多かったです。同様に、小・中学校の周りも灯りが少なく（全くなく？）、小学校の時からずっと怖い思いをしています。なので、街灯が増えて、安心して夜も歩ける（帰れる）白岡市になったら良いなと感じます。
- ・これからも治安が良いまちであることを願っています。
- ・子ども達のために歩道をもっと増やして下さい。
- ・歩道の確保、整備をお願いします。また常にどこかで何かを燃やしている。洗濯物が煙臭い。風が強いときは灰が飛んでくる。
- ・カラスや野生動物によるゴミ被害が度々ある。荒らされないようにちゃんとしたゴミ置き場にするべき。
- ・ゴミの回収が他の市と比べて少ないのが不便です。プラの概念がなく、ほとんどが燃えるゴミで出せるのも驚きです。
- ・田園風景が広がり、自然豊かなところが白岡市の魅力だと思うので、今後も残して欲しいです。自然豊かな道をサイクリングすることが気分転換になっています。今後、白岡市ならではの地域イベントの開催が増え、地域がより活性化することを願っています。

〈子育て・教育・文化〉 33 件

- ・少子化が進む中、子育て世代が住みやすい環境を整える事で、東京で働く人の住居となると思う。今やらないと、20年後、30年後に厳しい状況となると考えます。子供の教育に、予算を振り切って持ってくる事で、現役世代に魅力のある街と感じてもらえると思いますので、行政の皆様には、全てに満足を取れる政策ではなく、注力すべき部分に絞った活動をお願い致します。市民としても、お力になりたいと思っております。

- ・子育て世代が増えているのに、一向に保育関係・子育て世代の負担を軽減してくれない。待機児童は埼玉でワースト1。物価高騰で働きに行きたくても行けず生活は苦しいです。早く、保育環境を整えてほしい、切実に。
- ・とにかく保育所、預け先がない。保育園に入れなかったため仕事を辞めざるを得ない。白岡市を存続させるためにはとにかく子育て世代への支援は必須だと考える。参考にできる自治体は多いはず。
- ・保育園と学童を充実させてほしい。保育園の空きがなく、仕事復帰できない。小学生が放課後に過ごせる場所も増やしてほしい。
- ・市内中学校の自転車通学について進めて欲しいです。近年の猛暑酷暑で通学が大変そうです。タブレット学習を取り入れているのに、鞆の重さは変わらずとても重く、あの暑さの中歩いていて熱中症にならないか心配です。
- ・中学校の制服を所得制限なしで無償化して欲しいです。
- ・図書館は、とても開放的で落ち着いていて、行きたくなる場所です。近くの県に引っ越しますが、居心地が良くて大きくて綺麗な図書館は白岡以外周辺には無いかなと思うので、これからも利用させてもらいます。
- ・もう少し老年期の大学等、学びが多数あればいいと考えます。
- ・大山小学校の跡地、校舎を有効に活用してほしい。例えば、カルチャー教室、体操教室など。

〈産業・雇用〉67件

- ・残った田んぼ、現在使用していない場所を何とかしたい。
- ・自然豊かであるが、梨畑もどんどんなくなって行ってさみしい。住み始めた頃は、おいしい梨があることが嬉しかったけれど、今では値段も高く入手しづらい。白岡市は、もう梨の町ではなくなってきているのでは？復活してほしい。
- ・大山地区での農業拡大を成功させるために農家さんの公務員化や農業高校からの就職が出来るような改革をして頂きたい。
- ・花火や地元のお祭りなど色々な事業を開催していただき、ありがとうございます。駅前周りの都市開発、飲食店の充実がありますと嬉しいです。
- ・駅前に魅力がない。駅前に商業施設・飲食店があれば、もっと魅力ある町になると考えます。
- ・広い土地を倉庫や工場の誘致に使うのではなく、道の駅や飲食店（カフェなど）など、近隣や県外等からも人が訪れてくれる施設に充てるなども検討して欲しい。駅前のさびれた感の改善。
- ・商業施設等について、スーパーマーケットなどは充実しているが、それ以外の施設がほとんどないのが不満です。近隣の自治体で複合商業施設がないのは白岡市だけです。食料品以外の買い物は車で時間をかけて行かなくてはならないです。複合商業施設の誘致を積極的に行うことを強く希望します。あわせて、コストコやイケア等、近隣自治体にはない商業施設の誘致ができれば、周辺からも来訪が増え、にぎわいのあるまちになると思います。
- ・駅前商店街の活性化を望みます。

- ・駅前開発や商業施設の誘致にも力を入れて頂きたいです！
- ・もっと買い物ができる場所（ショッピングモールなど）が増えれば、住みやすくなり、人口も増えていくと思う。
- ・白岡の長所である「適度に田舎&高速道の利便性」を活用して、従来型企業の誘致プラス「IT系等開発企業」の誘致に注力されたい。
- ・白岡市内でサービス系職業除き倉庫系の職業がなく、市外に出るしかない。もっと市内での雇用を確保して欲しい。

〈都市基盤・住環境・公共交通〉 68 件

- ・ずっと住んでいたい気持ちはありますが、土地が値上がりし、建売だとしても買える人を選ぶと思います。市で住んでいない家を管理し、安く売り出したりしてくれれば、今後若い人やシングルの方も続けて住めるのではないのでしょうか。
- ・大規模な開発を行うのではなく、地域の人たちに寄り添うようなかたちで小規模な開発を進めていけば、少しずつ住みやすい良い市になっていくのではないかと思います。（ここで言う小規模な開発とは、空き家の活用を進めたり、公園の緑地の整備をしたり、公園のベンチの数を増やしたりするなどの少しの時間や資金でできる開発のことです。）様々な人が過ごしやすい白岡市であってほしいと願っています。
- ・道路が狭いところが多いため、少し道幅を広げてもらえると助かります。
- ・道路整備を着実に進めて頂けるとありがたいです。
- ・道路の停止線・中央線・横断歩道など、見えにくいくらい消えているので、整備をお願いしたい。道路標識、古い物は新しく、見やすいものにして欲しい。
- ・白岡には整備された歩道が少ないため、歩道を確保した道路の整備をお願いしたいです。
- ・けんちゃんバスが無くなり路線バスを走らせてほしい。
- ・高齢者のドライバーや自転車の方が多いので、免許返納できるよう、公共交通の充実が必要。

〈協働・人権〉 14 件

- ・市民が団結して参加、行動できる目標とかイベントがあってもよいのではと思われる。例えば、「ギネス」に挑戦するとかどうだろう。少しぐらい不便があっても笑顔があふれる地域になってもらいたい。
- ・市民の意見をもっと言える場所を教えて欲しい。
- ・大学の英文科の子どもが地域の外国人と交流を持てたらと広報を読みましたが、見つかりませんでした。そんな機会があったら良いなと思いました。

〈運営方針〉 43 件

- ・他の市町村が無償化しているからといって白岡市も安易にそれに倣うのではなく、どこから財源をえて、どこに使うかをしっかりと考えてほしいと思います（保険料、給食費など）。

- ・ 市政情報の充実した発信とデジタル化の促進(分かりやすい) で窓口機能の充実があればいい。
- ・ 高齢者のための行政手続き等の支所的なものを置いてほしい。
- ・ 手続き(住民票など)をネットから全て出来る様にして下さい。
- ・ 行政サービスにおける効率性・透明性の向上を目的として、ブロックチェーン技術の活用を推進すべき。
- ・ 公平・透明なまちづくりをお願いします。他の街にない、白岡独自のサービスの作成をお願いします。
- ・ 白岡市の魅力をネットを使うなどして発信し、人口流入を増やす。近隣の市にはないような建物を駅の近くに建てて白岡を訪れる人を増やし、経済を回す。
- ・ 決して不便ではないが、何か特徴があるというわけでもないというのが現状かと思います。都心部の真似はしなくていいと思いますが、白岡市の強みを何か出していけると良いと思います。

〈その他〉 15 件

- ・ 市庁舎火災の後の復興を早く望みます。
- ・ 静か、自然が多い、交通の便が良い、外国人が少ない等埼玉県内では安心して子育てができる事がブランドになっているのが白岡の魅力だと思います。

第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る
小中学生アンケート結果報告書

1. 調査実施概要

調査期間	令和7年9月1日～9月30日
調査対象	市内の小中学校に通学する小学6年生及び中学2年生全員
調査方法	チラシ(二次元コード付)を学校経由で配布し、オンラインで回答
有効回答数	小学生 356 人、中学生 316 人

(調査協力依頼チラシ)

「白岡市^{そうごうしんこうけいかく}総合振興計画後期基本計画」をつくるための
アンケート ご協力をお願い

小学
6年生

白岡市では、今後5年間のまちづくり全体の方向性を示す計画をつくっています。そこで小学生の**みなさんの思い**を聞かせてほしいと思っています。

二次元コード
または URL から
回答をお願いします。

<https://survey.zohopublic.com/zs/CBac1c>

回答期限
9月30日(火)
まで

みなさんが幸せに住み続けたいと思うまちづくりを進めるためのアンケートに**ご協力をお願いします！！**

調査についてのお問い合わせ先
白岡市 ^{かいいきがぶ}経営企画部 ^{きかくせいさくか}企画政策課 Tel: 0480-92-1111

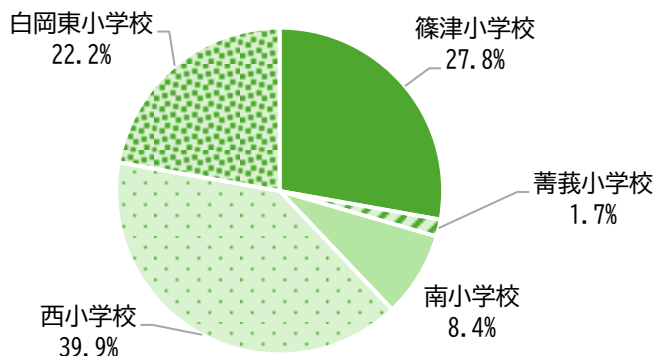
2. 調査結果

あなたのことについて

問1 あなたの通っている学校はどれですか。(1つ選ぶ)

【小学生】

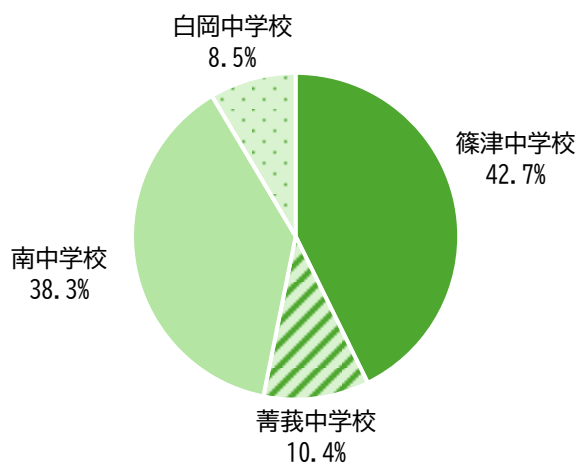
(n=356)



回答者が通学する小学校は、「西小学校」(39.9%)が最も多く、次いで「篠津小学校」(27.8%)、「白岡東小学校」(22.2%)となっています。

【中学生】

(n=316)



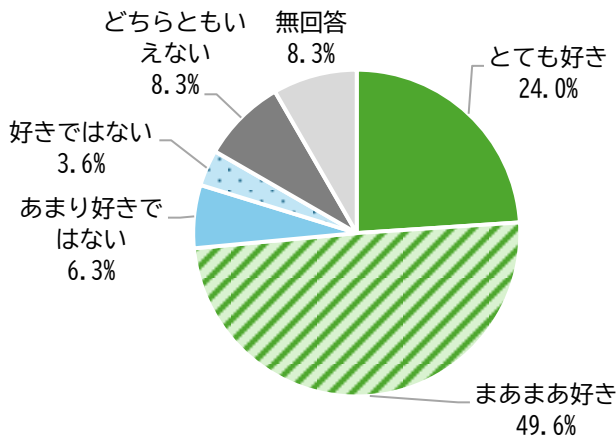
回答者が通学する中学校は、「篠津中学校」(42.7%)が最も多く、次いで「南中学校」(38.3%)、「菁莪中学校」(10.4%)となっています。

白岡市について

問2 あなたは、白岡市が好きですか。(1つ選ぶ)

【全体】

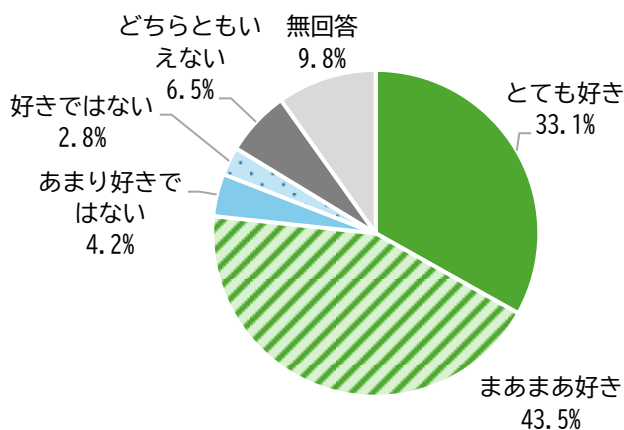
(n=672)



全体をみると、白岡市が、好き(「とても好き」と「まあまあ好き」の合計)な人は73.6%で、一方、好きでない(「あまり好きではない」と「好きではない」の合計)人は9.9%となっています。

【小学生】

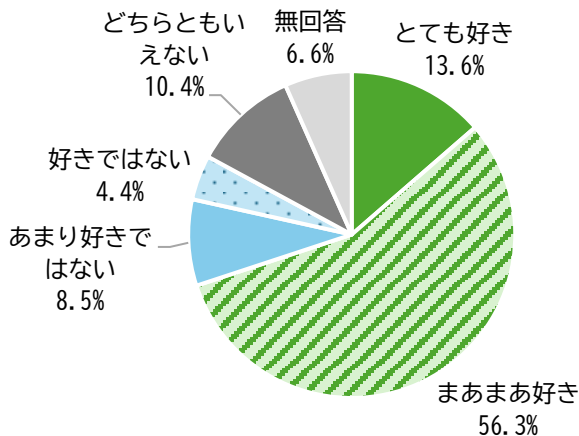
(n=356)



小学生をみると、白岡市が、好き(「とても好き」と「まあまあ好き」の合計)な人は76.6%で、一方、好きでない(「あまり好きではない」と「好きではない」の合計)人は7.0%となっています。中学生と比べ、白岡市を好きな人が多くなっています。

【中学生】

(n=316)

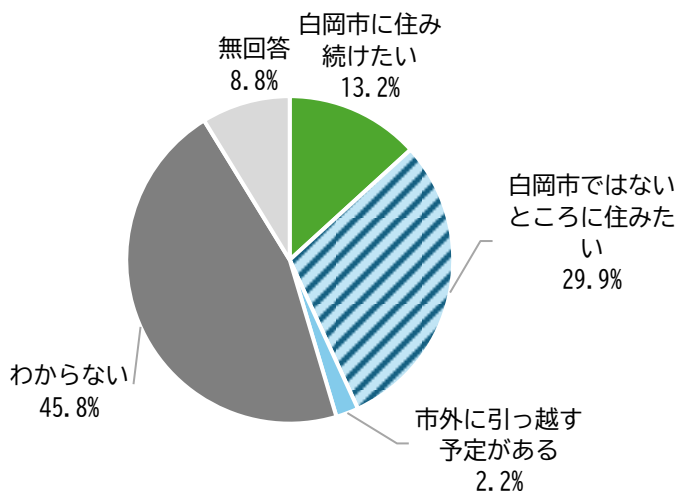


中学生をみると、白岡市が、好き(「とても好き」と「まあまあ好き」の合計)な人は69.9%で、一方、好きでない(「あまり好きではない」と「好きではない」の合計)人は12.9%となっています。小学生と比べ、白岡市を好きな人は少なくなっています。

問3 あなたは、大人になっても白岡市に住み続けたいと思いますか。(1つ選ぶ)

【全体】

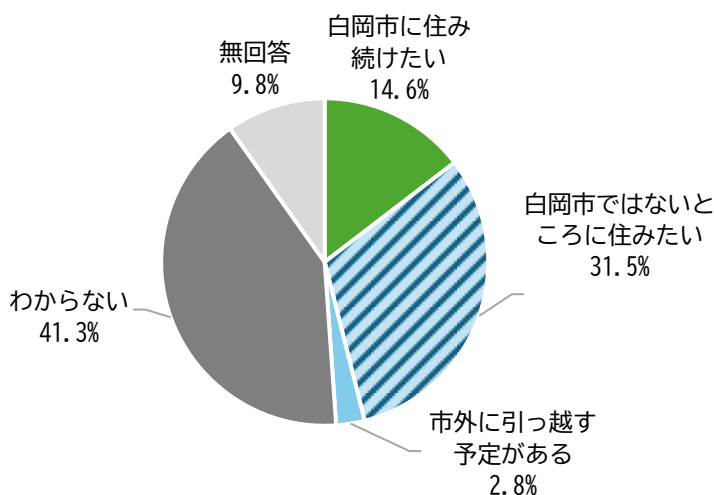
(n=672)



全体をみると、白岡市に住み続けたい人は13.2%で、一方、市外に住みたい（「白岡市ではないところに住みたい」と「市外に引っ越す予定がある」の合計）人は32.1%となっています。また、「わからない」が45.8%で最も多くなっています。

【小学生】

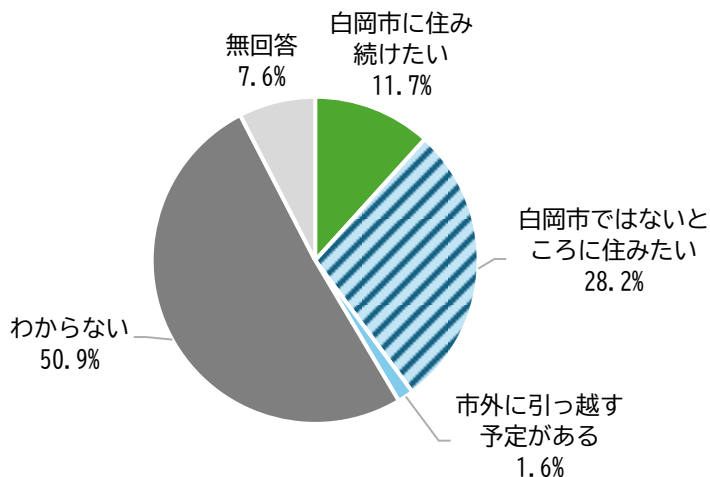
(n=356)



小学生をみると、白岡市に住み続けたい人は14.6%で、一方、市外に住みたい（「白岡市ではないところに住みたい」と「市外に引っ越す予定がある」の合計）人は34.3%となっています。また、「わからない」が41.3%で最も多くなっています。

【中学生】

(n=316)



中学生をみると、白岡市に住み続けたい人は11.7%で、一方、市外に住みたい（「白岡市ではないところに住みたい」と「市外に引っ越す予定がある」の合計）人は29.8%となっています。また、「わからない」が50.9%で最も多くなっています。

小学生と比べ、「わからない」が多くなっています。

問3-1 (問3で1と回答した人への設問) あなたが「白岡市に住み続けたい」と思う理由は何ですか。(自由に書いてください)

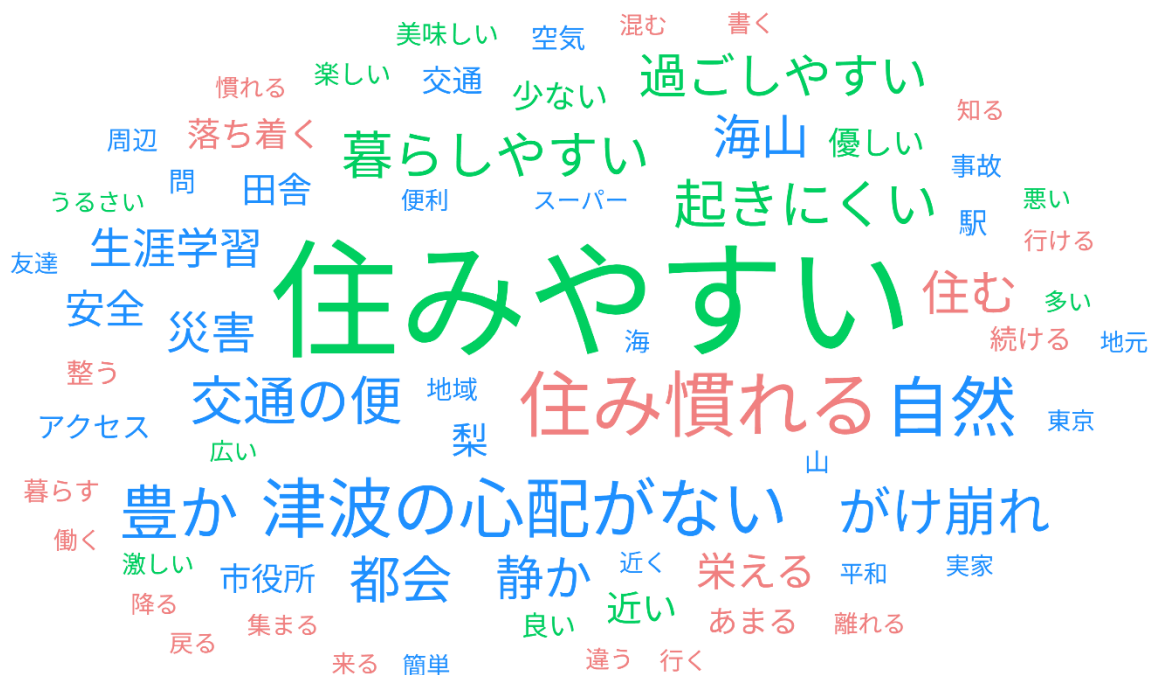
自由回答の設問では、回答全体の傾向を把握するため、テキストマイニング手法を用いて回答結果を分析しました。以下のワードクラウドは、文章における単語の特性を視覚的に表現した図で、文字のサイズが大きいほど、その単語の文章における重要度や出現頻度が高いことを示します。

また、次ページの共起キーワードは、文章中の出現頻度が高い単語のうち、よく一緒に使われている単語を程度の強さで判断し、線で結んだ図で、円の大きさは、出現頻度の高さを表し、円同士を結ぶ線の太さは円同士の結びつきの強さを表します。

※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

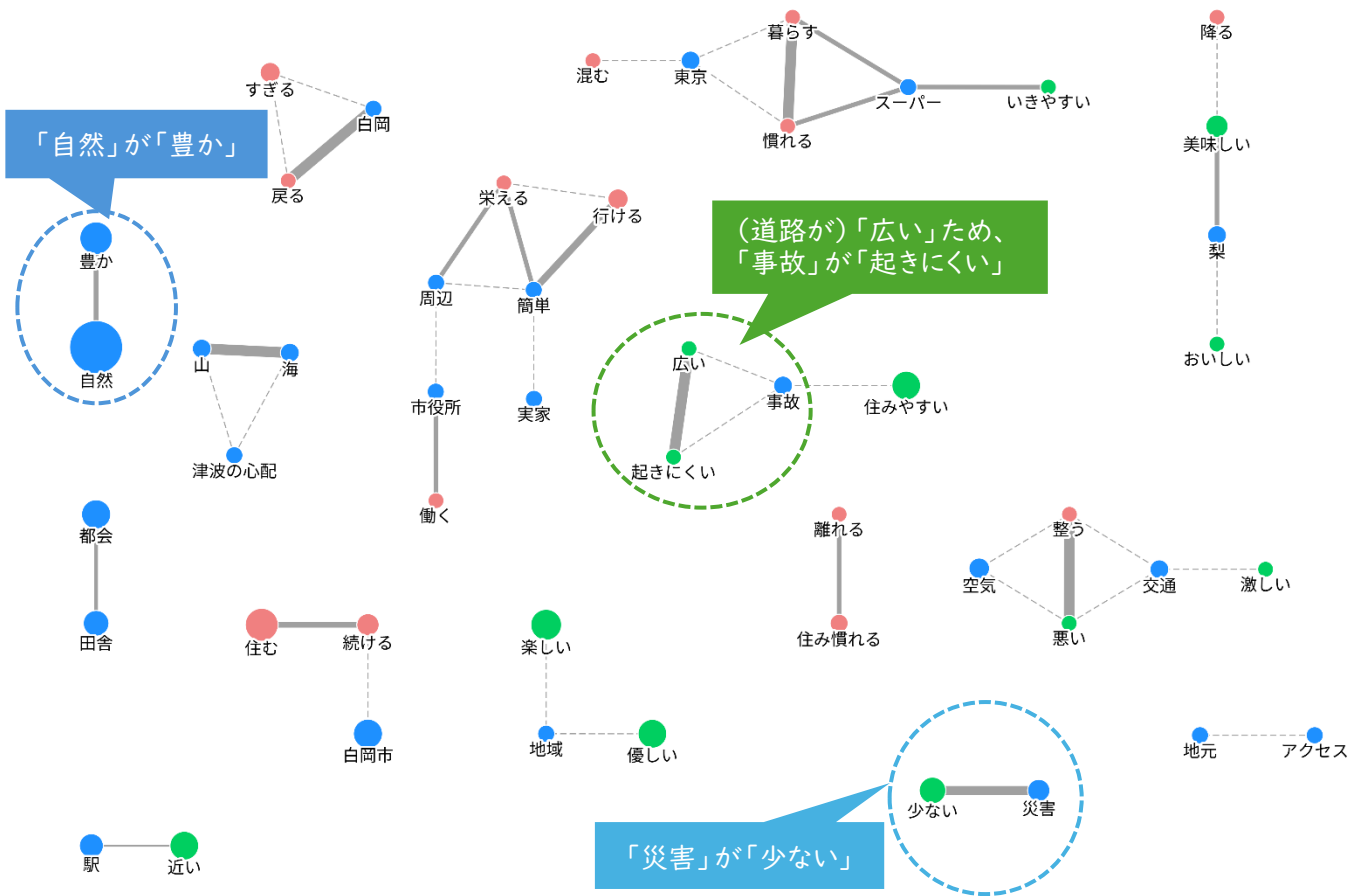
89人中、83人の回答がありました。全体として、白岡市に住み続けたい理由としては、「住みやすい」、「自然が豊か」、「災害が少ない」などが挙げられています。

【ワードクラウド】



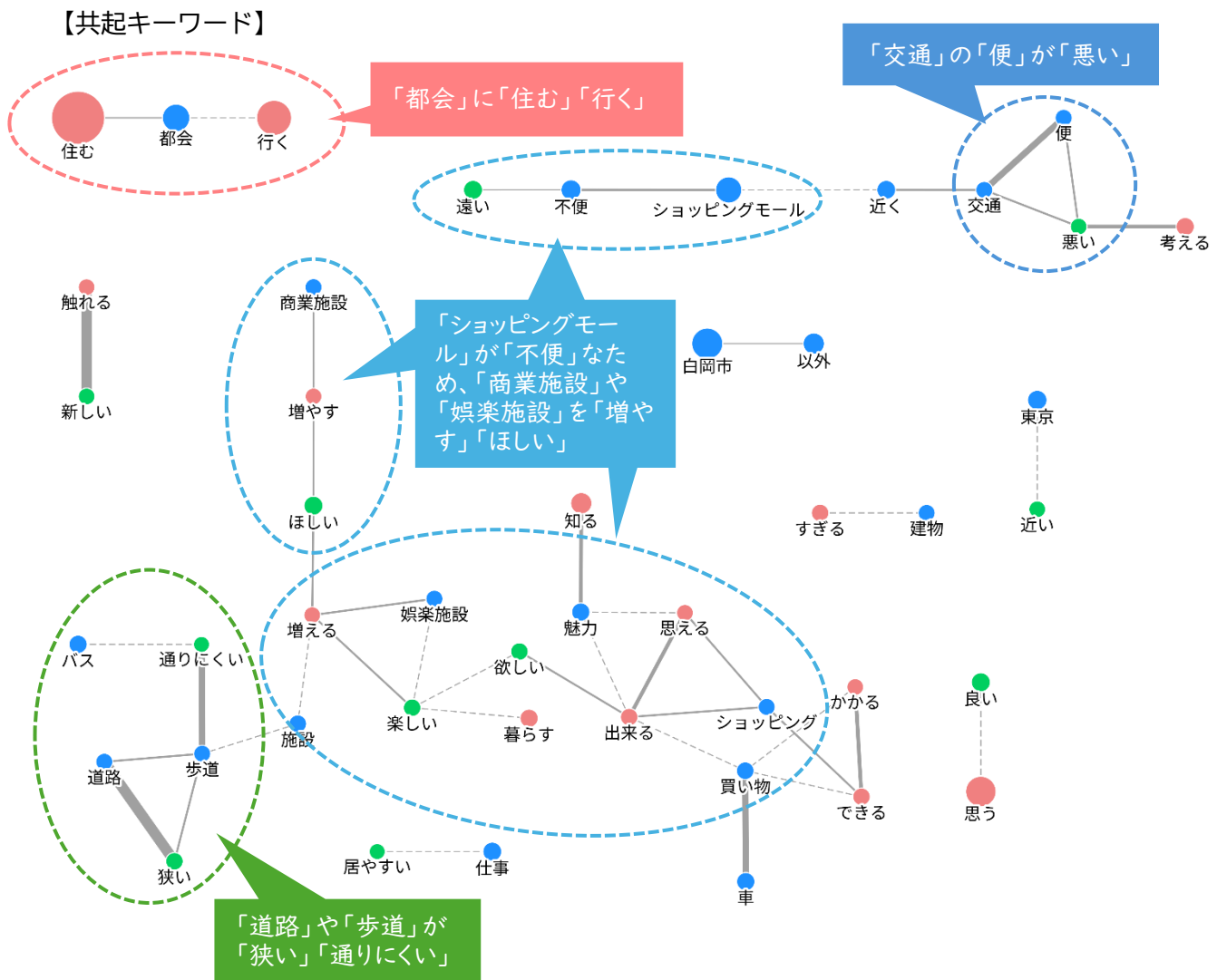
(青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す)

【共起キーワード】



【主な意見】

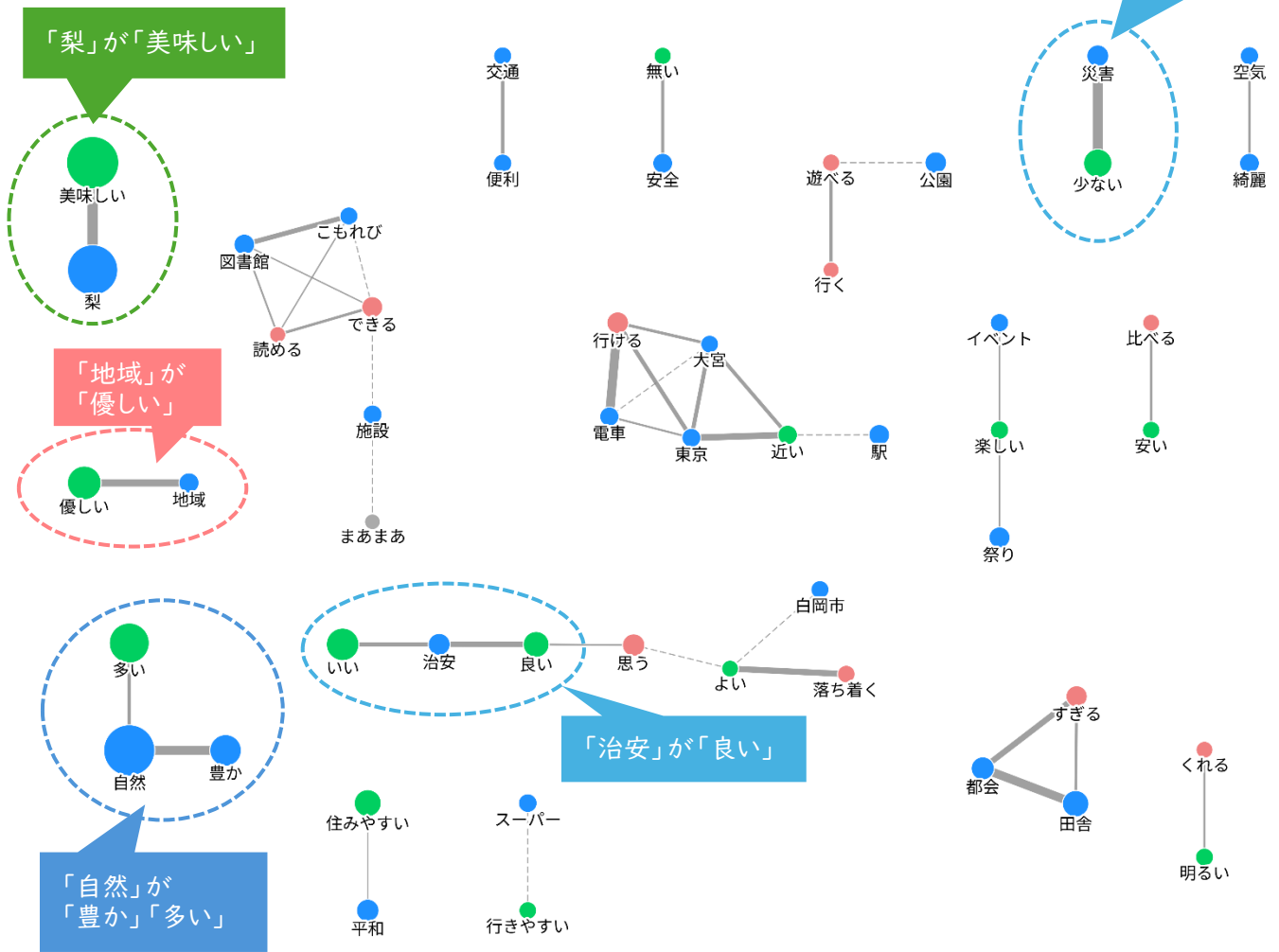
- ・住みやすいから。
- ・自然豊かで災害が少ない。
- ・都会でもなく、田舎でもなくちょうどいいから。
- ・落ち着いているから。自然があるから。
- ・地域の人がとても優しくて、自然もあり、お祭りなどがとても楽しいからです。
- ・自然が多くて穏やかで落ち着く雰囲気だし、交通のアクセスがいいと思うから。
- ・白岡市は、自然などがたくさんあるし、住み慣れた所を離れたくないと思ったからです。
- ・道が広くて、事故が起きにくいから。
- ・電車で、周辺の栄えているところに簡単にいけるから。
- ・白岡市と新白岡市に1つずつ駅があり、合計2つあるから他の市よりも短時間で駅に行けるから。
- ・友達がいるから。
- ・自分の故郷で生活したいから。



【主な意見】

- ・白岡市は田舎なので都会に住んでみたいと思ったからです。
- ・他の街に行って、また違う生活体験をしてみたい。
- ・他の市や県などを見てみたいと思ったから
- ・白岡も好きだけど別のところにも住んでみたいから。
- ・将来的に考えて、ここの生活も悪くないけれど仕事とかを考えるとここだけじゃ稼げないと思ったから。
- ・新たな場所に行ってもっと広い目で社会を見てみたいから。
- ・白岡市は商店街やご飯を食うところが少なく有名な場所がないから。
- ・大きなショッピングモールがないから。
- ・移動手段がほぼ車しかない、(もっとバスなどを増やしてほしい)などの理由。
- ・田舎、不便
- ・何もないし、つままない。
- ・お店が少ない、遊べる場所が少ない、駅が小さい、バスが少ない、街灯が少ない、ショッピングモールがない、歩道に草がたくさん生えていて通りにくい。

【共起キーワード】



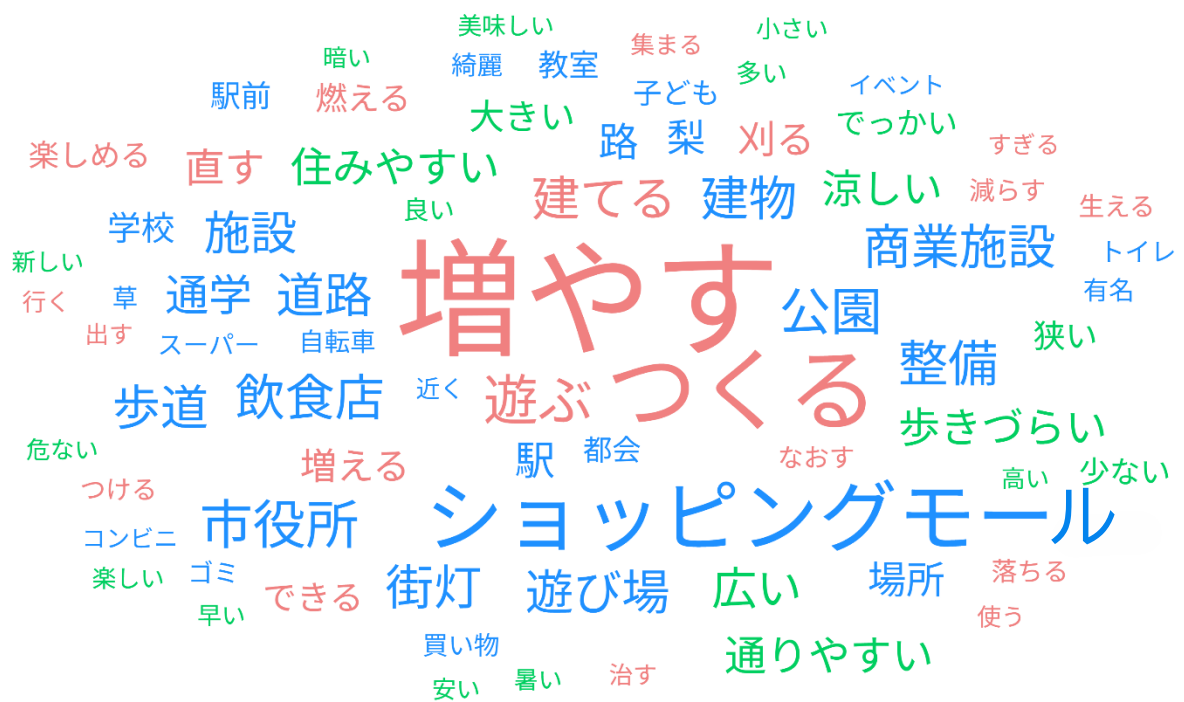
【主な意見】

- ・住みやすい、安全、公共施設が整っている。
- ・公共の施設がたくさんあるところ。
- ・大きな図書館（こもれびの森）がある。
- ・自然豊かなところ。
- ・田舎みたいに自然がたくさんある所、災害が少ない所。
- ・電車の本数が多い、山や川があまりないから災害が少ない。
- ・家の家賃が他の県と比べて安い、災害などが少ないから安心して過ごせる。
- ・災害があまりないところ。
- ・たくさんの行事などがある所がよいと思ったからです。
- ・梨が美味しい。
- ・特産品がある、東京からのアクセスが良好、活気づいてることなどです。
- ・白岡市の梨を使った食品や梨をモチーフにした、なしベえとなしりんがいる所。
- ・マスコットキャラクターがあっいろいろなイベントがあるところ。
- ・祭りや伝統的なものが多い。安心して暮らせる。
- ・とても治安が良くみんな元気に挨拶をしてくれてとてもいいところです。

問5 あなたの考える、白岡市のもっとこうなってほしい（直してほしい）と思うところは何ですか。（自由に書いてください）

672人中、591人の回答がありました。全体として、白岡市の直してほしいところとしては、「ショッピングモールをつくる」、「買い物や遊べる場所を増やす」、「通学路など道路の整備」、「街灯の整備」、「道路の草刈り」などが挙げられています。

【ワードクラウド】



（青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す）

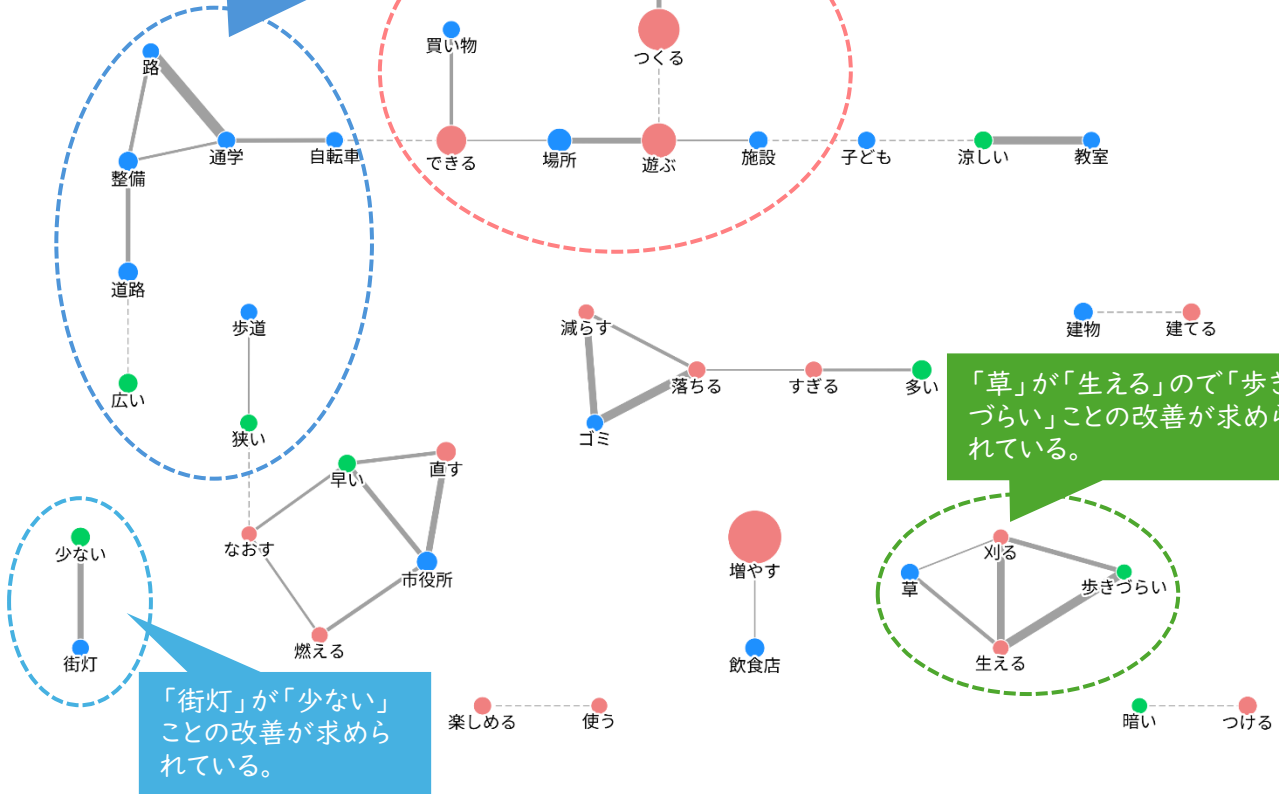
【共起キーワード】

都会 有名 梨 行く

「ショッピングモール」など「買い物」や「遊ぶ」「場所」「施設」を「つくる」ことが求められている。

「通学路」など「道路」や「歩道」の「整備」が求められている。

新しい トイレ 学校 綺麗

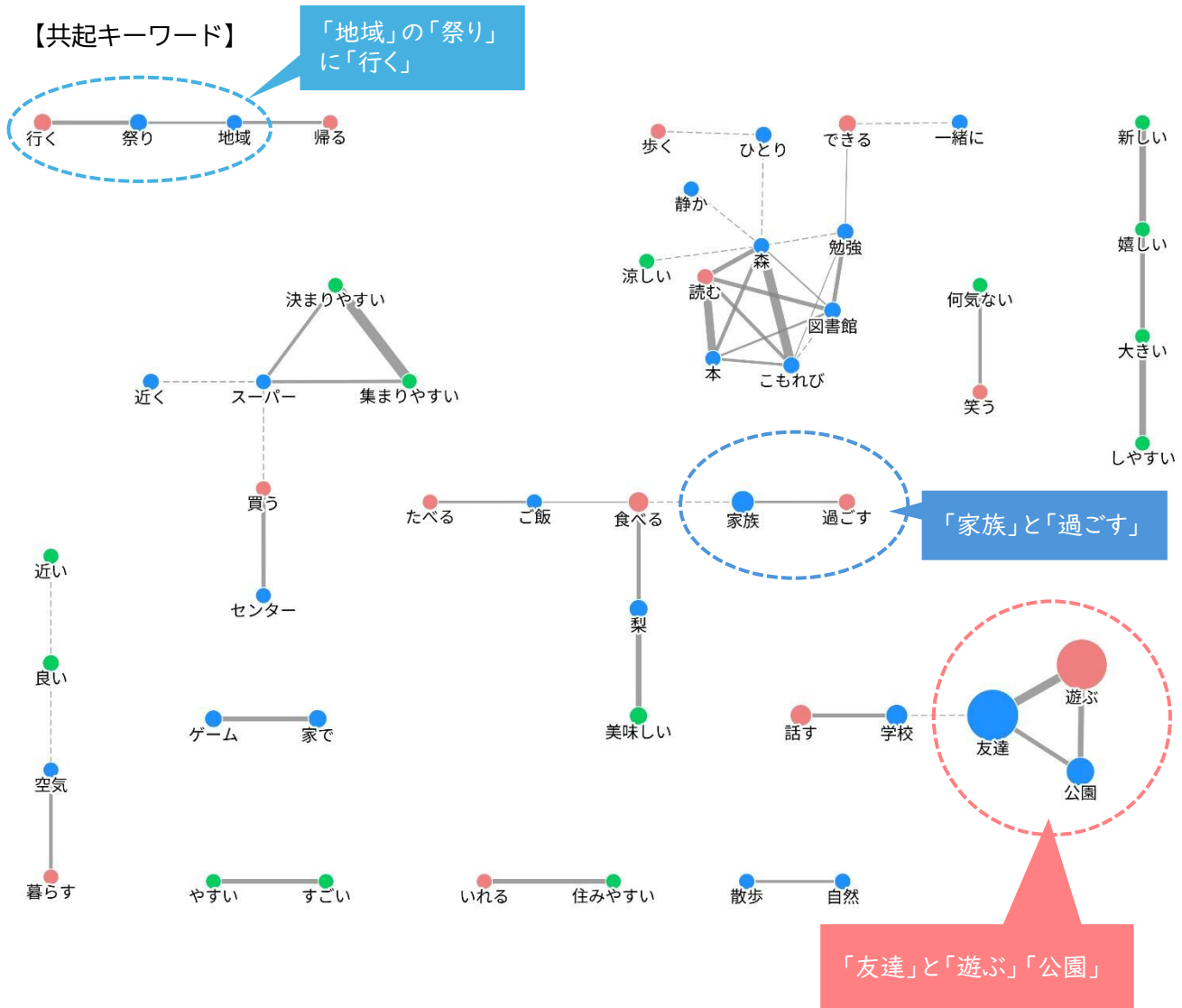


「街灯」が「少ない」ことの改善が求められている。

「草」が「生える」ので「歩きづらい」ことの改善が求められている。

【主な意見】

- ・遊園地など他の市や県に住んでいる人も遊びに来れる場所を作ってほしいです。
- ・ショッピングモールを作って欲しい（作った方がいい）、駅に繋がる予定の道路をはやく駅に繋げて欲しい、児童館をもっと作ったほうがいい。
- ・もっと遊び場や公園を増やしてほしいです。
- ・友達と遊べる場所が増えてほしい。
- ・駅前をもっと充実させてほしい。
- ・市役所を直してほしい。
- ・所々地面がボコボコしていたり、木や草があって通りづらい場所がある。
- ・通学路とかの道の草とか整備してほしい、体育館にエアコンがない。
- ・学校などの外観をきれいにしたいです。
- ・街灯が少なく夜になると危ないところ。
- ・公園の雑草を抜いて欲しい。
- ・もう少し交通の便が良くなるといい。白岡駅に宇都宮線の快速がとおって欲しい。



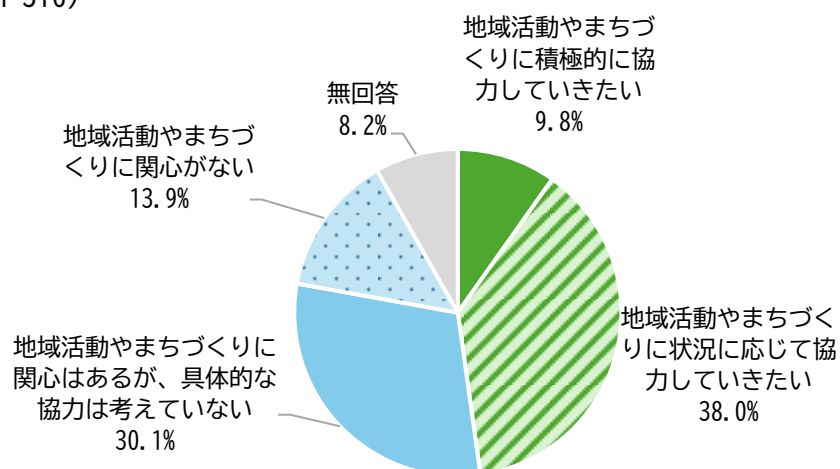
【主な意見】

- ・ 友達と公園で遊んでいる時。
- ・ 友達と一緒に児童館やコミュニティセンターなどで遊んでいる時です。
- ・ 公園が多いので、友達と一緒にいろんな公園で遊んだりできる。
- ・ 東児童館で友達と遊んだり、静かなこもれびの森で本を読んだり勉強したりすること、友達と高岩公園で遊んでいるとき。
- ・ 友達と公園や家などで勉強会をしている時、家族団らんでテレビを観ながら笑っている時。
- ・ 市役所などのお祭り、家でゆっくりする。なしを家族で食べてる時。
- ・ 白岡の梨を家族で食べられる時
- ・ スーパーがたくさんあるのでなにかを買いたいときにすぐに行ける、図書館が大きいので勉強などがしやすい。
- ・ 白岡祭りに行った時

問7 (中学生のみ) あなたは、白岡市をより良くしていくために、現在または将来に地域活動やまちづくりに関わっていきたいと思いますか。(1つ選ぶ)

【中学生】

(n=316)

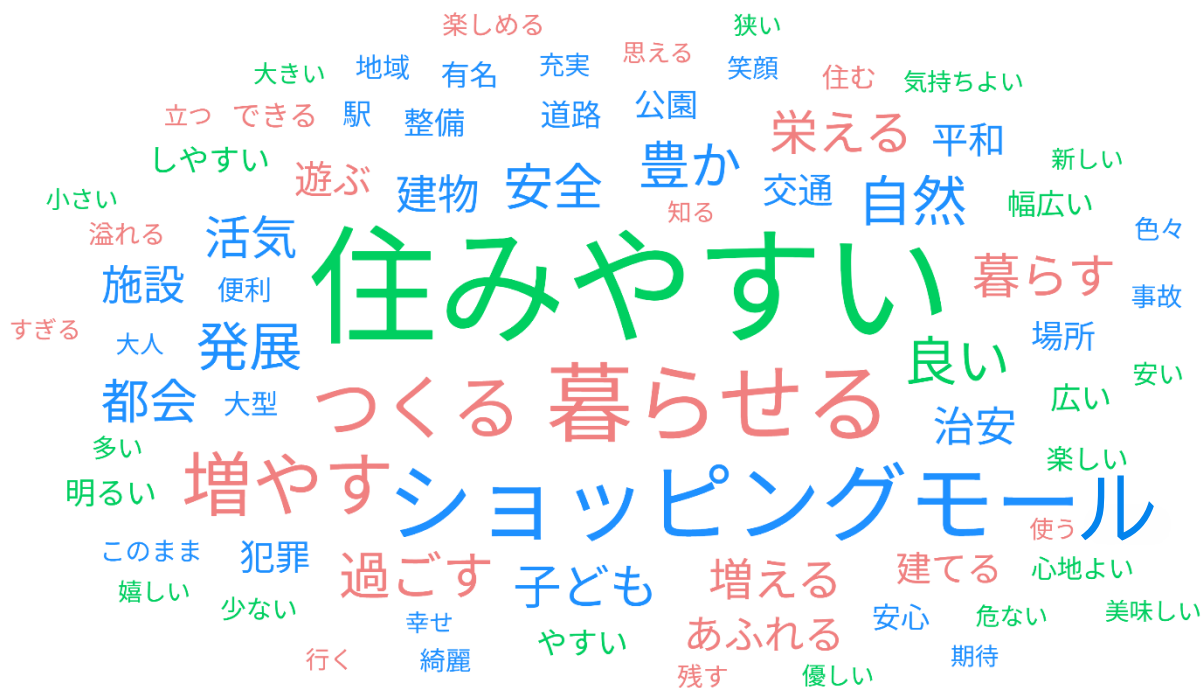


現在または将来に地域活動やまちづくりに「状況に応じて協力していきたい」(38.0%)が最も多く、「積極的に協力していきたい」人と合わせると47.8%が協力したいと答えています。

問8 将来、白岡市はどんなまちになっていたらよいと思いますか。大人になったあなたが幸せに過ごすために、市へ期待することや必要なことなどをお書きください。(自由に書いてください)

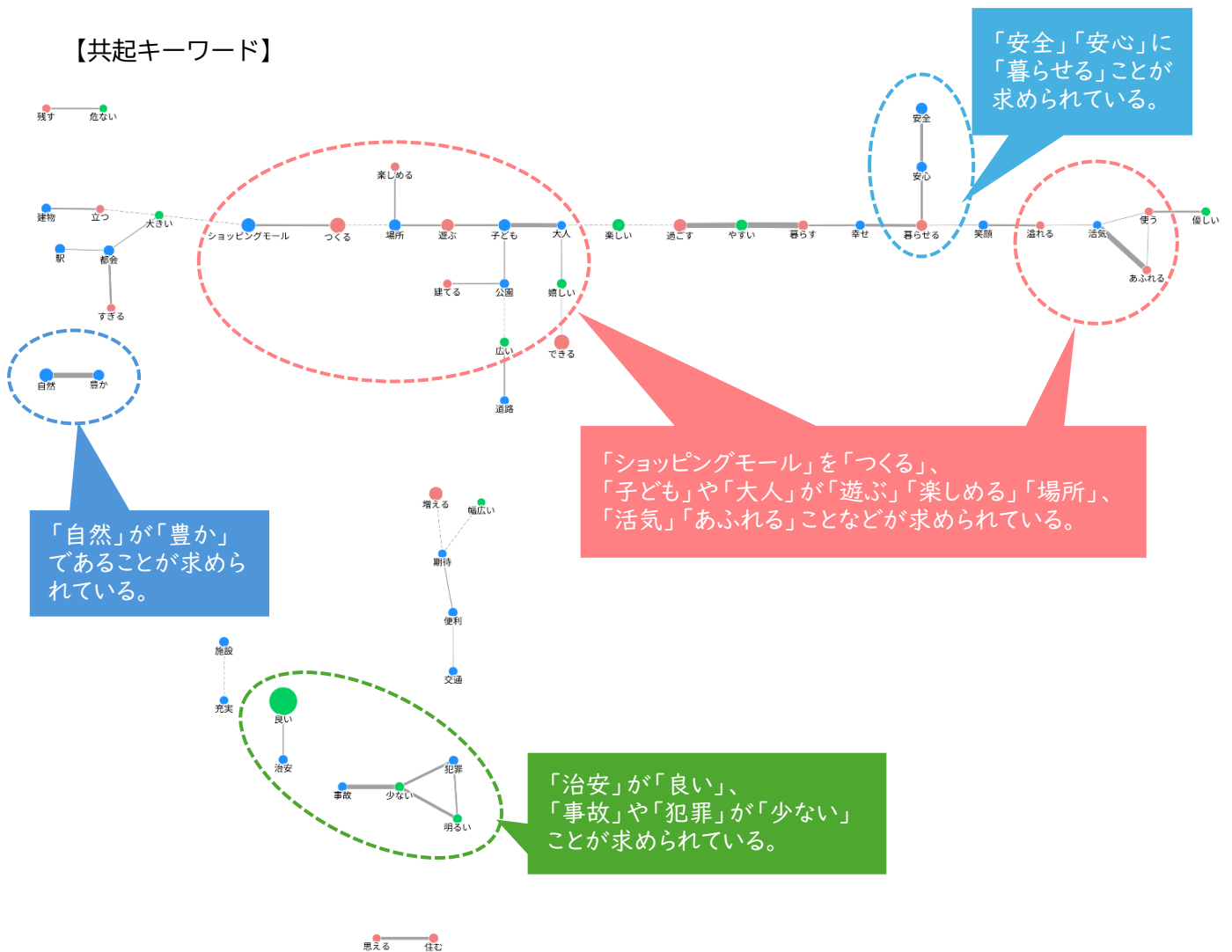
672人中、577人から回答がありました。全体として、将来の白岡市に望むこととしては、「住みやすさ」、「自然の豊かさ」、「活気」、「楽しめる場」、「安全・安心」などが挙げられています。

【ワードクラウド】



(青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す)

【共起キーワード】



【主な意見】

- ・自然がたくさんある住みやすい市。
- ・もっと発展して活気溢れるが自然と共存して欲しい。
- ・暮らしやすい安全な白岡市。
- ・遊び場や人口が増えているといい。
- ・梨以外にも白岡にしかない魅力がたくさんある市。
- ・観光するところがたくさんあるまち。
- ・白岡市の伝統行事を増やし、交通面でも渋滞にならないようにして欲しい、子供たちが楽しめる場所を作った方がいい。
- ・白岡市に住んでいる人が生活しやすく、地域行事がもっと活発になるといいと思う。
- ・住んでいる人がみんな不自由なく過ごせる市。
- ・駅前がもっと栄えてほしい商業施設を作って欲しい。
- ・人を呼べるような、観光やショッピングが出来るような街にして欲しい、駅構内を整えて欲しい。
- ・安全で安心な白岡市になってほしいです。
- ・犯罪が少なく、自然が豊かな明るい街。みんなが、白岡に住んで良かったと思える街。
- ・子供達のがのびのびと遊んだり自由な場所で学んだりできるようなまちになってほしい。
- ・そのまま今の感じ。

第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る
子育て世帯意識調査結果報告書

1. 調査実施概要

調査期間	令和7年9月1日～9月30日
調査対象	市内在住の乳幼児を育てる世帯
調査方法	チラシ(二次元コード付)の電子データ等を幼稚園又は保育園経由で配布し、オンラインで回答
有効回答数	376人

(調査協力依頼チラシ)

白岡市では、現在、まちづくりの指針となる「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画」の策定作業を進めております。

市内在住の子育て世帯の皆さまに、白岡市について日頃感じていることなどをお伺いし、計画をつくる際の参考とさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いします。皆さまと共に、より子育てしやすいまちづくりを進めていくために、皆さまのご意見をお待ちしております。

そういえば白岡市のことあまり知らないな・・・

子育て環境が充実したまちになるといいな

白岡市に
まちづくり
する
子育て世帯
意識調査

二次元コード
または
URLから
ご回答ください

回答目安
約5分

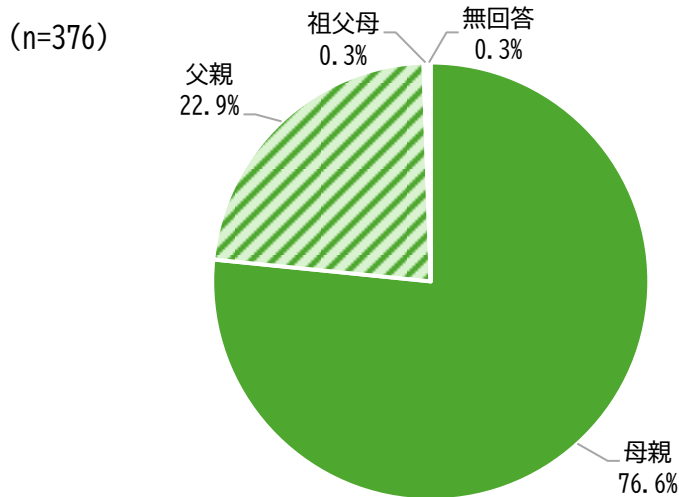
回答期限
9月30日(火)
まで

<https://survey.zohopublic.com/zs/JZMv49>

調査に関するお問い合わせ先
白岡市 経営企画部 企画政策課 0480-92-1111

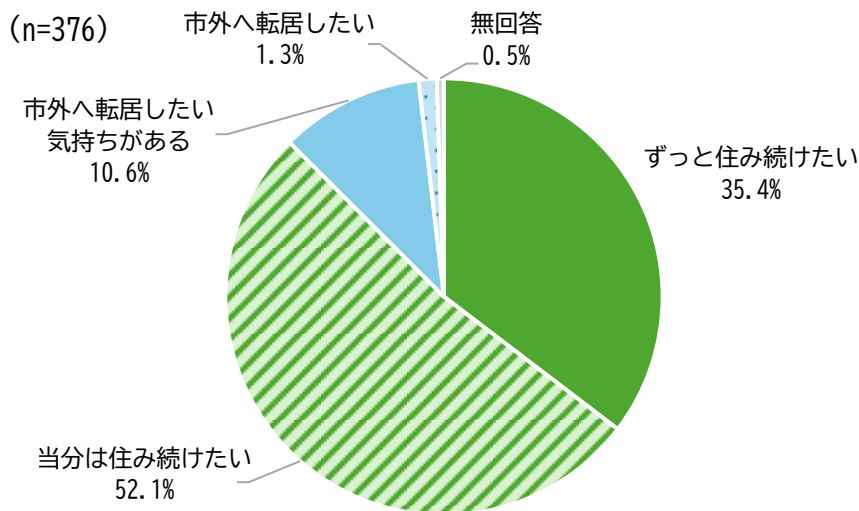


Q1 お子さんとあなたとの関係 (○は1つ)



回答者は「母親」(76.6%)が最も多く、次いで「父親」(22.9%)となっています。

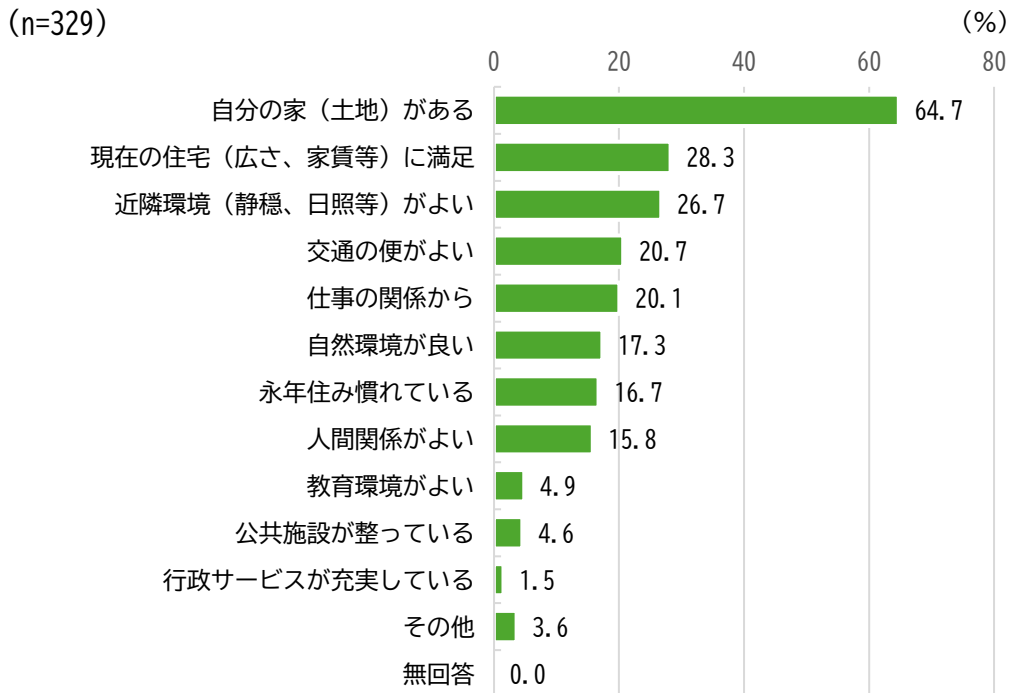
Q2 これからも白岡市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



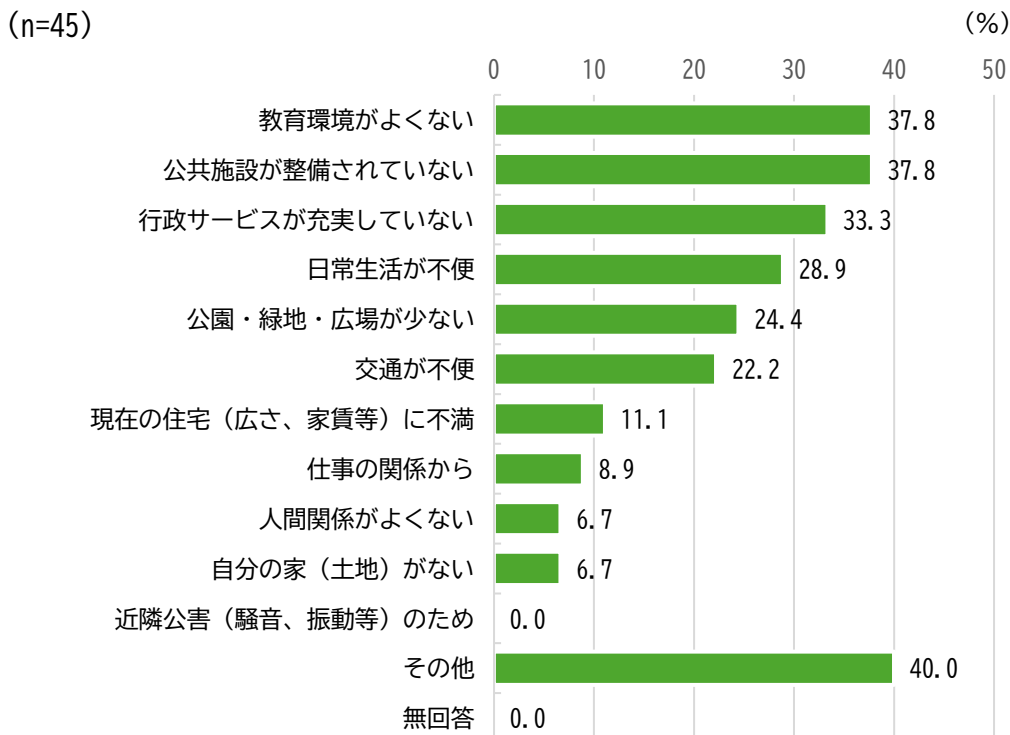
白岡市に「当分は住み続けたい」(52.1%)が最も多く、「ずっと住み続けたい」(35.4%)と合わせると、定住意向がある人は87.5%となっています。

一方、市外へ転居したい(「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計)人は11.9%となっています。

Q2-1 (Q2で1または2を選んだ方) 住み続けたいと思う理由は何ですか。(〇は2つまで)
 定住意向があると回答した理由については、「自分の家(土地)がある」(64.7%)が最も多く、次いで「現在の住宅(広さ、家賃等)に満足」(28.3%)、「近隣環境(静穏、日照等)がよい」(26.7%)となっています。

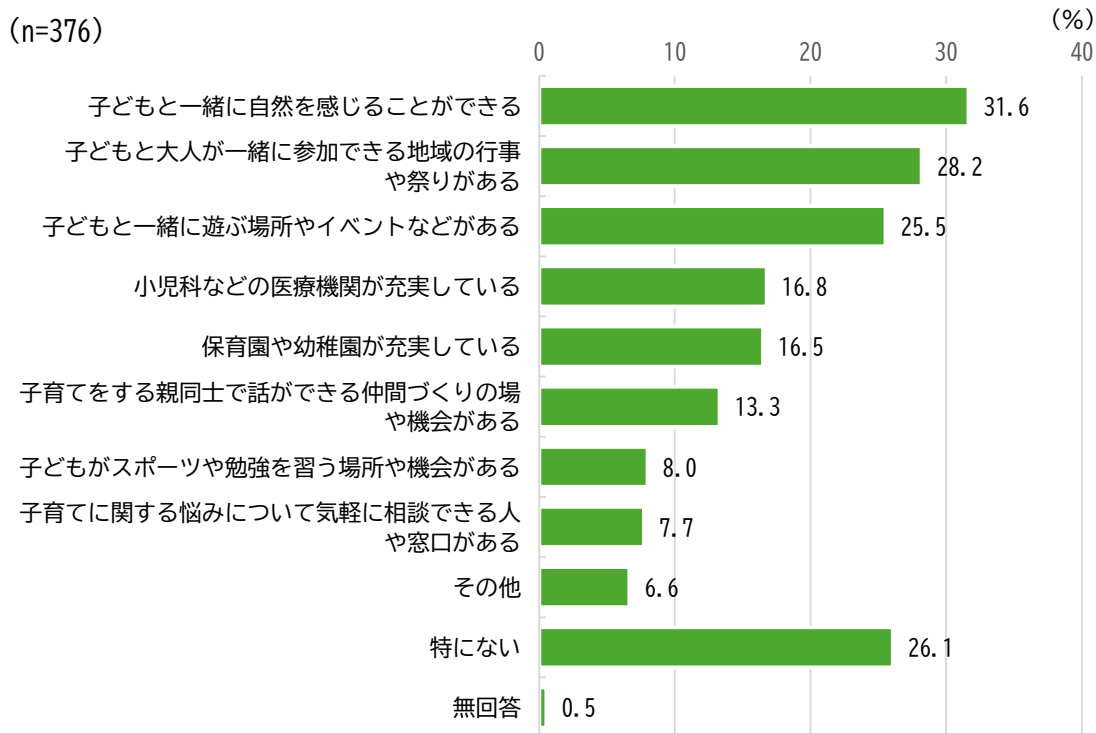


Q2-2 (Q2で3~5を選んだ方) 住み続けたくないと思う理由は何ですか。(〇は2つまで)
 市外へ転居したいと回答した理由については、「教育環境がよくない」と「公共施設が整備されていない」がそれぞれ37.8%で最も多く、次いで「行政サービスが充実していない」(33.3%)となっています。



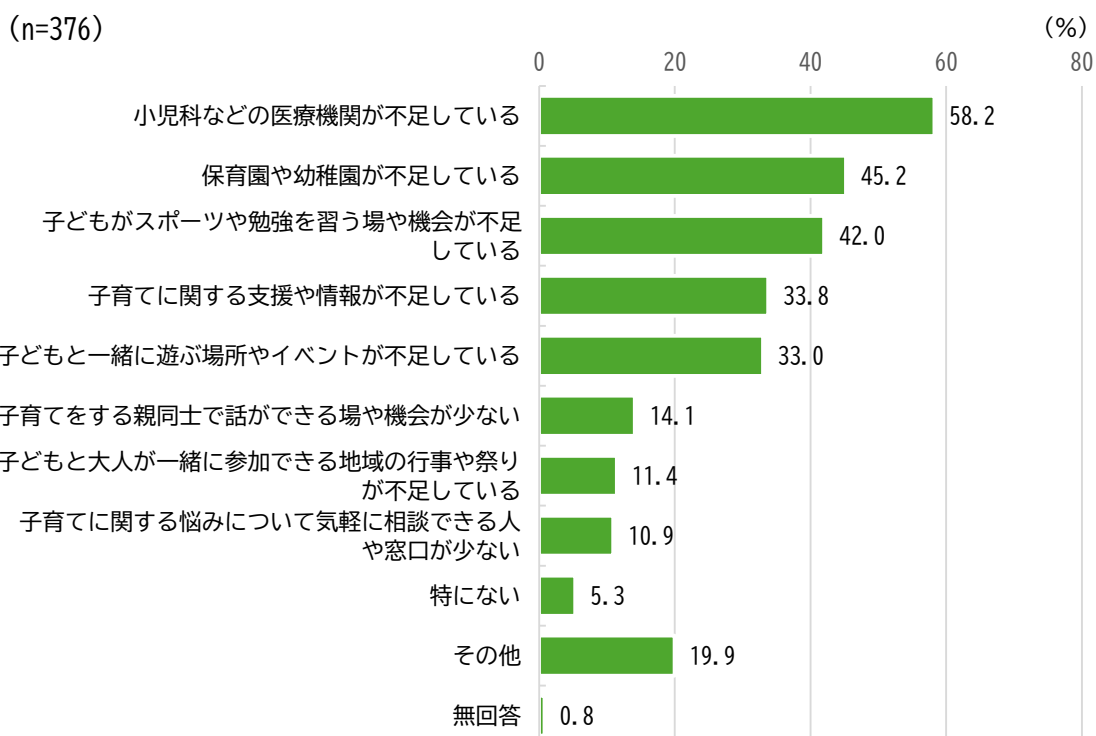
Q3 白岡市で子育てをされていて良いと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

「子どもと一緒に自然を感じることができる」(31.6%)が最も多く、次いで「子どもと大人が一緒に参加できる地域の行事や祭りがある」(28.2%)、「子どもと一緒に遊ぶ場所やイベントなどがある」(25.5%)となっています。



Q4 白岡市で子育てをされていて困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

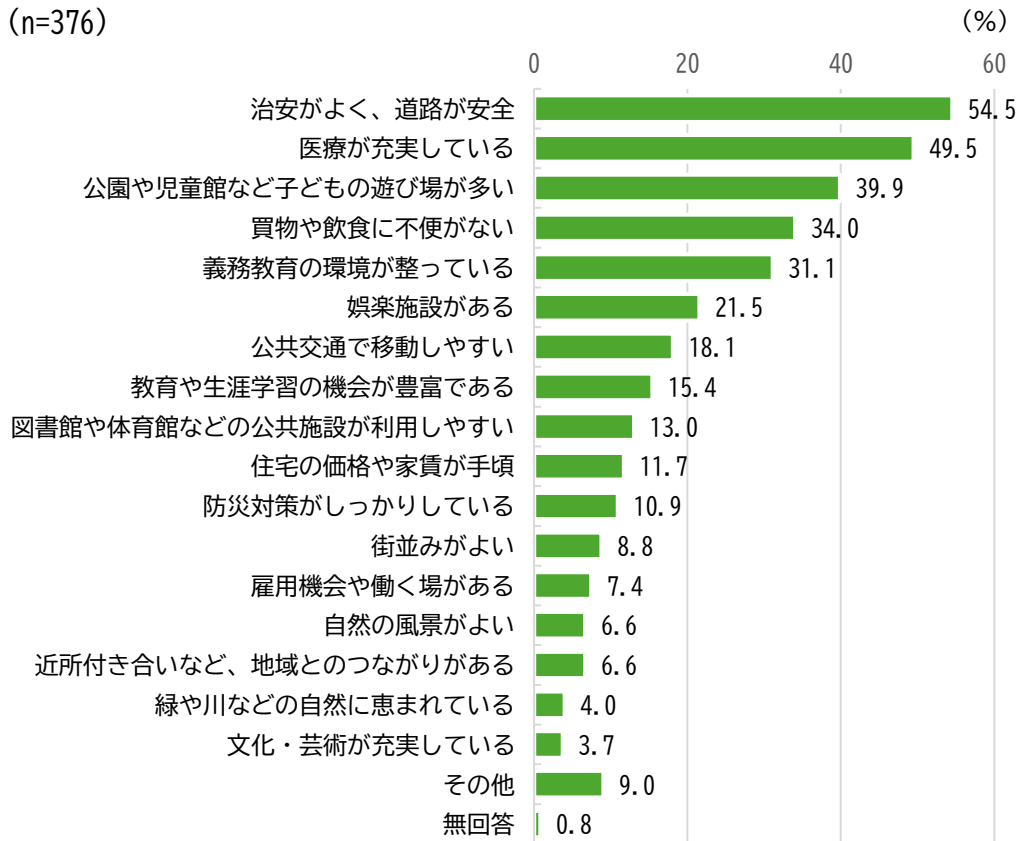
「小児科などの医療機関が不足している」(58.2%)が最も多く、次いで「保育園や幼稚園が不足している」(45.2%)、「子どもがスポーツや勉強を習う場や機会が不足している」(42.0%)となっています。



Q5 白岡市をより子育てしやすいまちにするために重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

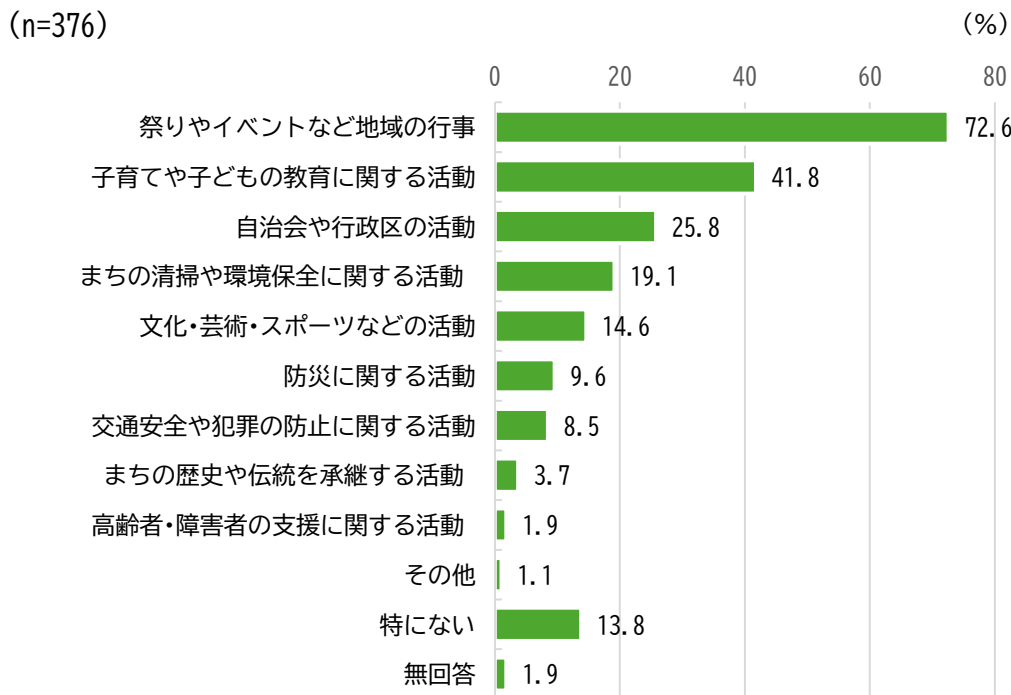
「治安がよく、道路が安全」(54.5%)が最も多く、次いで「医療が充実している」(49.5%)、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(39.9%)となっています。また、「買物や飲食に不便がない」(34.0%)、「義務教育の環境が整っている」(31.1%)も上位に挙げられており、子育てしやすいまちにするためには、安全・安心な環境、遊び場や教育の充実、生活利便性が求められています。

(n=376)



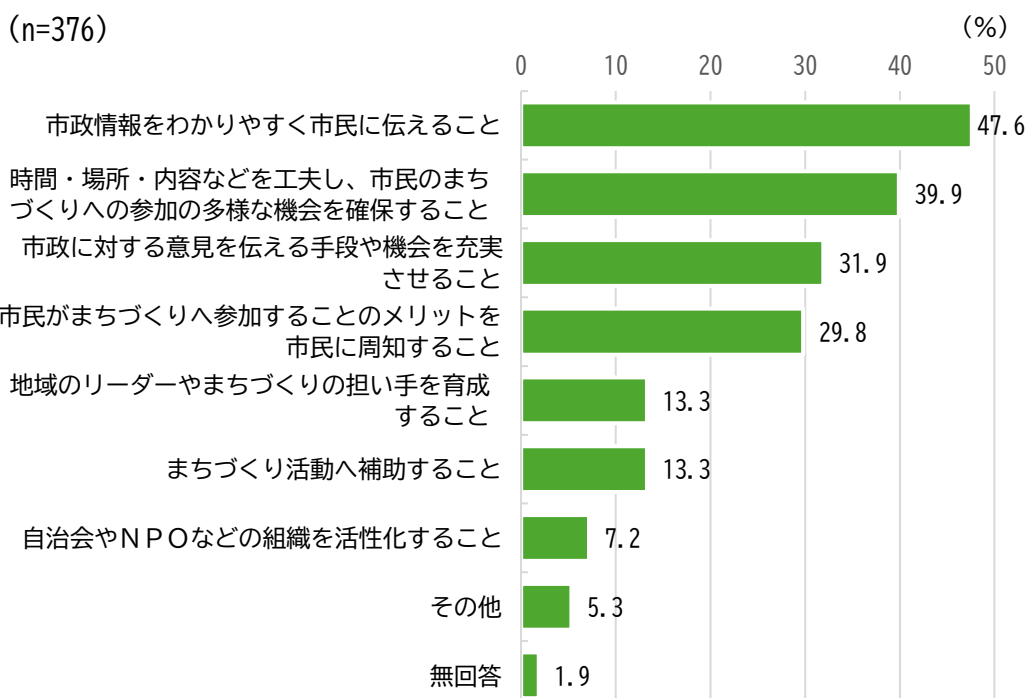
Q6 地域とのつながりや支え合い、交流をもつ活動について、既に参加している又は関心がある活動はありますか。(〇はいくつでも)

「祭りやイベントなど地域の行事」(72.6%)が最も多く、次いで「子育てや子どもの教育に関する活動」(41.8%)、「自治会や行政区の活動」(25.8%)となっています。



Q7 白岡市では、市民と行政との協働によるまちづくりを進めています。協働のまちづくりを進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「市政情報をわかりやすく市民に伝えること」(47.6%)が最も多く、次いで「時間・場所・内容などを工夫し、市民のまちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」(39.9%)、「市政に対する意見を伝える手段や機会を充実させること」(31.9%)、「市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること」(29.8%)となっています。



- ・野牛地区に住んでいますが、街灯が少なく子供が今後登下校や1人で出掛ける機会が増えた時に夜道を歩かせるのが不安です。
- ・家が建ちすぎていて、自然が減って嫌です。なんでも、空き地、林が伐採されて、家が建ってるのが、多すぎて、もっと自然を大事にしてほしいです。家の間隔も狭くて、少し考えた方が良く思います。
- ・白岡には自然が残っていて、駅前に住んでいても静かで鳥の音が聞こえて気持ちよく気に入っている。ただ、その残っている自然というのもただ放置されているようで荒れているような場所も目立つ。せっかく自然が残っているのだからもっとうまく活用できたらいいと思う。(自然公園を整備する等)
- ・せっかく自然も多くのかで治安も悪くないので、市民のリサイクル処理が大変になってもよいかから、他の自治体レベルに基準を高めて(プラごみ仕分けなど)ほしい。
- ・ゴミ捨て場はネットでは無く扉付きにして、指定ゴミ袋は廃止。

〈子育て・教育・文化〉78件

- ・ベッドタウンとして、子供のいる家庭が増えてきているので、人口増・税収増のためにそれら家庭向けの施策をうつのが良いと思う。
- ・子育て世代を呼び込むことで、今後の市の活性化につながると思うので、金銭的な手当や、保育料の減額などがあると嬉しいです。子育てしやすい街にしてほしいです。
- ・子育ての支援(オムツ、粉ミルク)の補助金などがあると助かる。
- ・子どもがたくさんいるにも関わらず、子育て支援が充実しているとは思えません。これからを支えて行くのは若い人、子どもたちなので、ここに住んでよかったと思えるような、他市とは異なった子育て支援の充実を望みます！
- ・保育園、または保育施設を増やすか、入所要件、点数を緩和、引き下げるとともに、保育士の待遇を改善して担い手を増やし、待機児童ゼロを実現して欲しい。
- ・とても住みやすい街ですが、保育園や子ども園などが児童数に見合っていないと子育てしやすいとは言えません。安心して働きながら子育てできるように預けられる場所を増やしてほしいです。
- ・子育てするには問題がありすぎる市です。保育園、学童の待機児童が多く引っ越しを検討せざるを得ません。特に1歳、2歳クラスは希望しても入れません。育休復帰したいのに入園できない市では暮らしていきません。
- ・習い事ができる施設が少ないです。久喜まで行かないとなかったり、あったとしてもすでに満員だったりします。もっと増やしていただくと子供がいる家庭は住みやすくなると思います。
- ・子供が小中学生になった時に、学区域の学校の人数が少ないため子どもの望むように部活動やクラブ活動が出来るのか不安。好きな部活動が出来ない子のために、白岡市のスポーツチーム(クラブチーム)の活動を盛んにしてほしい。
- ・小学校の人数が少ないところは合併して人間関係、集団生活、勉強、スポーツ、その後のコミュニケーション能力を培うために児童数が少な過ぎることが無いようにして欲しい。かなり心配をしている。
- ・市全体で子どもを育てる仕組みが必要だと思います。学童など一般的なものではなく、もっとオリジナル性を持たせて欲しいです。例えば、学童利用者は習い事があまり出来ないなので、提携した塾や習い事の先に送迎する仕組みなどがあると嬉しいです。
- ・児童館の整備を希望します。

- ・小中学校の体育館に冷暖房を完備して、土日や長期休みの時期も学区の地域ごとに自由に使えたら、地域の人との関わりや幅広い年齢層とのふれあいできて、良いのではと思っています。
- ・大学の誘致を行い、子どもが自然と学問に関心を持てる環境を整えて欲しい。
- ・図書館や児童館など、学習したり、居場所を提供いただける施設が非常にありがたいです。ただ、置いてあるおもちゃが古かったり壊れていたり、書籍も古いものが多かったりと、少し残念な面もあるので、ものの更新などはお願いしたいと思います。

〈産業・雇用〉 64 件

- ・梨やいちごだけではない特産物を考える。
- ・地域の農業体験が気軽に出来たら嬉しいです。近い将来、いちごの施設ができるとのことですが、いちごだけでなく、野菜や米、麦、そばなど、耕作放棄地となっているような場所で子どもたちが収穫したり、食べたり、少し遊びながら学べるような施設があったら、より白岡市により興味がわいて、ずっと住み続けたい街になるのではと思います。普段の作物の管理は地域の生産者にアドバイスをもらいながら、ママたちの働く場になったら尚嬉しいです。
- ・元荒川沿いの桜並木について、近隣住民の協力も得ながら、観光名所として整備。篠津天王様について、酷暑の夏から春 or 秋に開催時期を移動、久喜天王様をモデルに観光化。
- ・白岡駅・新白岡駅前のお店を充実させて欲しい。カフェ(チェーン店)など。
- ・駅前の商業施設が無さすぎる。駅を利用しながら、スーパーに寄って帰れるとか友人とお茶をして帰るとか全くできない。湘南新宿ラインが通って駅利用者が増えたのに、駅前の開発が伴っていない。
- ・駅前が悲しいので、もっとお店などを増やして欲しいです。
- ・人を呼び込める物を作った方が良くと思う。東鷲宮にあるような低価格で遊べる遊び場など。
- ・大型ショッピングモールの建設も検討してほしい。
- ・まちなかマルシェは毎回、子育て世帯の参加者が多いです。親子で楽しめるイベントで、他の親子との交流の場にもなっています。そのようなイベントに市が参画し、子育て世帯を対象とした企画を行ってみると良いと思います。(子育て支援や教育に限らず、健康を切り口とした健増のイベントなどでも面白いと思います。)

〈都市基盤・住環境・公共交通〉 73 件

- ・水遊びできる公園が欲しいです。
- ・近隣の市では大きな遊具のある公園や水遊び場があっても魅力的なので、白岡市でもそのような遊び場を作っていただきたいです。
- ・河川の多さを活かし川沿いに親水公園を整備する。
- ・もっと駅徒歩圏内の宅地開発をしてほしい。埼玉県内で一番直近に単独で市になった位なので住環境は充実している方だと思います。白岡市の一層の発展に期待しています。
- ・とにかく土地や建物が高すぎるので白岡に住んでいたい気持ちはあるが家を建てられそうにないです。子供は転校したくないと言うが、賃貸では手狭になり困っています。空き家などを市が貸し出すなどしてもっと活用して欲しい。
- ・土地があるのに、うまく使えていないのが残念。
- ・住宅は増えているのにも関わらず公園が少ない。
- ・普段自転車移動をしていますが、道路の雑草や、凹凸が気になっています。大通り沿いもそのよう

な状態なので車が飛び出してきても見えにくかったり、子供たちも危ない状態ですので早急に対応していただきたいです。

- ・道路、自転車道、歩道が狭い。危ない自転車走行してる人が多く、車の運転が怖い。歩道と自転車道の確保をして欲しい。
- ・道路の整備が遅れていて、よくわからない道が多いので、綺麗にしてほしい。現在工事をしている、市役所側から白岡駅に向かう道路も、とても太くて立派だが、必要性に疑問を感じている。埼栗線まで出られる道路なら需要が高いと思うが、白岡駅までだとあそこまで太い道路が必要かという疑問である。それなら、道路部分の土地を住民が住める住宅地にした方が、白岡駅のそばの便利な場所に住める人が増えて住民が増えて良いと思う。
- ・道路整備。狭い道が多く、車が徒歩の横ギリギリを通る場所が多すぎる。子供が歩くのが不安。また今後自転車が通りやすい道路を早急に作る必要があると考えます。事故が多発する前に。
- ・バスの本数がもうちょっと多くなれば車がないお年寄りの方や、子どもも出かけやすい。
- ・新白岡駅から図書館等へのバスがあると良い。
- ・駅も栄えてないし、バスも大宮などの主要都市へいけるものもない。将来子供が高校や大学へいくことになったらアクセスも不便だろうなといつも感じる。
- ・市内循環バスの普及(駅、市役所、病院、スーパー、学校等)。

〈協働・人権〉 5件

- ・白岡市ではお祭り、マルシェなどが多く開催されていて楽しさも感じています。地域性としてイベント事が好きなのかな？と思っており、事業者や個人(ボランティア)は地域を盛り上げようと頑張ってるように感じています。市としても魅力のある白岡市になるよう頑張りたいです。
- ・議会に市民の声を反映させる工夫などが重要かと思います。

〈運営方針〉 17件

- ・ベッドタウンとして、子供のいる家庭が増えてきているので、人口増・税収増のためにそれら家庭向けの施策をうつのが良いと思う。
- ・どこでどんなイベントが行われているのか、どんな施設があってどのように利用できるのか、ネットで調べてもなかなか出てこず、もっとサイトをアップデートしていただきたいなと思います。
- ・HPを見ただけではわからない情報が多すぎる。またどこにどう相談すれば良いか不明なことも多いのでコンシェルジュを設けたり、子育てを介護のケアラーのような橋渡し役を設けて行政と市民の悩みを解決できるような仕組みを早急に作ってほしい。
- ・ご当地キャラクターや広報誌など、広報施策をもっと洗練させてほしい。
- ・市のラインで情報をキャッチでき、助かっています。今後も引き続きよろしくお願いします。地域のお祭りなども調べて参加したいです。
- ・市政の活動やまちづくり、予定されている事業や進行中の事業の定期的な情報提供がされる、ネット新聞やメルマガなどがあると良い。

〈その他〉 8件

- ・このアンケートは隙間時間にできるので、とてもいい方法だと思いました！
- ・駅も新しくなりますし、病院も移転します。今後の発展にとっても期待しておりますので、市の方々と市民と力を合わせてより白岡市を発展させていけたらと思います。

第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る
事業者意識調査結果報告書

1. 調査実施概要

調査期間	令和7年9月1日～10月20日
調査対象	市内に拠点を置く事業者
調査方法	チラシ(二次元コード付)を配布し、オンラインで回答
有効回答数	14 事業者

(調査協力依頼チラシ)

白岡市では、現在、まちづくりの指針となる「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画」の策定作業を進めております。

市内に拠点を置く事業者様に、白岡市について日頃感じていることなどをお伺いし、計画を策定する際の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いします。事業者の皆様と共に、より良いまちづくりを進めていくために、皆様のご意見をお待ちしております。

回答期限 10月20日(月)

二次元コードまたはURLからご回答ください

<https://survey.zohopublic.com/zs/e7Mxdm>



事業者意識調査 ご協力をお願い

調査に関するお問い合わせ先

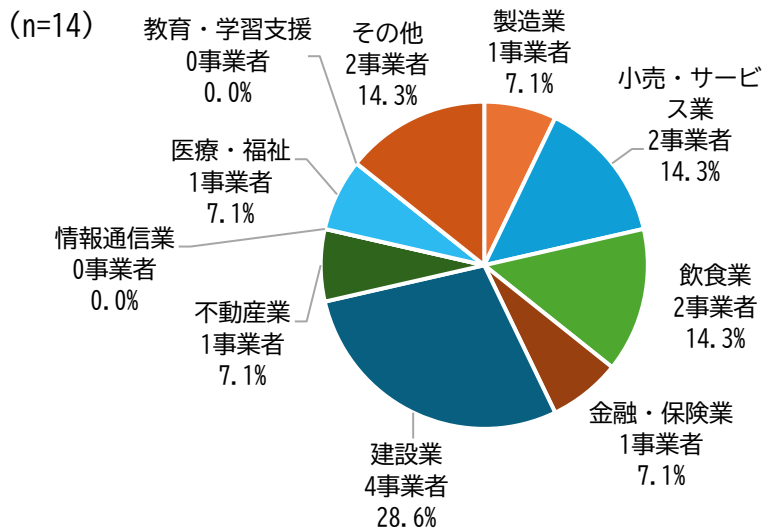
白岡市 経営企画部 企画政策課 0480-92-1111

回答目安
約**5**分



2. 調査結果

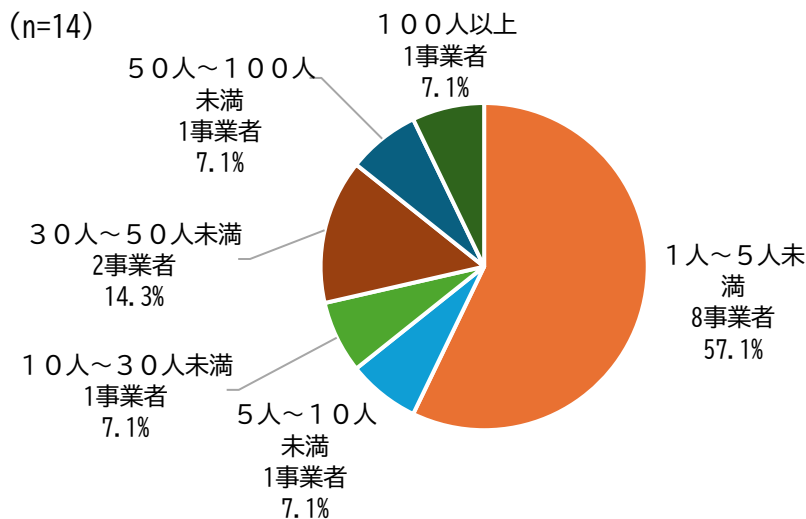
Q1 貴社の主な事業分野をお答えください。(〇は1つ)



「建設業」(28.6%) が最も多く、次いで「小売・サービス業」、「飲食業」、「その他」がいずれも 14.3% となっています。

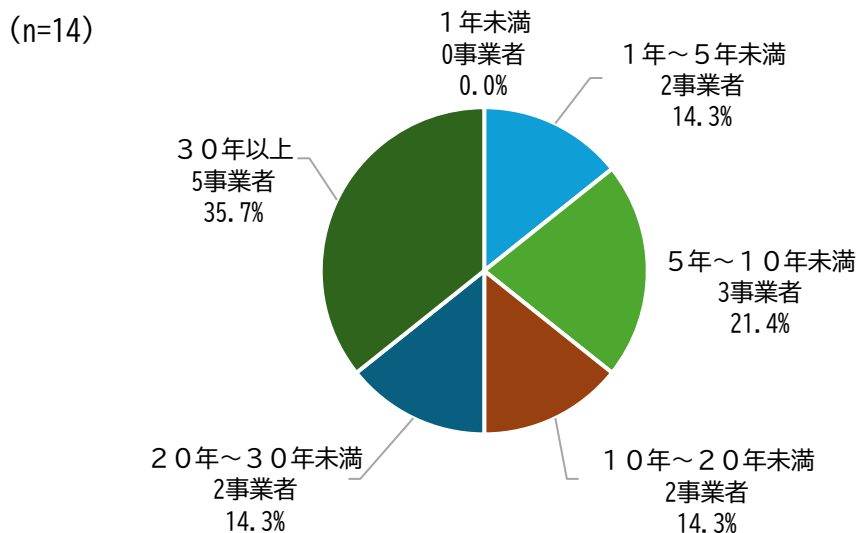
なお、「その他」は、廃棄物処理業と運輸となっています。

Q2 貴社の従業員数(パート・アルバイト含む)をお答えください。(〇は1つ)



「1人～5人未満」(57.1%) が最も多く、次いで「30～50人未満」(14.3%) となっています。

Q3 貴社の白岡市での操業(営業)年数をお答えください。(〇は1つ)

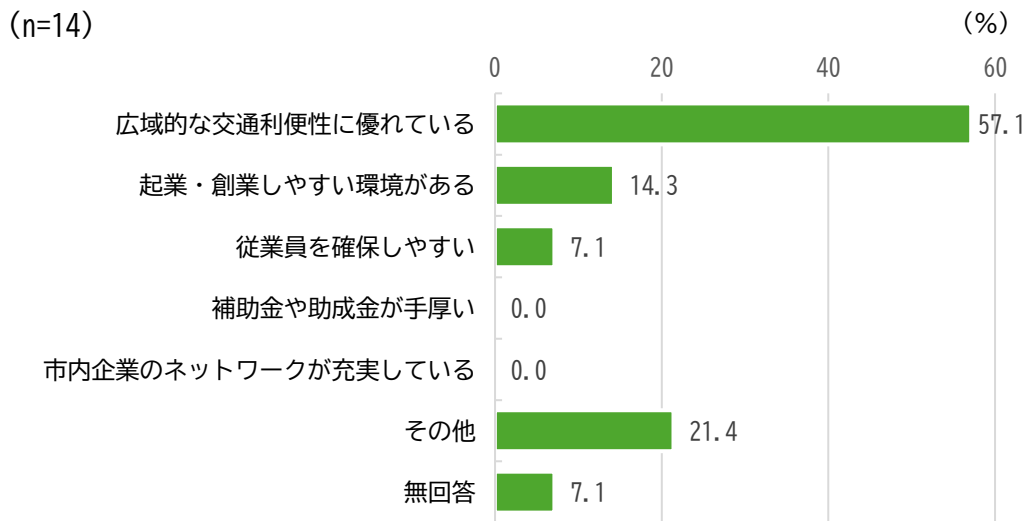


「30年以上」(35.7%) が最も多く、次いで「5年～10年未満」(21.4%) となっています。

Q4 白岡市で事業運営していて良いと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「広域的な交通利便性に優れている」(57.1%)が最も多く、次いで「起業・創業しやすい環境がある」(14.3%)となっています。

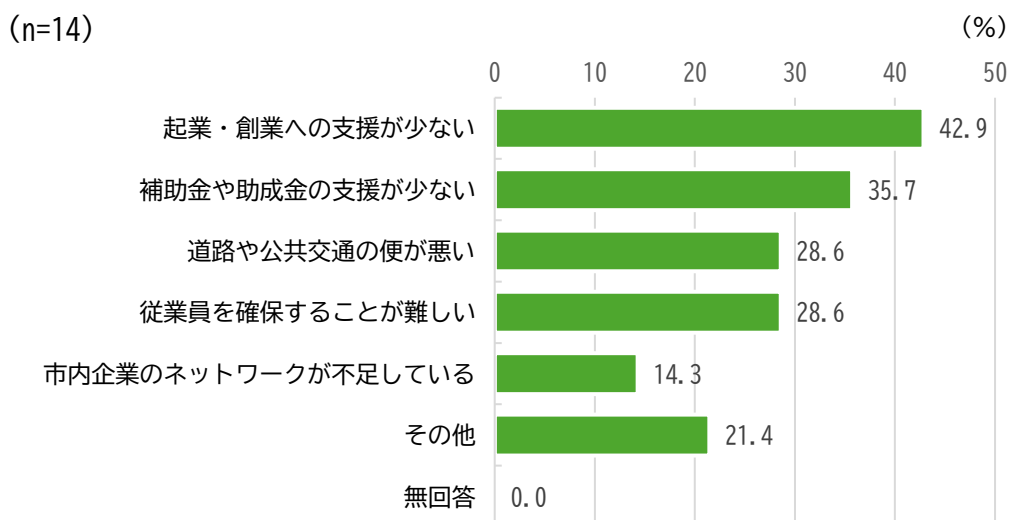
その他には、「競合が少ない」「自宅があるから」が挙げられています。



Q5 白岡市で事業運営していて、改善が必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

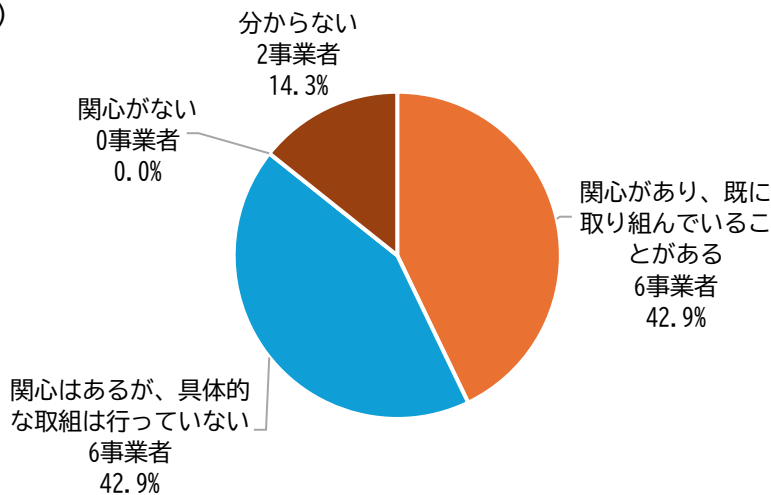
「起業・創業への支援が少ない」(42.9%)が最も多く、次いで「補助金や助成金の支援が少ない」(35.7%)となっています。

その他には、「若者を集めるべき、既存の店舗あつての今があるわけだしもっとサポート、地域活性をするべき。既存店舗が減れば減るほどもっと過疎化が進むと思う。」、「商店、企業が少ない。市場性は低い」などが挙げられています。



Q6 貴社は、地域貢献やSDGs等を通じた社会貢献活動に関心がありますか。(〇は1つ)

(n=14)



「関心があり、既に取り組んでいることがある」と「関心はあるが、具体的に取組は行っていない」がそれぞれ42.9%で同割合となっています。一方、「関心がない」という回答は見られませんでした。

Q7 (Q6で1、2を選択した方) 地域貢献等のための活動で、既に取り組んでいる活動又は関心がある活動は以下のどれに該当しますか。該当しない場合は、「その他」を選び、具体的な活動をお書きください。(〇はいくつでも)

「子育て支援や子どもの教育に関する活動」(42.9%)が最も多く、次いで「祭りやイベントなどの地域の行事」と「行政の計画づくり」がそれぞれ35.7%となっています。

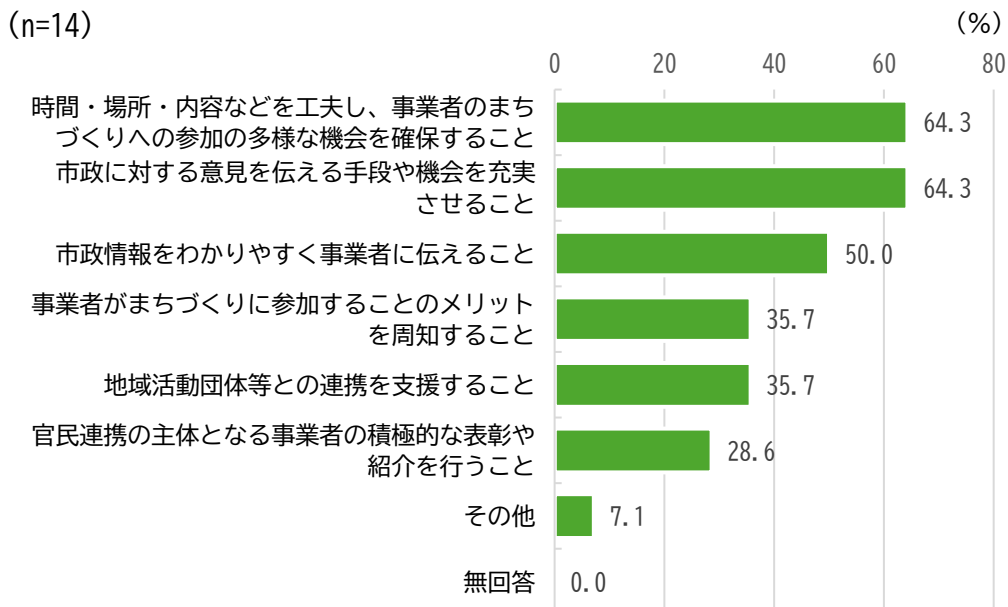
(n=14)



Q8 白岡市では、地域の活性化や市民サービスの向上を図るため、官民連携を推進しています。事業者と市の連携を推進していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「時間・場所・内容などを工夫し、事業者のまちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」と「市政に対する意見を伝える手段や機会を充実させること」がそれぞれ 64.3%で最も多く、次いで「市政情報をわかりやすく事業者に伝えること」(50.0%)となっています。

その他には、「イベントを季節ごとに開始。商品券などの市からの補助」が挙げられています。



Q9 白岡市のまちづくりについて、ご意見やアイデアがありましたら、ご記入ください。

6事業者から次のような意見がありました。

- ・もっと楽しいと思える市にするべき。蓮田、久喜においていかれないように意欲をもっと欲しい。
- ・駅前開発を早くしてほしい。
- ・駅周辺の発展には、企業誘致等で白岡に来る人を増やさなくてはいけない。今は住んでいる人だけの街だから税収も増えないし、駅周辺が発展しない。店舗誘致や道の整備も大事だが、白岡に通勤通学で来る人を増やしていかないと衰退していくと思う。現状、お店をやりたいもしくは起業したいと思っても、物件がない状況。表面的な開業支援ではなく、もっと大体的な支援をしていくことが、将来につながると思います。
- ・市の特色が無く行き当たりばったりの市政で、更に助成金などの政策も他の市政に比べて不十分に感じる。
- ・1、街づくり、街おこしについての情報提供。2、街づくり協議会、エリアマネジメント等の設立に向けた具体的な検討、着手、実行。3、駅前再開発(白岡駅を中心に半径1km以内)についての具体的な検討。特に駅前に集客力のある複合施設の建設、テナントビル、商業施設等の建設。4、街おこし事業を支援するための仕組み作り。5、計画中の駅前通りの早期完成と周辺地域の開発計画の具体化。
- ・市の各種、委員会、審議会はおおむね形骸化しており時間、経費の無駄遣いでは。真の委員の選定、議論をすべきではないでしょうか。総合振興計画など市民の意向を取りまとめてからコンサルに渡すなど改善が必要では。

第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に係る
市民団体等意識調査結果報告書

1. 調査実施概要

調査期間	令和7年9月4日～9月30日
調査対象	市内で活動されている NPO や市民団体
調査方法	チラシ(二次元コード付)を配布し、オンラインで回答
有効回答数	10 団体

(調査協力依頼チラシ)



回答目安
約 **5** 分

市民団体等意識調査

ご協力をお願い

白岡市では、現在、まちづくりの指針となる「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画」の策定作業を進めております。

市内で活動されているNPOや市民団体の皆様に、白岡市について日頃感じていることなどをお伺いし、計画をつくる際の参考とさせていただきますたく、アンケートへのご協力をお願いします。

市民と共に、より良いまちづくりを進めていくために、皆様のご意見をお待ちしております。

回答期限 9月30日 (火)



URL

<https://survey.zohopublic.com/zs/KpMULf>

二次元コード

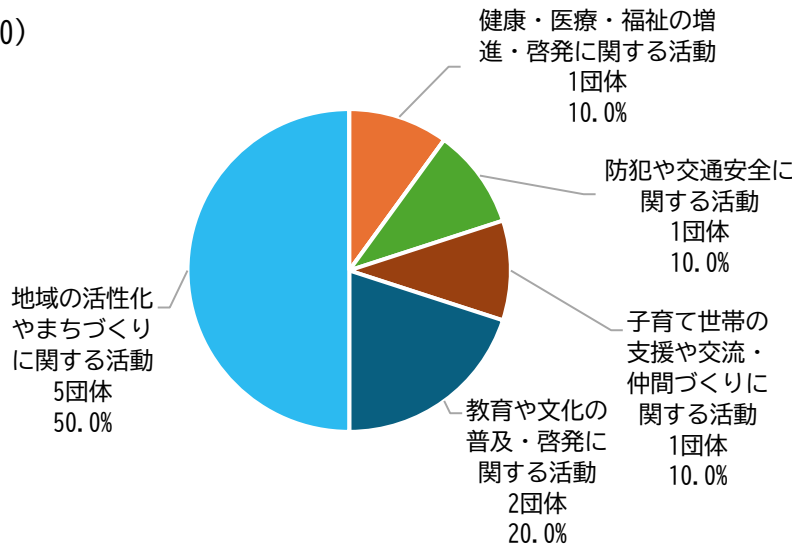


白岡市
経営企画部
企画政策課
☎ 0480-92-1111

2. 調査結果

Q1 貴団体の主な活動内容をお答えください。(〇は1つ)

(n=10)

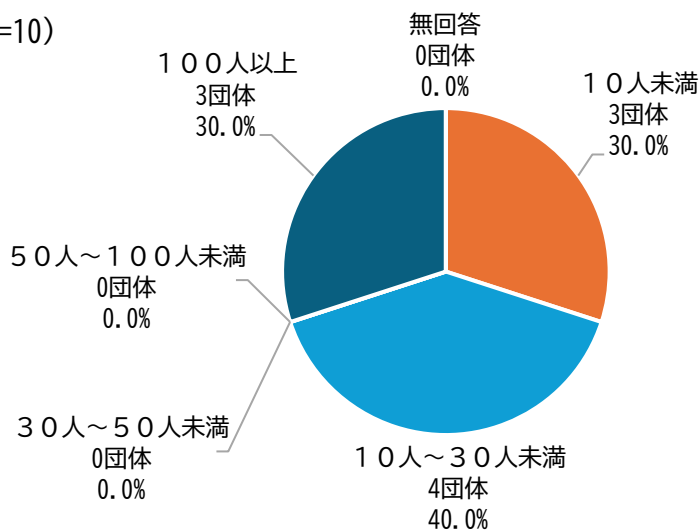


「地域の活性化やまちづくりに関する活動」(50.0%)が最も多く、次いで「教育や文化の普及・啓発に関する活動」(20.0%)となっています。

(注) この他の選択肢「自然環境の保全・啓発に関する活動」「農業・商工業の振興に関する活動」「国際交流や人権啓発に関する活動」「その他」は回答なし。

Q2 貴団体の会員数をお答えください。(〇は1つ)

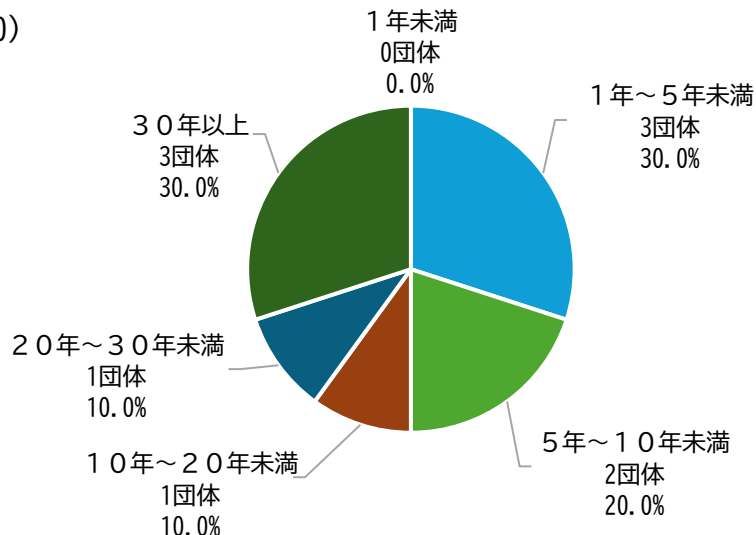
(n=10)



「10～30人未満」(40.0%)が最も多く、次いで「10人未満」と「100人以上」がそれぞれ30.0%となっています。

Q3 貴団体の設立してからの年数をお答えください。(〇は1つ)

(n=10)



「1年～5年未満」と「30年以上」がそれぞれ30.0%で最も多く、次いで「5～10年未満」が20.0%となっています。

Q4 白岡市で活動していて良いと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「活動の紹介や情報発信をする機会がある」(80.0%)が最も多く、次いで「活動する場所が確保しやすい」(50.0%)、「活動に参加・応援してくれる人がある」(40.0%)となっています。

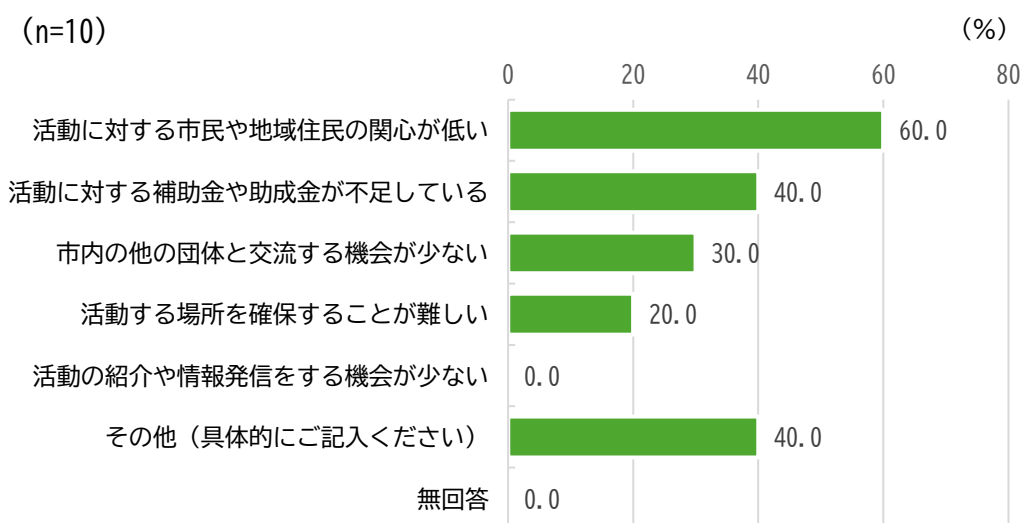
その他には、「イベント来場者(お客様)が穏やかで優しい」などが挙げられています。



Q5 白岡市で活動していて、改善が必要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

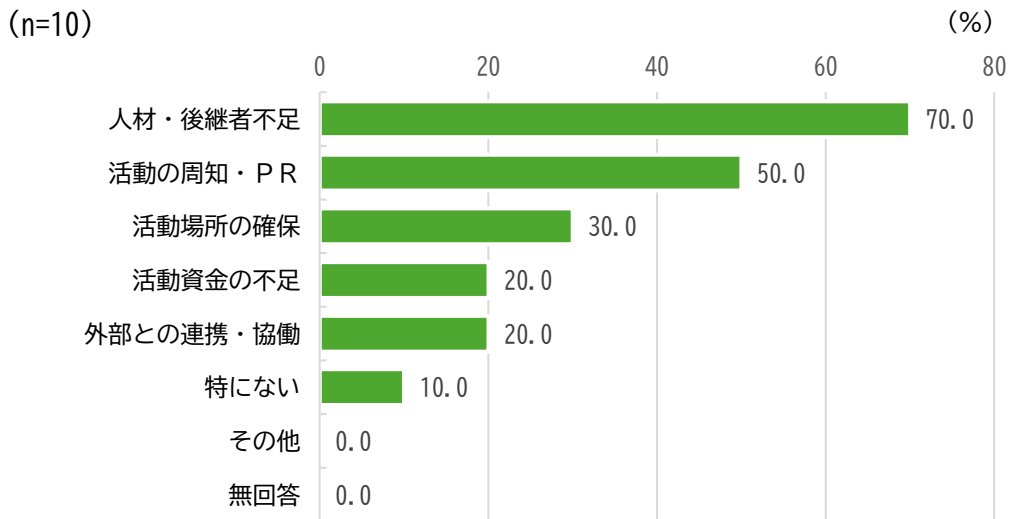
「活動に対する市民や地域住民の関心が低い」(60.0%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金や助成金が不足している」(40.0%)、「市内の他の団体と交流する機会が少ない」(30.0%)となっています。

その他には、「お客様として参加されることはあっても一緒にイベントなど作り上げる一員になる人が少ない」、「活動拠点となっている施設が老朽しているので改善して欲しい。その場合には要望を聞いて欲しい。」、「高齢化」などが挙げられています。



Q6 貴団体の活動上の課題にはどのようなものがありますか。(〇はいくつでも)

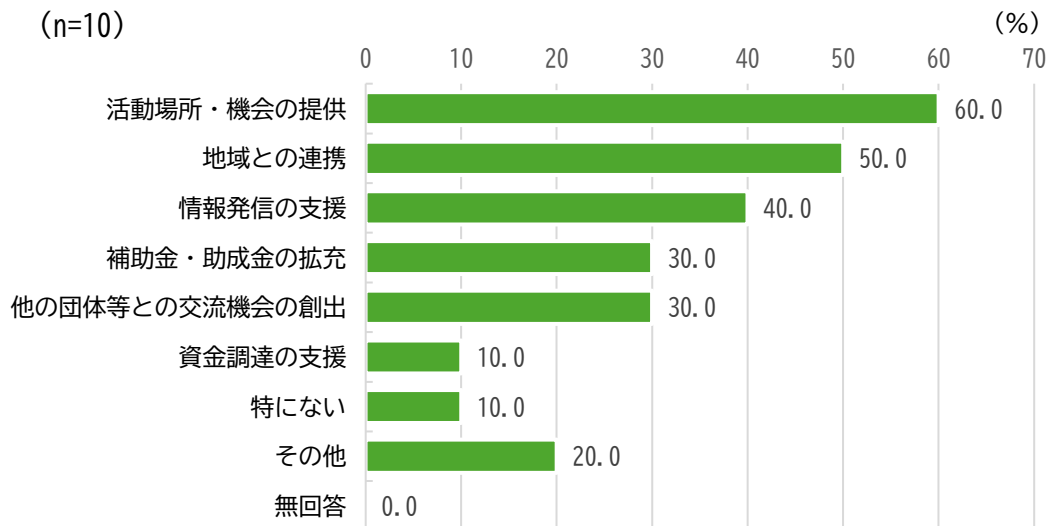
「人材・後継者不足」(70.0%)が最も多く、次いで「活動の周知・PR」(50.0%)、「活動場所の確保」(30.0%)となっています。



Q7 市に期待する支援策はありますか。(〇はいくつでも)

「活動場所・機会の提供」(60.0%)が最も多く、次いで「地域との連携」(50.0%)、「情報発信の支援」(40.0%)となっています。

その他には、「活動拠点の施設の整備」や「市として市民団体とどう関わるか明確にして欲しい」などが挙げられています。



Q8 白岡市では、市民と行政との協働のまちづくりを推進しています。協働のまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること」(70.0%)が最も多く、次いで「時間・場所・内容などを工夫し、まちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」が50.0%となっています。

その他には、「市役所側の街づくりをしている団体への参加」などが挙げられています。



Q9 白岡市のまちづくりについて、ご意見やアイデアがありましたら、ご記入ください。

4団体から次のような意見がありました。

- ・エリアの限定的な活動が目立つので、エリアや年代を超えた団体間の交流や協力体制がほしい。市内の団体でつくる交流会グループなど地域振興課の補助金をいただいているグループなどもう少し交流をもつ機会があれば良いと思う。また、自団体だけでなく他団体の活動に興味をもつ環境づくりや自団体の活動のみならず他団体への配慮や興味をもっともってほしいと思う。
 - ・人が集えるシンボリックなコミュニティセンターを市内の便の良い場所に設けてくれると面白いと思います。例)宮代町の進修館のような。
 - ・高齢化で長く歩くことが難しくなり、参加場所への移動が困難。タクシーを頻繁に利用も難しいです。良い方法はありませんか。
 - ・都心へのアクセスもよく、自然も多い白岡をもっとPRし、白岡という街を知ってもらい、若い世代の移住者をこれからも増やしていきたい!畑や森などの自然と人がつながり、育てる・集う・分かちあう体験を通して、誰もが心地よく暮らせるまちを目指すために、
 - *体験型農園の設置:市内の遊休地を活用し、市民や都内から農業体験できる場+自然交流拠点のアクセス強化(交通・案内)で提供
 - *地元産品のマルシェ開催:地元果実のブランドPRの強化、加工品開発地元農産物を販売するマルシェを定期的で開催。
- 上記内容を市と市民団体とタッグを組み合わせながら、進めていけたら、幸せです。